

平成21年度後期授業満足度アンケート
調査結果報告書

平成22年3月

名城大学 FD委員会

目次

授業満足度アンケート調査結果について	1
サマリー	2
〔調査実施資料〕	
調査概要と対象者属性	3
学生用アンケート用紙	4
教員用アンケート用紙	6
〔授業科目の改善ポイント〕	
1 授業科目の集計と項目別改善ポイント	8
2 改善ポイントの見方の例	9
3 授業満足度の変化	10
4 調査結果のまとめ	12
5 学部別改善ポイント	14
〔学部別分析結果〕	
6 教員の自己評価・学生評価の時系列比較	16
7 授業満足度から見た授業改善項目	27
8 学生と教員の評価のちがいと授業満足度との関係	39
9 学力程度別の授業満足度	41
10 教員と学生の対象レベルの一致	42
11 出席率	43
12 出席学生数と出席学生数別満足度	44
13 自学自習時間と授業満足度の関係	45
14 着席位置と授業満足度の関係	48
15 座席指定の有無と私語対応の関係	49
16 学生にとってよい授業(自由回答)	50
〔設問別集計結果〕	
17 教員の自己評価の時系列比較	52
18 学生評価の時系列比較	53
19 基礎データ教員用設問	54
20 基礎データ学生用設問	71

授業満足度アンケート調査結果について

平成 21 年度後期 授業満足度アンケート調査結果について

平素は本学 FD 活動の推進にご協力をいただき感謝申し上げます。

本学では、平成 12 年度から授業満足度アンケートを実施し、教員の授業スキル向上を図ってまいりました。平成 21 年度後期授業満足度アンケート調査も無事終了し、この度、調査結果を本報告書として取り纏めました。ぜひ、ご覧いただき、授業改善にお役立てください。

本年度の授業満足度アンケートの目的は、学生の満足度と先生方の意識のギャップを確認し、その調査結果から得られる情報を授業改善に活かしていくことに置いています。質問項目は、一昨年度からの経年変化分析を旨に、継続性を重視しました。また、アンケート実施に際しては、各教員から回答者である学生の授業に対する意識の精度を高めるようアンケートの趣旨や注意事項を説明していただくなど、細部に配慮して行いました。各先生へのアンケート結果のフィードバックについては、これまでと同様に、集計と項目別改善ポイントをわかりやすく示すとともに、速報的に全学・学部別の総合満足度の経年変化の状況についても提供しました。

本年度の全体結果の概要ですが、学生の総合満足度は昨年度に比べ向上し、一昨年度とほぼ同じ水準となっています。また 3 年間の経年変化を見ると、一昨年度と比較して満足度が向上している学科が 9 学科確認されています。これらの成果は、先生方の熱意をもって日々取り組んでいる授業改善の工夫や努力が反映された結果だと思えます。このような結果報告ができたのは昨年度、一昨年度の学生満足度チームが蓄積した成果を継承し、教員の皆様のご協力を得て継続的なアンケートが実施できたことと感謝しております。

本報告書は、これまで数的データに基づく分析結果を中心に構成してきましたが、本年度は「学生にとってよい授業」とはどのような授業かという問いに対する自由回答を集約し、回答を分類して特徴的な記載と件数を掲載しています。これは全学の FD 活動方針に基づき、授業や教育に対する学生の生の声に耳を傾けるためです。教員と学生の双方で意見交換を行うことで客観的に授業を見直し、さらなる組織的な教育改善を進めていくための情報として活用いただければと考えております。

アンケート報告書は、授業改善のためのアイデアやヒントが得られる情報源と考えています。授業をつくる教員、授業に出席する学生、授業を支援する職員など皆で情報を共有し、授業改善に役立てていきたいと考えています。

先生方の授業改善にお役に立つよう学生満足度チームは微力ながら努力してまいります。何卒、先生方のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

FD 委員会 学生満足度チーム 座長 飯田耕太郎

平成 21 年度アンケート調査結果の概要

学生の授業満足度の変化

学生の授業満足度（「強く満足」・「やや満足」の合計）を時系列で確認した。本年度の授業満足度は、昨年度に比べ 4.4 ポイント向上し、52.6%となった。（P10 参照）

「調査結果のまとめ教員編」では、【この授業の大切なポイントをきちんと示している】【この授業に興味深く、魅力的な内容にすることを心がけている】【この授業に対して自分は熱意をもって取り組んでいる】の肯定的回答が 90%を超えている。また、多くの項目で 70%を超えており、授業改善に対する教員の意識の高さ・努力が伺える。（P12 参照）

「調査結果のまとめ学生編」では、【この授業では新しいことを学んでいる】【この授業の教員はこの授業の大切なポイントをきちんと示している】【この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる】など多くの項目で肯定的回答が 50%を超え、学生が教員の努力や熱意を強く感じていることが伺える。（P13 参照）

「学部別改善ポイント教員編・学生編」では、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の否定的回答を表すことで改善すべきポイントを示した。教員は学生の基礎的知識に対して、学生は自学自習時間、基礎知識、学力程度について、改善を要すると考えていることが伺える。（P14-15 参照）

教員の自己評価・学生の評価の経年変化（平成 19 年度～平成 21 年度）

「教員の自己評価・学生評価の時系列比較（全学～各学部）」では、教員は【話方明瞭】のポイントが 2 年連続で向上しており、学生は【評価基準】が昨年度に比べ 5 ポイント以上高くなっている。（P16-26 参照）

授業満足度から見た授業改善項目

「授業満足度から見た授業改善項目（全学～各学部）」では、学生の改善要求度の高い項目順に並べ、学生の学力程度で比較した。【この授業の教員は学生に興味がわくように工夫した進め方をしている】【この授業は内容が興味深く、魅力的である】のポイントが高い。（P27-38 参照）

学生と教員の評価のちがいと授業満足度の関係

学生スコアの総得点が高く、教員とのギャップが少ないほど満足度が高くなる。567 授業のうち 200 授業（約 35%）でその傾向が確認できた。（P39-40 参照）

自学自習時間と授業満足度の関係・着席位置と授業満足度の関係

自学自習時間が長い学生ほど、授業に対する満足度が高くなる傾向がみられる。また、教室の前方に着席する学生は、自学自習時間が長く、授業満足度も高い傾向にある。ただし、47.6%の学生が全く自学自習をしていないと回答していることから、全体の授業満足度の向上との関係性をさらに分析する必要がある。（P45-48 参照）

座席指定の有無と私語対応の関係

座席を指定している授業では、私語による授業の妨げが減る傾向がみられる。ただし、学部によっては効果が認められないケースも確認されている。さらに詳細な分析が必要である。（P49 参照）

学生にとってよい授業（自由回答）

教員の説明が分かりやすい、板書が読みやすい、話し方が明瞭で聞き取りやすい、内容が面白い、興味深い、静かで集中できる等の記載件数が多い。特徴的な記述として、「教員と学生と一緒に進める授業」という回答も 657 件となっている。コミュニケーションの重視、参加型授業といった具体的な記述も確認されている。（P50-51 参照）

調査概要と対象者属性

目的

昨年前期同様、今年度も同一科目を対象に学生アンケートと教員アンケートを同時に実施し、相互の視点から立体的に授業を評価いたします。さらにアンケート結果を先生方にフィードバックすることで、リアルタイムな授業改善、今後のシラバス作成に結果を反映させることを目的とします。また、前回の調査質問と基本的に同一のものとし、改善程度も把握します。

調査方法

教員調査、学生調査ともマークシートによる自記式アンケート

実施期間

2009.12.7 ~ 2009.12.19

調査主体

FD委員会 学生満足度チーム

対象授業

本アンケートは平成21年度後期に学部授業を担当する専任教員と非常勤講師を対象とし、担当授業のうち最も履修者が多い講義科目において実施しました。ただし以下のいずれかの項目に該当する授業は対象から除きました。

- ・ 体育科目
- ・ リレー方式で開講されている科目
- ・ 実験・実習・演習など講義以外の科目

回答者属性

学生 37,948人

教員 625人 (733設定授業中 676授業で実施 実施率92.2%)

実施授業数と教員回答者数が合致しないのは、アンケートを記入していない教員が存在するため

開講学部別回答者数

	実施授業数	学生		教員	
		専任授業受講	非常勤授業受講	専任	非常勤
法学部	101	2,353	2,402	27	66
経営学部	46	2,400	689	28	15
経済学部	29	1,781	248	19	8
理工学部	265	8,770	4,896	133	120
農学部	47	3,377	818	35	11
薬学部	38	3,292	150	32	2
都市情報学部	40	1,434	555	21	13
人間学部	27	1,473	466	17	6
教職課程・学芸員課程	19	280	383	6	13
全学共通教育部門	64	393	1,788	7	46
計	676	25,553	12,395	325	300

学生用アンケート用紙(1)

平成 21 年度後期授業満足度アンケート(学生用)

名城大学 FD 委員会
学生満足度チーム

このアンケート調査は、学生の皆さんの視点から授業の満足度を測り、授業の改善に結びつけることを目的として実施するものです。なお、ご回答いただきました内容は授業改善のみに使用し、成績評価等には一切影響しませんので率直に回答して下さい。

はじめに：マークカードに科目名・実施日を記入してください。氏名・学籍番号は記入およびマークする必要はありません。

回答方法：もっとも当てはまる記号の一つを選び、鉛筆でマークしてください。質問 22 はマークカードの自由記述欄、もしくはマークカードの裏面に記入してください。

1. この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にあると思う。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
2. この授業は、私語などをせず集中して教員の話や説明を聞いている。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
3. この授業において自分は欠席や遅刻をしていない。
a. 全くしていない b. あまりしていない c. どちらともいえない d. 少々している e. よくしている
4. この授業に対する 1 週間あたりの勉強時間(授業時間除く)。
a. 週 3 時間以上 b. 週 1 時間-3 時間未満 c. 週 30 分-1 時間未満 d. 週 30 分未満 e. していない
5. この授業は内容が興味深く、魅力的である。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
6. この授業はシラバスに示された内容を満たしている。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. そう思わない e. シラバスを読んでいない
7. この授業では指定したテキストを活用している。
a. よく活用している b. ある程度活用している c. 活用していない d. テキストはあるが買っていない
e. この授業はテキストを使用していない
8. この授業の教員は学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
9. この授業の教員は学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
10. この授業の教員はこの授業の大切なポイントをきちんと示している。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない

裏面へ進んで下さい

学生用アンケート用紙(2)

11. この授業は私語が多くて受けづらい。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
12. この授業の教員は成績評価基準を明確に示しましたか。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
13. この授業の教員の板書や資料等の文字は読み取りやすい。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
14. この授業の教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
15. この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
16. 自分はこの授業が理解できている。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
17. この授業は将来に役立つと思いますか。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
18. この授業では新しいことを学べている。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
19. この授業は総合的に見て満足のいくものである。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
20. 自分の学力はどの程度だと思いますか。
a. 上 b. どちらかといえば上 c. 中 d. どちらかといえば下 e. 下
21. この授業ではあなたは普段教室のどのあたりに着席して授業を受けていますか。おおよその位置で結構です。
5. 前方 4. やや前方 3. 中間 2. やや後方 1. 後方
(マークカードの21行目の5 4 3 2 1の欄にご記入下さい。9 8 7 6 0にはマークしないで下さい。)
22. 学生にとってよい授業とは何ですか。(あなたにとって一番ウエイトを占める要因をお書きください)
(マークカードの自由記述欄、もしくはマークカードの裏面に記入して下さい)

教員用アンケート用紙(1)

平成 21 年度後期授業満足度アンケート(教員用)

名城大学 FD 委員会
学生満足度チーム

FD 委員会では教員・学生相互の視点から授業満足度を捉え、立体的に考察することでよりよい授業改善の方策を検討していきたいと考えております。

回答内容につきましてはFD 活動以外の目的では使用致しませんので、是非ご協力いただきますようお願い致します。

はじめに：マークカードにご担当の科目名・実施日・ご氏名を記入してください。

回答方法：もっとも当てはまる記号を一つ選び鉛筆でマークしてください。

- この授業はどのレベルの学生に合わせていますか。
a.上位層 b.どちらかといえば上位層 c.中位層 d.どちらかといえば下位層 e.下位層
- この授業を履修する学生の多くは基礎的な知識が十分にあると思う。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
- この授業を興味深く、魅力的な内容にすることを心がけている。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
- この授業はシラバスにそって内容を進めている。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
- この授業ではテキストを活用しながら進めている。
a.よく活用している b.ある程度活用している c.あまり活用していない d.活用していない
e.この授業はテキストを設定していない
- 学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
- この授業では学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
- この授業の大切なポイントをきちんと示している。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない
- この授業では私語に対し、きちんと対応している。
a.強くそう思う b.ややそう思う c.どちらともいえない d.あまりそう思わない e.全くそう思わない

裏面へ進んで下さい

教員用アンケート用紙（２）

10. この授業では学生の学習のプロセスと成果を正しく反映した成績評価を心がけている。
a. とてもあてはまる b. ややあてはまる c. どちらともいえない d. あまりあてはまらない
e. 全くあてはまらない
11. この授業では板書や資料等の文字は読みやすくするように心がけている。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
12. この授業では自分の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思う。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
13. この授業に対して自分は熱意をもって取り組んでいる。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
14. 学生はこの授業が理解できていると思う。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
15. この授業は学生の将来に役立つと思う。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
16. この授業では学生は新しいことを学んでいると思う。
a. 強くそう思う b. ややそう思う c. どちらともいえない d. あまりそう思わない e. 全くそう思わない
17. この授業では座席を指定している。
a. している b. していない
18. 教員がよい授業を行うにはどのような要因が必要だと考えられますか。
(マークカードの自由記述欄、もしくはマークカードの裏面に記入して下さい)

1 授業科目の集計と項目別改善ポイント

【名城大学FD】平成21年度後期授業満足度アンケート
集計と項目別改善ポイント

学部		科目名:		時間割: 金曜日 3時限	
履修登録者数: 150人	回答者数: 60人			教員名:	

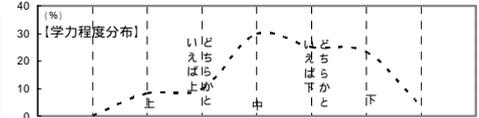
総合満足度	強く(やや)	加重平均 得点	強く(そう思 う)	やや思 う	どちらともい えない	あまり	全く 思わない	無回答
	40.0%	[3.2]	10.0	30.0	36.7	13.3	10.0	0.0

この科目の 自学自習時間 (%)	週3時間以上	週1時間-3時間	週30分-1時間	週30分未満	勉強してい ない	無回答
	0.0	10.0	23.3	25.0	40.0	1.7

総合満足度: 選択肢のうち「強く(そう思う)」と「やや(そう思う)」のスコアの合計
[]内は加重平均得点。「強く(そう思う)」に5点、「全く(そう思わない)」に1点を与えた。
加重平均得点は最大5.0点、最小1.0点(テキストのみ最小0.0点)で表示されます。

着席位置 (%)	前方	やや前方	中間	やや後方	後方	無回答
	25.0	20.0	36.7	5.0	11.7	1.7

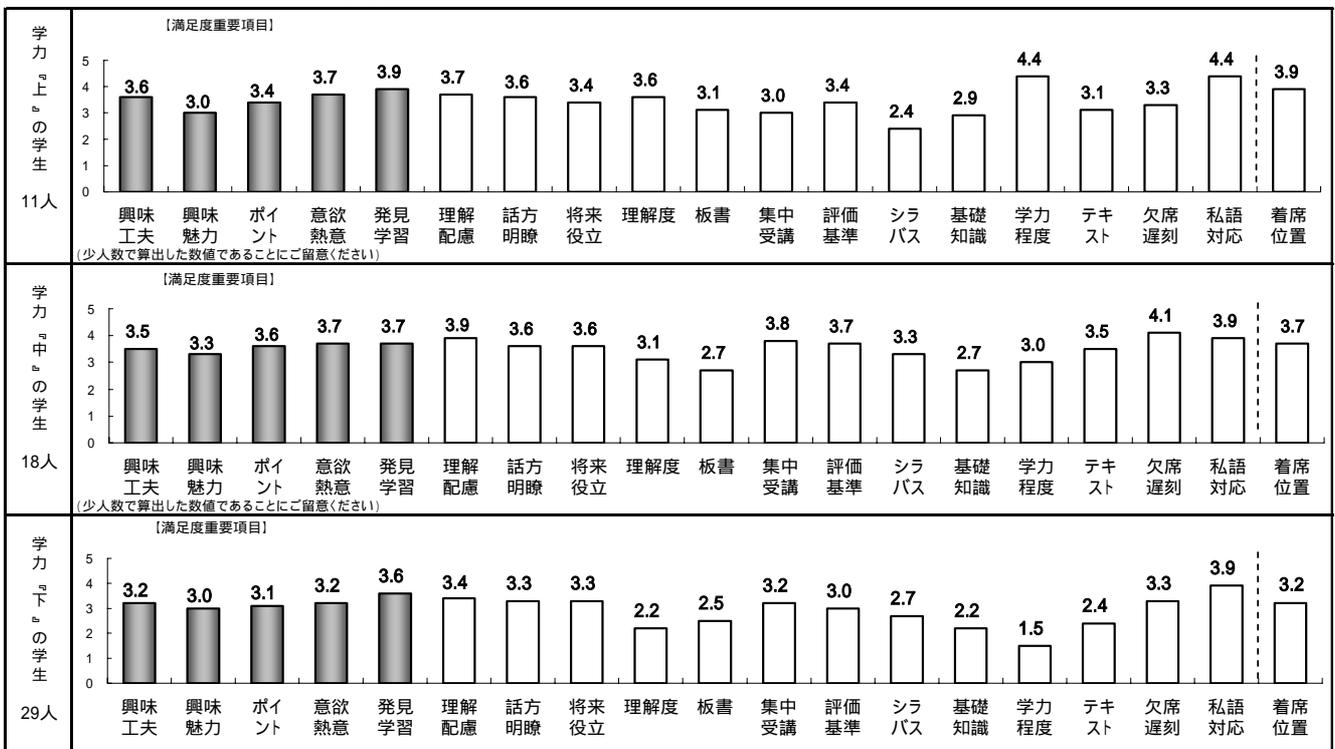
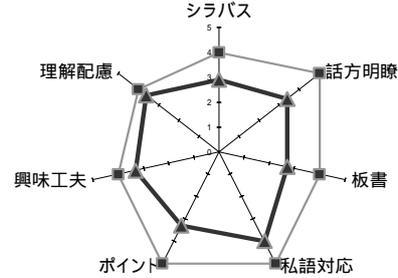
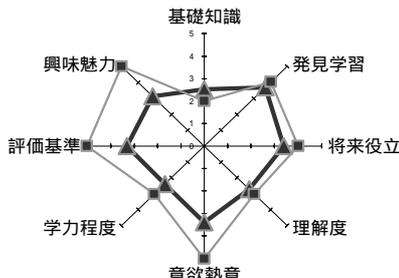
学力程度	対象	上	どちらかといえ ば上	中	どちらかといえ ば下	下	無回答
	教員						
	学生割合%(人数)	8.3 (5人)	10.0 (6人)	30.0 (18人)	25.0 (15人)	23.3 (14人)	3.3 (2人)
	満足学生の割合	36.4	(4 / 11)	61.1 (11 / 18)	31.0	(9 / 29)	



	【学生スコアは加重平均得点、教員は素点のまま】		学生	教員
基礎知識	この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にあると思う		2.5	2
興味魅力	この授業は内容が興味深く、魅力的である		3.1	5
評価基準	この授業の教員は成績評価基準を明確に示しましたか()		3.3	5
学力程度	自分の学力はどの程度だと思いますか		2.4	3
意欲熱意	この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる		3.4	5
理解度	自分はこの授業が理解できている		2.7	3
将来役立	この授業は将来に役立つと思いますか		3.4	4
発見学習	この授業では新しいことを学べている		3.7	4

	【学生スコアは加重平均得点、教員は素点のまま】		学生	教員
シラバス	この授業はシラバスに示された内容を満たしている		2.9	4
理解配慮	この授業の教員は学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている		3.6	4
興味工夫	この授業の教員は学生に興味や工夫がわかるように工夫した進め方をしている		3.3	4
ポイント	この授業の教員はこの授業の大切なポイントをきちんと示している		3.3	5
私語対応	この授業は私語が多くて受けづらい()		4.0	5
板書	この授業の教員の板書や資料等の文字は読み取りやすい		2.7	4
話方明瞭	この授業の教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい		3.4	5
集中受講	この授業は、私語などをせず集中して教員の話や説明を聞いている		3.3	
欠席遅刻	この授業において自分は欠席や遅刻をしていない		3.6	
テキスト	この授業では指定したテキストを活用している		2.8	4

() 評価基準の教員設問は「学生の学習のプロセスと成果を正しく反映した成績評価を心がけている」
() 私語対応の学生設問は「否定形設問のため、全く(そう思わない)に5点、強く(そう思う)に1点として計算。
私語対応の教員設問は「私語に対し、きちんと対応している」



上記グラフ=左から満足度と相関が高い順に並んでいます。網掛け項目が満足度との相関が高く重要な項目です(着席位置除く)。網掛けの項目のうちスコアが低い項目が改善の必要な項目です。
「上」: 学力を「上」もしくは「どちらかといえば上」と回答した学生。「中」: 学力を「中」と回答した学生。「下」: 学力を「どちらかといえば下」もしくは「下」と回答した学生。
【 】: 教員が設問1でどのレベルに合わせた授業をしているのかその回答した結果の欄に表示。
着席位置は前方に5点、後方に1点を与えているので高得点の方が前方を表します。

2 改善ポイントの見方の例

「平成 21 年度 後期科目 集計と項目別改善ポイント」見方の例

総合満足度：学生用アンケート設問 19 における回答のうち「強くそう思う」と「ややそう思う」に回答した得点の合計です。加重平均得点は、「強くそう思う」に 5 点を与え、最小の「全く思わない」に 1 点を与えて計算しています。

この科目の自学自習時間：学生用アンケート設問 4 の集計結果です。授業時間を除いた学習時間数です。

学力程度：(教員欄) 教員用アンケート設問 1 の回答です。どのレベルにあわせて授業をしているかという設問に対する回答を で示しています。

(学生割合欄) 学生アンケート設問 20 の集計結果です。学生が自分の学力をどの程度と考えているかがわかります。上記の 印項目と学生の割合のピークとが一致している場合は、より多くの学生のレベルにあわせた授業ができているといえます。

(満足学生の割合欄) 学生アンケート設問 19 の集計結果を学力程度別で示しています。学力程度上中下それぞれのレベルの学生の満足度がわかります。

学力程度分布：学生用アンケート設問 20 の回答状況を図としたものです。どこの学力レベルに焦点をあてたら授業が進めやすいのかがわかります。

基礎知識～話方明瞭(15項目)：学生用アンケート、教員用アンケートそれぞれに対応する設問の回答(学生欄は加重平均得点)を示しています。下限が 1 点、上限が 5 点で表示されます。

集中受講～テキスト(3項目)：集中受講、欠席遅刻は、教員用アンケートに対応する設問がない項目です。

レーダーチャート：上記 15 項目を図で示しています。学生と教員の感じ方のギャップを見ることができます。学生と教員のグラフが重なれば、教員が学生の状況をよく把握して授業を展開しているといえます。

学力程度別満足度グラフ：学生用アンケート設問 20 の結果により学生の回答を学力レベル上中下に分け、設問別のグラフを作成しました。網掛けの 5 項目については、全学生回答の集計値により満足度との相関が高い項目を示しています。この項目の改善が満足度の向上に効果的です。

着席位置：前方に 5 点、後方に 1 点を与えているので高得点の方が前方を表します。

除外項目：集計除外を希望された項目は「 - 」で表示されます。
(なお、無回答の項目も「 - 」で表示されます。)

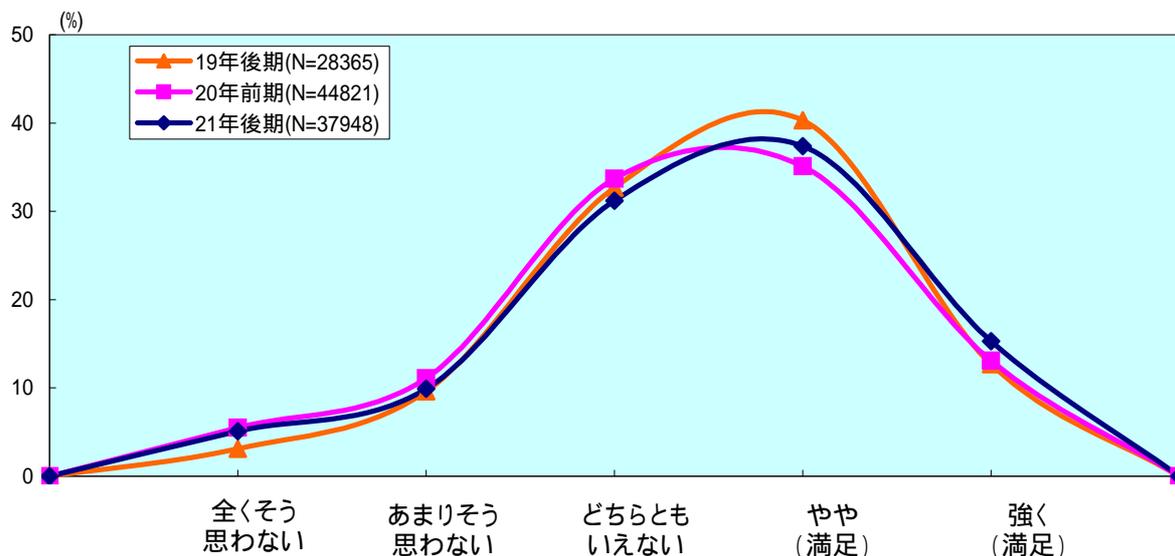
3 授業満足度の変化(1)

[学生]

授業満足度(強く + やや満足)の変化を時系列で確認した。結果前年との比較では満足度はやや上昇した。
学部別では教職課程・学芸員課程、全学共通教育部門の満足度が高かった。

Q19.この授業は総合的に見て満足のいくものである。

< 授業満足度 > 【全学部】



< 学科別授業満足度の時系列比較 >

学部別	21年後期	20年前期	19年後期	学科別	21年後期	20年前期	19年後期
全体(N=37948)	52.6	48.2	53.0	全体(N=37948)	52.6	48.2	53.0
法学部(n=4755)	57.2	54.7	56.7	法学科(n=4499)	56.3	54.6	56.7
				応用実務法学科(n=256)	72.7	56.5	-
経営学部(n=3089)	48.6	44.3	54.6	経営学科(n=2146)	47.3	43.5	52.8
				国際経営学科(n=943)	51.4	49.2	59.9
経済学部(n=2029)	49.0	43.3	56.7	経済学科(n=1649)	45.8	42.0	56.1
				産業社会学科(n=380)	63.2	47.4	59.1
理工学部(n=13666)	48.3	44.5	48.1	数学科(n=1702)	47.8	43.9	46.4
				情報工学科(n=1266)	45.9	42.5	54.9
				電気電子工学科(n=1013)	51.3	51.0	42.2
				材料機能工学科(n=999)	40.2	41.0	43.4
				機械システム工学科(n=1421)	55.7	43.1	46.5
				交通科学科(n=1227)	45.8	41.4	47.9
				建設システム工学科(n=1279)	46.4	45.0	55.2
				環境創造学科(n=765)	50.8	49.4	42.7
				建築学科(n=1535)	62.5	57.2	57.6
				工学系(n=2459)	40.0	38.1	-
農学部(n=4195)	55.6	53.0	51.4	生物資源学科(n=1335)	63.9	49.5	49.0
				応用生物化学科(n=1672)	53.2	53.6	53.0
				生物環境科学科(n=1188)	49.8	56.5	51.7
薬学部(n=3442)	55.9	51.2	55.3	薬学科(n=3442)	55.9	51.2	55.3
都市情報学部(n=1989)	51.9	44.5	54.8	都市情報学科(n=1989)	51.9	44.5	54.8
人間学部(n=1939)	56.2	58.9	63.6	人間学科(n=1939)	56.2	58.9	63.6
教職課程・学芸員課程(n=663)	62.4	55.7	68.3				
全学共通教育部門(n=2181)	62.7	49.8	42.4				

前年より5ポイント以上上昇したものは網掛け、5ポイント以上低下したものは斜体 + 下線

「強く満足」+「やや満足」のスコア (%)

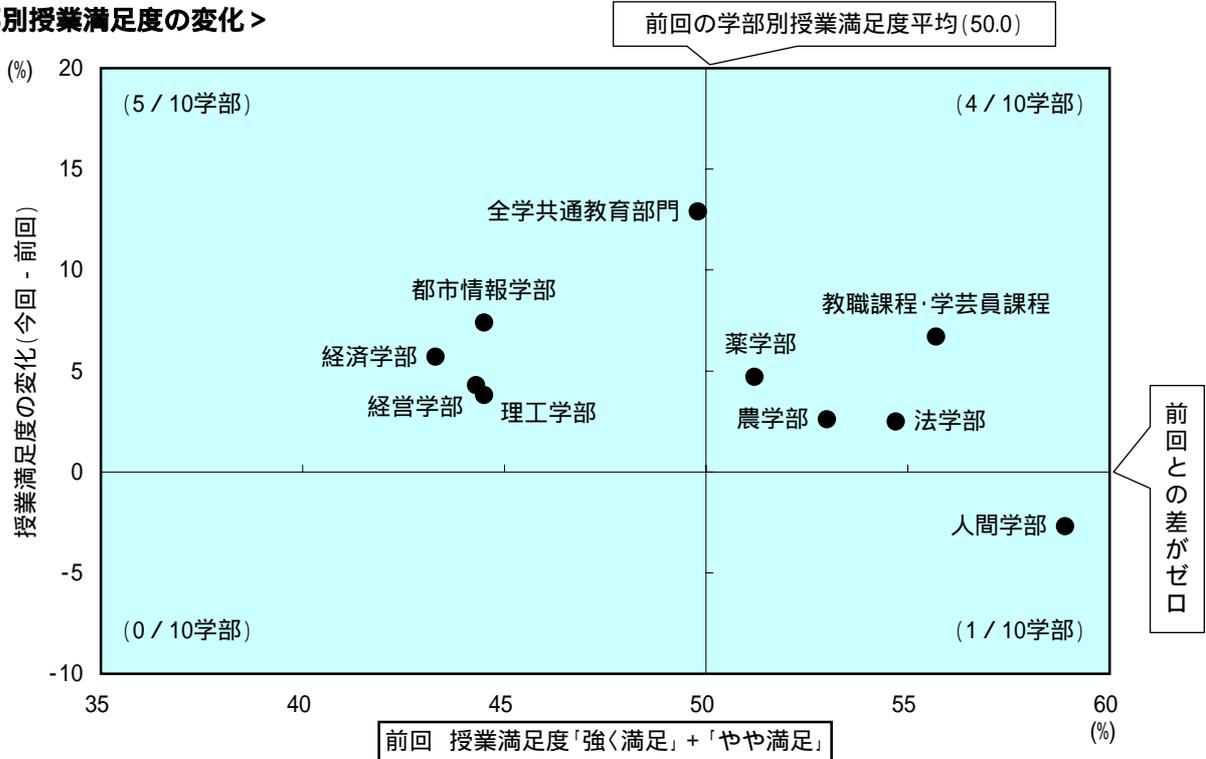
薬学部の19年後期のスコアは薬学部と6年制薬学部の合計

3 授業満足度の変化（2）

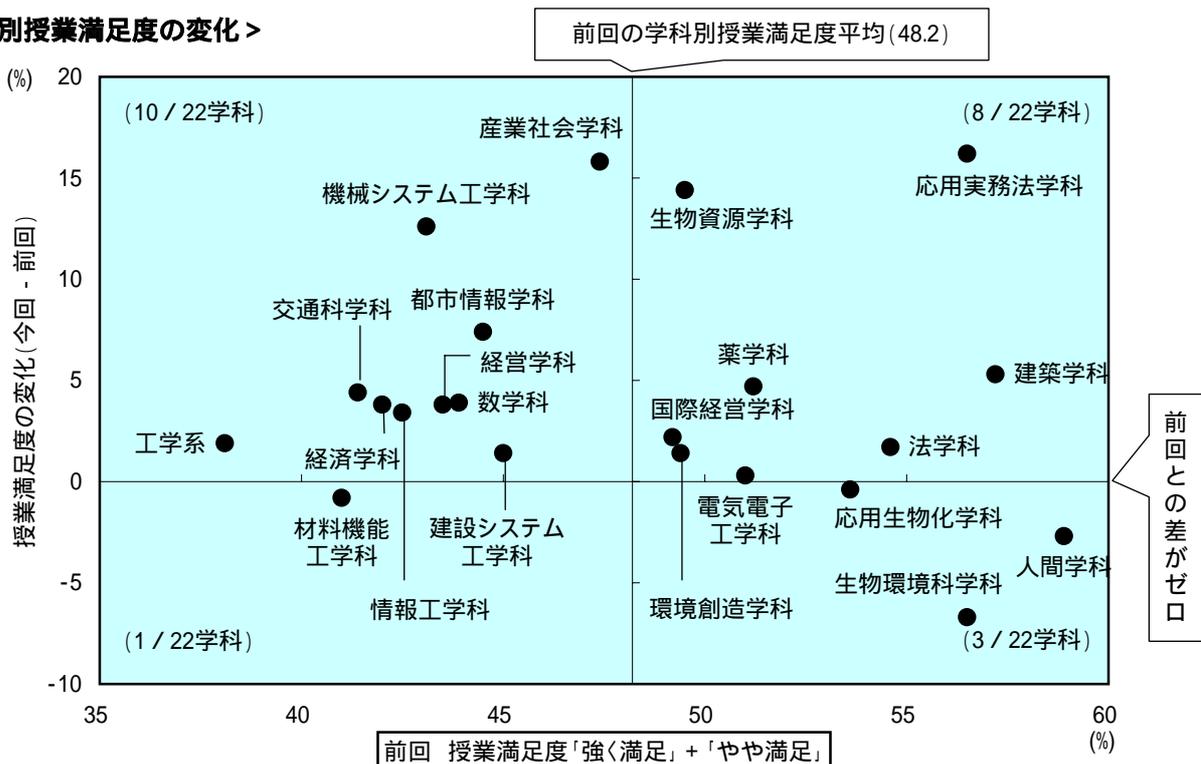
[学生]

前回と今回の比較で学部別、学科別に变化の度合いを確認したところ、前回全学平均よりも低かった学部のうち、全ての学部で満足度が上昇した。学科別でも同様の傾向だった。

< 学部別授業満足度の変化 >

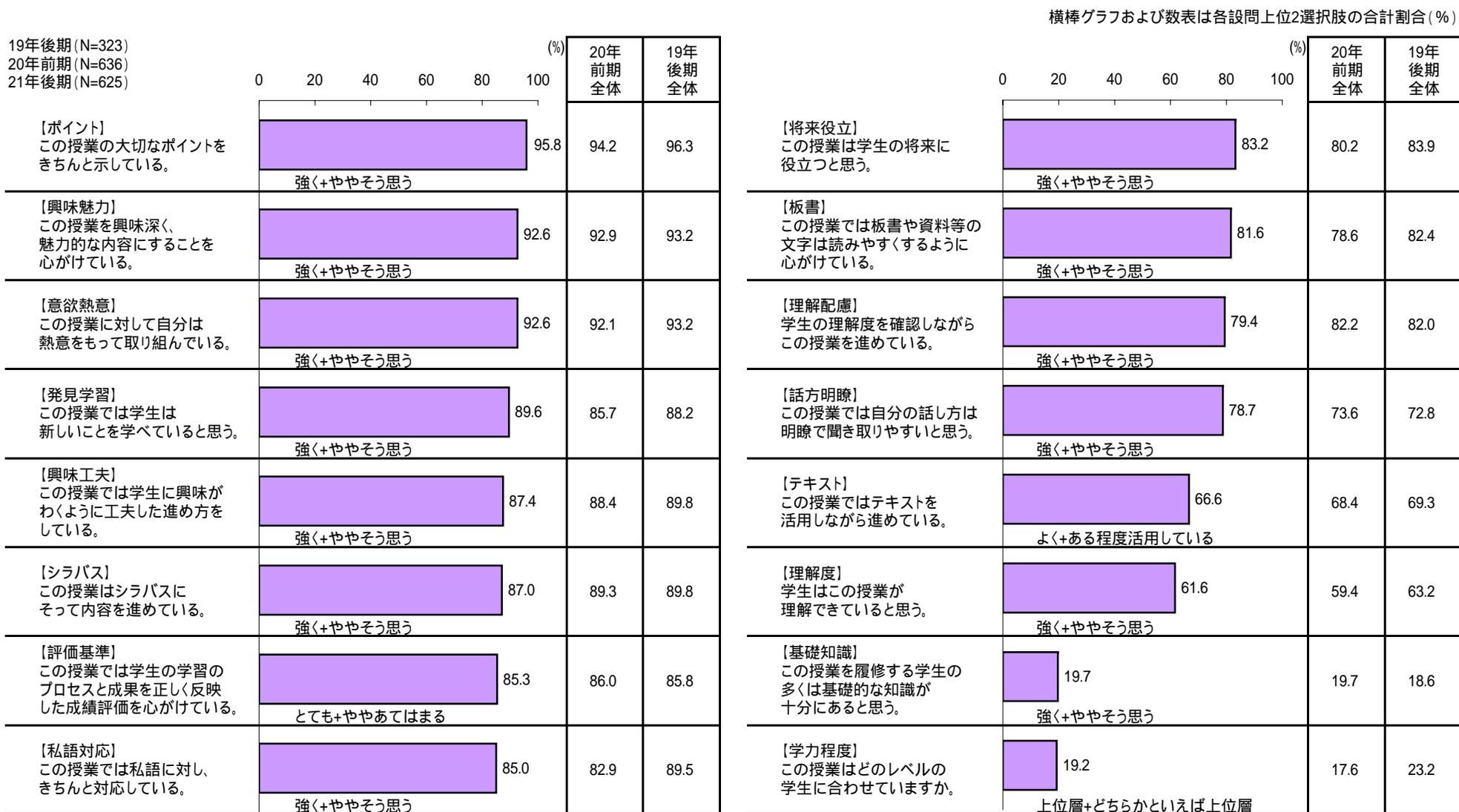


< 学科別授業満足度の変化 >



4 調査結果のまとめ 教員編

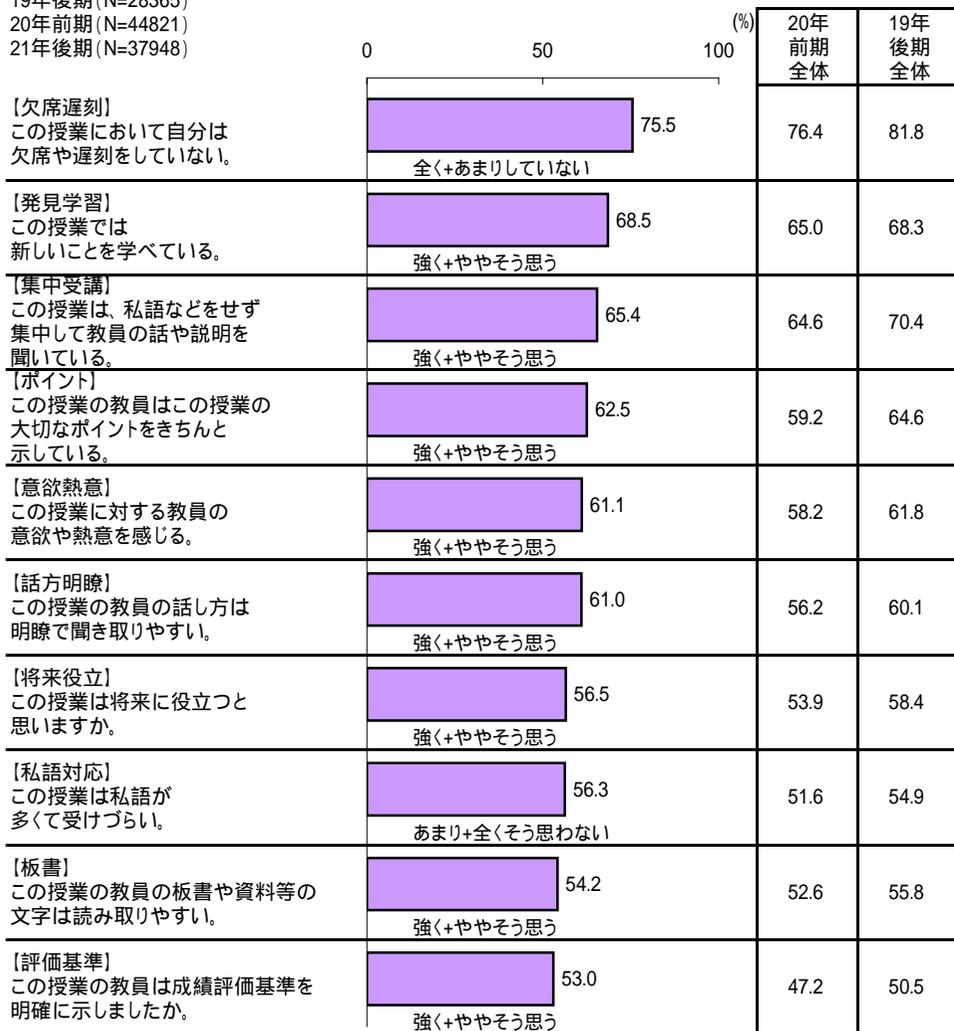
教員の自己評価の結果を前回、前々回のスコアとともに一覧で表記した。「ポイント」、「興味魅力」、「熱意意欲」をはじめ、多くの項目は70%を越えており、FDに関する教員の意識の高さ、努力がうかがえる。教員からみた学生の「基礎知識」、「学力程度」は前回同様20%以下と低い。前回との比較では、各項目とも大きな差は見られなかった。



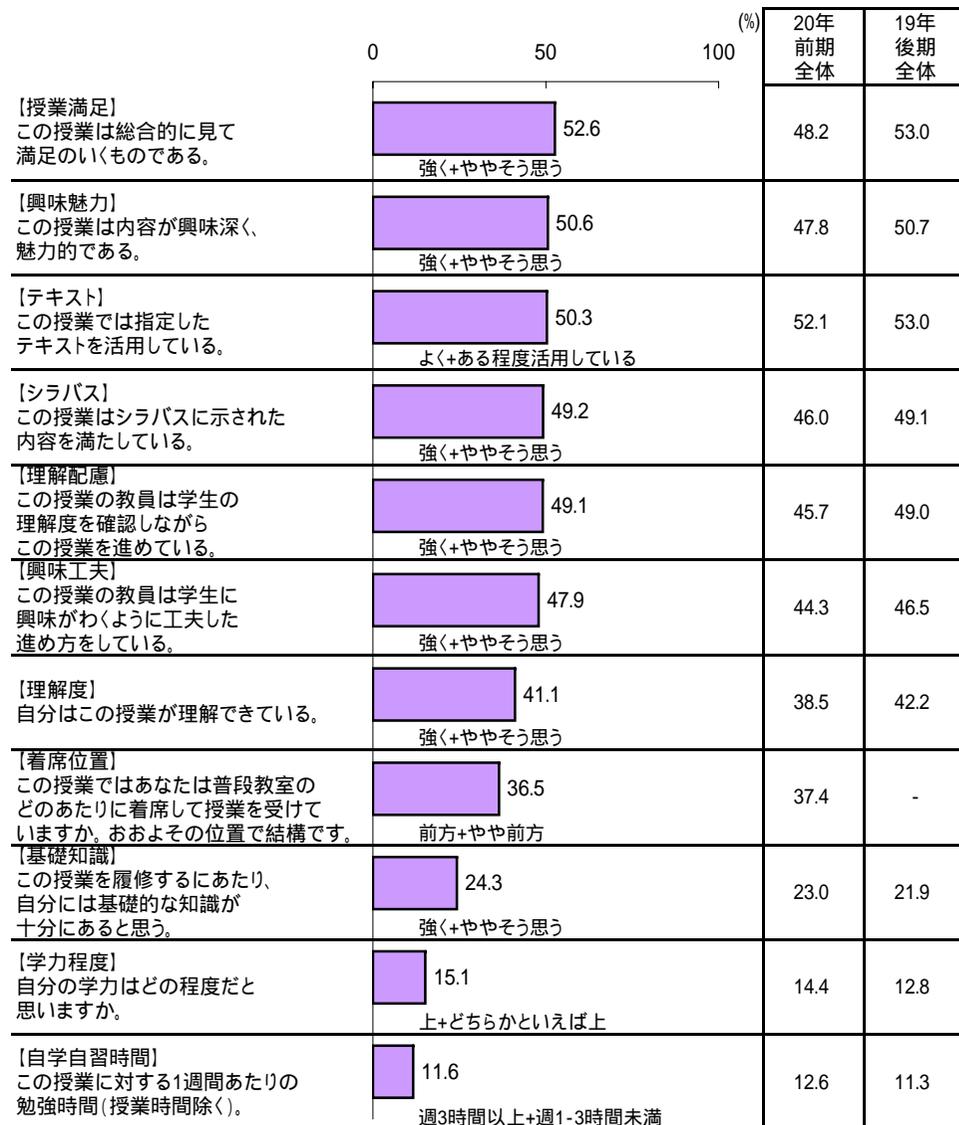
4 調査結果のまとめ 学生編

学生調査の結果を前回、前々回のスコアとともに一覧で表記した。「発見学習」、「意欲熱意」、「ポイント」など多くの項目は50%を越え、学生も教員の努力を評価している。自身については「欠席遅刻」、「集中受講」のポイントが高く、授業にまじめに取り組んでいる。しかしながら、「基礎知識」、「学力程度」、「自学自習時間」は20%前後と低い。

19年後期(N=28365)
20年前期(N=44821)
21年後期(N=37948)

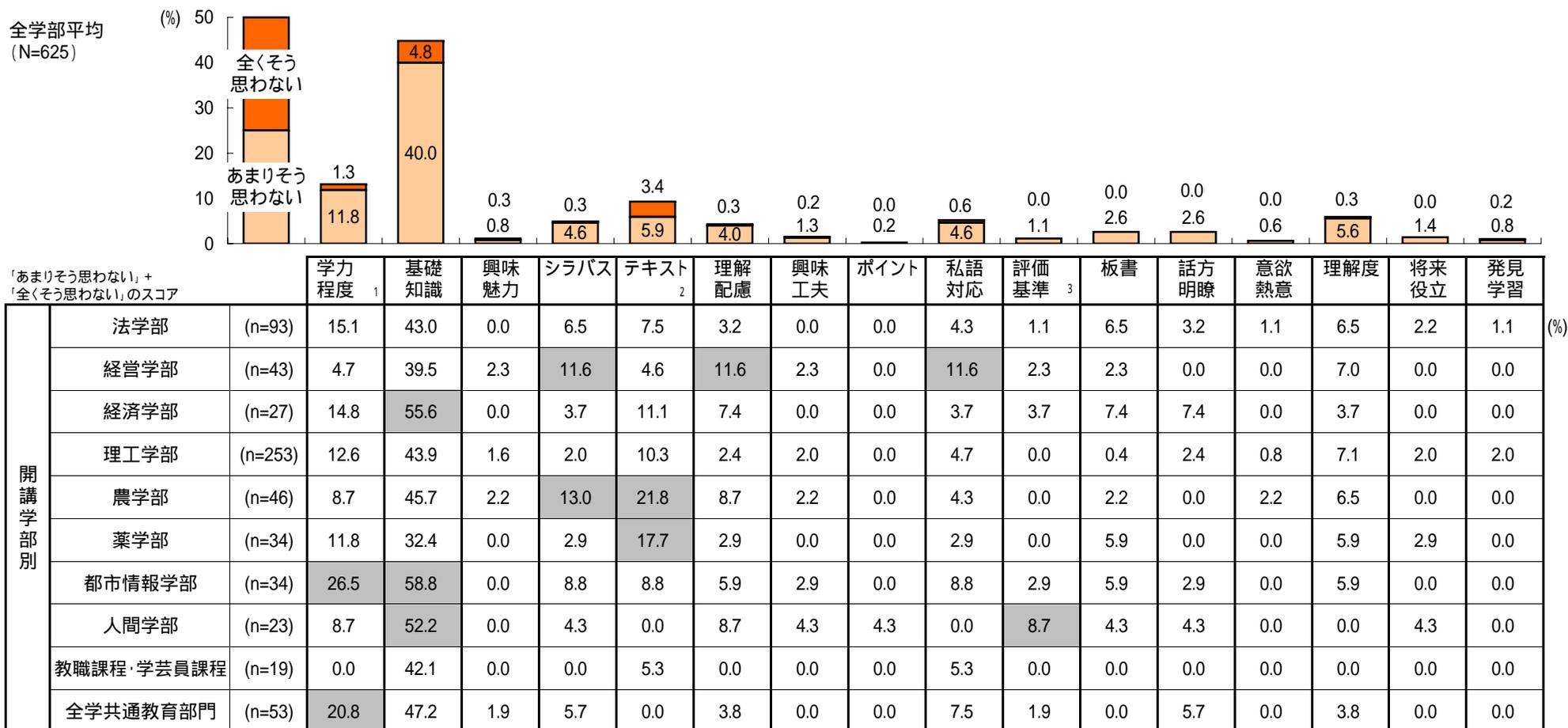


横棒グラフおよび数表は各設問上位2選択肢の合計割合(%)



5 学部別改善ポイント 教員編

教員の自己評価の結果のうち各質問の「あまりそう思わない」「全くそう思わない」のスコアを表すことで改善すべきポイントを明確にした。結果を比較することで、学部ごとの教員の特徴がわかる。たとえば、「この授業を履修する学生の多くは基礎的な知識が十分でない」と感じている教員の割合は、都市情報学部、経済学部、人間学部が多いようだ。

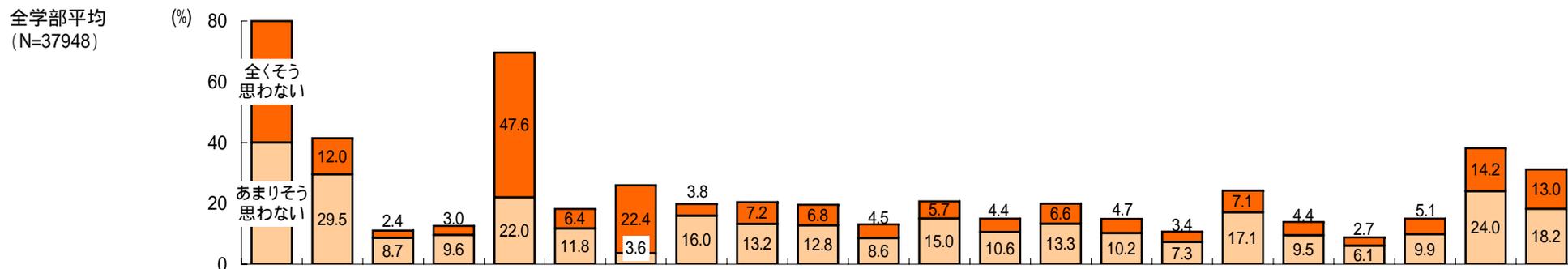


網掛けは、より改善が必要な項目(全体より5ポイント以上)

- 「学力程度」のスコアは「どちらかといえば下位層」+「下位層」
- 「テキスト」のスコアは「あまり活用していない」+「活用していない」
- 「評価基準」のスコアは「あまりあてはまらない」+「全くあてはまらない」

5 学部別改善ポイント 学生編

教員の自己評価と同様に学生調査の結果のうち「あまりそう思わない」「全くそう思わない」のスコアを表すことで改善すべきポイントを明確にした。「自学自習時間」、「基礎知識」、「学力程度」に弱点がありそうだ。特に自学自習をしていない学生がほぼ半数にのぼるという現実は大きな問題である。



開講学部別	項目	n	「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」のスコア		基礎知識	集中受講	欠席遅刻	自学自習時間	興味魅力	シラパス	テキスト	理解配慮	興味工夫	ポイント	私語対応	評価基準	板書	話方明瞭	意欲熱意	理解度	将来役立	発見学習	授業満足	学力程度	着席位置
			スコア	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア	スコア
法学部	(n=4755)	44.3	11.1	17.6	72.0	15.2	22.0	19.4	18.2	15.9	11.1	25.1	14.3	20.8	13.6	9.3	21.2	13.9	8.7	12.9	36.3	30.2			
経営学部	(n=3089)	45.5	10.5	13.1	78.2	19.9	21.3	22.6	25.3	24.5	16.1	23.7	14.0	23.7	18.8	13.0	26.4	15.7	10.2	17.2	34.7	28.8			
経済学部	(n=2029)	46.3	11.7	12.6	79.9	19.5	24.7	18.8	22.4	22.9	14.3	25.2	13.1	26.1	21.7	13.5	26.9	16.3	10.3	19.0	37.8	31.3			
理工学部	(n=13666)	39.5	11.6	11.8	61.4	20.4	24.9	23.1	21.0	21.5	13.9	20.2	14.2	20.9	16.1	11.8	27.0	16.5	9.5	16.3	38.8	30.9			
農学部	(n=4195)	42.3	9.9	11.4	78.4	17.9	36.7	16.2	21.0	19.1	12.5	15.5	17.9	20.0	14.9	9.9	23.7	11.8	7.4	14.2	43.5	32.9			
薬学部	(n=3442)	38.5	10.7	7.7	66.0	17.3	33.5	17.2	16.4	14.6	10.7	16.3	20.3	15.0	10.9	8.5	24.7	7.9	6.1	12.2	42.0	31.5			
都市情報学部	(n=1989)	39.3	13.0	16.6	66.9	17.1	24.4	27.3	20.6	19.3	11.8	29.1	13.3	18.4	12.4	11.2	23.5	14.4	10.0	14.7	35.7	28.6			
人間学部	(n=1939)	43.4	12.2	13.0	85.8	16.3	23.3	10.5	24.2	23.0	16.8	21.7	15.0	16.3	13.5	11.8	19.4	11.1	9.6	16.0	33.1	33.6			
教職課程・学芸員課程	(n=663)	40.4	10.0	11.0	74.6	12.5	29.6	15.1	15.8	13.7	12.1	15.7	14.8	14.3	8.7	6.3	10.9	6.6	6.6	9.7	30.2	34.4			
全学共通教育部門	(n=2181)	41.6	9.0	12.5	68.5	13.3	21.6	11.2	17.0	13.2	9.5	17.3	13.2	14.0	10.7	7.1	18.3	10.5	7.0	11.2	37.6	34.3			

網かけは、より改善が必要な項目(全体より5ポイント以上)

- 1 「欠席遅刻」のスコアは「少々している」+「よくしている」
- 2 「自学自習時間」のスコアは「週30分未満」+「していない」
- 3 「シラパス」のスコアは「シラパスの内容を満たしているとは」そう思わない」+「シラパスを読んでいない」
- 4 「テキスト」のスコアは「活用していない」+「テキストはあるが買ってない」

- 5 「私語対応」の質問は私語が多くて受けづらくなっていてるので、「ややそう思う」+「強く思う」
- 6 「学力程度」のスコアは「どちらかといえば下」+「下」
- 7 「着席位置」のスコアは「やや後方」+「後方」

6 教員の自己評価・学生評価の時系列比較(全学)

[教員][学生]

時系列での変化を教員全体・学生全体で各項目の肯定的評価(「強くそう思う」+「ややそう思う」)の結果で確認してみたところ、教員・学生とも大きな変化は見られなかったが、教員では【話方明瞭】で自己評価が高まり、学生では【授業満足】がやや上がり、【評価基準】のスコアが高くなった。

【全学部平均】

「強くそう思う」+「ややそう思う」のスコア(%)

<教員>	21年 後期 全体	20年 前期 全体	19年 後期 全体
N	625	636	323
【ポイント】 この授業の大切なポイントをきちんと示している。	95.8	94.2	96.3
【意欲熱意】 この授業に対して自分は熱意をもって取り組んでいる。	92.6	92.1	93.2
【興味魅力】 この授業を興味深く、魅力的な内容にすることを心がけている。	92.6	92.9	93.2
【発見学習】 この授業では学生は新しいことを学んでいると思う。	89.6	85.7	88.2
【興味工夫】 この授業では学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。	87.4	88.4	89.8
【シラバス】 この授業はシラバスにそって内容を進めている。	87.0	89.3	89.8
【評価基準】 1 この授業では学生の学習のプロセスと成果を正しく反映した成績評価を心がけている。	85.3	86.0	85.8
【私語対応】 この授業では私語に対し、きちんと対応している。	85.0	82.9	89.5
【将来役立】 この授業は学生の将来に役立つと思う。	83.2	80.2	83.9
【板書】 この授業では板書や資料等の文字は読みやすくするように心がけている。	81.6	78.6	82.4
【理解配慮】 学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。	79.4	82.2	82.0
【話方明瞭】 この授業では自分の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思う。	78.7	73.6	72.8
【テキスト】 2 この授業ではテキストを活用しながら進めている。	66.6	68.4	69.3
【理解度】 学生はこの授業が理解できていると思う。	61.6	59.4	63.2
【基礎知識】 この授業を履修する学生の多くは基礎的な知識が十分にあると思う。	19.7	19.7	18.6
【学力程度】 3 この授業はどのレベルの学生に合わせていますか。	19.2	17.6	23.2

前年より5ポイント以上上昇したものは網掛け、5ポイント以上低下したものは斜体 + 下線

<教員>

- 1 「評価基準」のスコアは「とてもあてはまる」+「ややあてはまる」
- 2 「テキスト」のスコアは「よく活用している」+「ある程度活用している」
- 3 「学力程度」のスコアは「上位層」+「どちらかといえば上位層」

<学生>

- 4 「欠席遅刻」のスコアは「全くしていない」+「あまりしていない」
- 5 「私語対応」のスコアは「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」
- 6 「テキスト」のスコアは「よく活用している」+「ある程度活用している」
- 7 「着席位置」のスコアは「前方」+「やや前方」
- 8 「学力程度」のスコアは「上」+「どちらかといえば上」
- 9 「自学自習時間」のスコアは「週3時間以上」+「週1-3時間未満」

<学生>	21年 後期 全体	20年 前期 全体	19年 後期 全体
N	37948	44821	28365
【欠席遅刻】 4 この授業において自分は欠席や遅刻をしていない。	75.5	76.4	81.8
【発見学習】 この授業では新しいことを学んでいる。	68.5	65.0	68.3
【集中受講】 この授業は、私語などをせず集中して教員の話や説明を聞いている。	65.4	64.6	70.4
【ポイント】 この授業の教員はこの授業の大切なポイントをきちんと示している。	62.5	59.2	64.6
【意欲熱意】 この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。	61.1	58.2	61.8
【話方明瞭】 この授業の教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。	61.0	56.2	60.1
【将来役立】 この授業は将来に役立つと思いますか。	56.5	53.9	58.4
【私語対応】 5 この授業は私語が多くて受けづらい。	56.3	51.6	54.9
【板書】 この授業の教員の板書や資料等の文字は読み取りやすい。	54.2	52.6	55.8
【評価基準】 この授業の教員は成績評価基準を明確に示しましたか。	53.0	47.2	50.5
【授業満足】 この授業は総合的に見て満足のいくものである。	52.6	48.2	53.0
【興味魅力】 この授業は内容が興味深く、魅力的である。	50.6	47.8	50.7
【テキスト】 6 この授業では指定したテキストを活用している。	50.3	52.1	53.0
【シラバス】 この授業はシラバスに示された内容を満たしている。	49.2	46.0	49.1
【理解配慮】 この授業の教員は学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。	49.1	45.7	49.0
【興味工夫】 この授業の教員は学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。	47.9	44.3	46.5
【理解度】 自分はこの授業が理解できている。	41.1	38.5	42.2
【着席位置】 7 この授業ではあなたは普段教室のどのあたりに着席して授業を受けていますか。おおよその位置で結構です。	36.5	37.4	-
【基礎知識】 この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にあると思う。	24.3	23.0	21.9
【学力程度】 8 自分の学力はどの程度だと思いますか。	15.1	14.4	12.8
【自学自習時間】 9 この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)。	11.6	12.6	11.3

6 教員の自己評価・学生評価の時系列比較（法学部） [教員] [学生]

法学部において時系列での変化を教員・学生で確認してみたところ、教員では【意欲熱意】の自己評価が上がったが、【テキスト】の活用では自己評価が下がった。学生では【評価基準】が上がった。

【法学部】

<教員>	21年 後期 全体	20年 前期 全体	19年 後期 全体
N	93	88	22
【ポイント】 この授業の大切なポイントをきちんと示している。	95.7	90.9	95.5
【興味魅力】 この授業に興味深く、魅力的な内容にすることを心がけている。	93.5	93.2	90.9
【意欲熱意】 この授業に対して自分は熱意をもって取り組んでいる。	90.3	85.2	77.3
【発見学習】 この授業では学生は新しいことを学んでいると思う。	87.1	90.9	86.4
【シラバス】 この授業はシラバスにそって内容を進めている。	87.1	<u>85.2</u>	95.5
【興味工夫】 この授業では学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。	86.0	88.6	77.3
【評価基準】 1 この授業では学生の学習のプロセスと成果を正しく反映した成績評価を心がけている。	84.9	84.1	81.8
【私語対応】 この授業では私語に対し、きちんと対応している。	84.9	<u>84.1</u>	90.9
【理解配慮】 学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。	81.7	85.2	72.7
【話方明瞭】 この授業では自分の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思う。	79.6	78.4	81.8
【板書】 この授業では板書や資料等の文字は読みやすくするように心がけている。	77.4	75.0	72.7
【将来役立】 この授業は学生の将来に役立つと思う。	76.3	72.7	59.1
【テキスト】 2 この授業ではテキストを活用しながら進めている。	<u>71.0</u>	78.4	72.7
【理解度】 学生はこの授業が理解できていると思う。	<u>55.9</u>	64.8	68.2
【学力程度】 3 この授業はどのレベルの学生に合っていますか。	24.7	<u>22.7</u>	36.4
【基礎知識】 この授業を履修する学生の多くは基礎的な知識が十分にあると思う。	21.5	20.5	4.5

前年より5ポイント以上上昇したものは網掛け、
5ポイント以上低下したものは斜体 + 下線

<教員>

- 1 「評価基準」のスコアは「とてもあてはまる」+「ややあてはまる」
- 2 「テキスト」のスコアは「よく活用している」+「ある程度活用している」
- 3 「学力程度」のスコアは「上位層」+「どちらかといえば上位層」

<学生>

- 4 「欠席遅刻」のスコアは「全くしていない」+「あまりしていない」
- 5 「私語対応」のスコアは「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」
- 6 「テキスト」のスコアは「よく活用している」+「ある程度活用している」
- 7 「着席位置」のスコアは「前方」+「やや前方」
- 8 「学力程度」のスコアは「上」+「どちらかといえば上」
- 9 「自学自習時間」のスコアは「週3時間以上」+「週1-3時間未満」

「強くそう思う」+「ややそう思う」のスコア(%)

<学生>	21年 後期 全体	20年 前期 全体	19年 後期 全体
N	4755	5450	2718
【発見学習】 この授業では新しいことを学べている。	70.1	68.8	72.0
【欠席遅刻】 4 この授業において自分は欠席や遅刻をしていない。	69.8	71.3	75.3
【集中受講】 この授業は、私語などをせず集中して教員の話や説明を聞いている。	69.6	70.4	73.7
【ポイント】 この授業の教員はこの授業の大切なポイントをきちんと示している。	66.5	64.4	67.5
【意欲熱意】 この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。	65.8	65.0	65.5
【話方明瞭】 この授業の教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。	63.7	58.3	61.0
【将来役立】 この授業は将来に役立つと思いますか。	58.0	<u>57.3</u>	62.6
【評価基準】 この授業の教員は成績評価基準を明確に示しましたか。	57.4	50.6	50.6
【授業満足】 この授業は総合的に見て満足のいくものである。	57.2	54.7	56.7
【興味魅力】 この授業は内容が興味深く、魅力的である。	56.8	55.0	58.3
【シラバス】 この授業はシラバスに示された内容を満たしている。	56.3	51.7	51.6
【私語対応】 5 この授業は私語が多くて受けづらい。	54.8	53.9	57.2
【板書】 この授業の教員の板書や資料等の文字は読み取りやすい。	54.0	51.7	55.7
【興味工夫】 この授業の教員は学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。	53.9	50.7	50.4
【理解配慮】 この授業の教員は学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。	53.6	48.2	47.5
【テキスト】 6 この授業では指定したテキストを活用している。	<u>52.5</u>	60.4	50.5
【理解度】 自分はこの授業が理解できている。	45.5	42.1	43.0
【着席位置】 7 この授業ではあなたは普段教室のどのあたりに着席して授業を受けていますか。おおよその位置で結構です。	37.4	40.2	-
【基礎知識】 この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にあると思う。	25.7	21.9	18.9
【学力程度】 8 自分の学力はどの程度だと思いますか。	18.3	15.3	13.9
【自学自習時間】 9 この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)。	11.0	11.9	11.5

6 教員の自己評価・学生評価の時系列比較 (経営学部) [教員] [学生]

経営学部において時系列での変化を教員・学生で確認してみたところ、教員では【話方明瞭】の自己評価が大きく高まった。一方で学生の【話方明瞭】評価は横ばいだった。

【経営学部】

「強くそう思う」+「ややそう思う」のスコア (%)

< 教員 >	21年 後期 全体	20年 前期 全体	19年 後期 全体
N	43	36	25
【ポイント】 この授業の大切なポイントをきちんと示している。	95.3	91.7	96.0
【興味魅力】 この授業を興味深く、魅力的な内容にすることを心がけている。	88.4	91.7	84.0
【意欲熱意】 この授業に対して自分は熱意をもって取り組んでいる。	<u>86.0</u>	97.2	92.0
【興味工夫】 この授業では学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。	86.0	<u>80.6</u>	92.0
【発見学習】 この授業では学生は新しいことを学べていると思う。	83.7	80.6	84.0
【話方明瞭】 この授業では自分の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思う。	79.1	66.7	68.0
【板書】 この授業では板書や資料等の文字は読みやすくするように心がけている。	79.1	<u>72.2</u>	80.0
【私語対応】 この授業では私語に対し、きちんと対応している。	<u>79.1</u>	<u>86.1</u>	92.0
【将来役立】 この授業は学生の将来に役立つと思う。	76.7	80.6	80.0
【評価基準】 1 この授業では学生の学習のプロセスと成果を正しく反映した成績評価を心がけている。	<u>76.7</u>	88.9	80.0
【シラバス】 この授業はシラバスにそって内容を進めている。	<u>74.4</u>	86.1	88.0
【理解配慮】 学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。	<u>67.4</u>	<u>75.0</u>	84.0
【テキスト】 2 この授業ではテキストを活用しながら進めている。	65.1	<u>55.6</u>	80.0
【理解度】 学生はこの授業が理解できていると思う。	53.5	58.3	60.0
【学力程度】 3 この授業はどのレベルの学生に合わせていますか。	27.9	30.6	24.0
【基礎知識】 この授業を履修する学生の多くは基礎的な知識が十分にあると思う。	16.3	16.7	20.0

前年より5ポイント以上上昇したものは網掛け、
5ポイント以上低下したものは斜体 + 下線

< 教員 >

- 1 「評価基準」のスコアは「とてもあてはまる」+「ややあてはまる」
- 2 「テキスト」のスコアは「よく活用している」+「ある程度活用している」
- 3 「学力程度」のスコアは「上位層」+「どちらかといえば上位層」

< 学生 >

- 4 「欠席遅刻」のスコアは「全くしていない」+「あまりしていない」
- 5 「テキスト」のスコアは「よく活用している」+「ある程度活用している」
- 6 「私語対応」のスコアは「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」
- 7 「着席位置」のスコアは「前方」+「やや前方」
- 8 「学力程度」のスコアは「上」+「どちらかといえば上」
- 9 「自学自習時間」のスコアは「週3時間以上」+「週1-3時間未満」

< 学生 >	21年 後期 全体	20年 前期 全体	19年 後期 全体
N	3089	3466	2152
【欠席遅刻】 4 この授業において自分は欠席や遅刻をしていない。	73.8	<u>72.6</u>	79.7
【発見学習】 この授業では新しいことを学べている。	66.9	<u>60.9</u>	69.0
【集中受講】 この授業は、私語などをせず集中して教員の話や説明を聞いている。	66.8	<u>65.0</u>	74.3
【ポイント】 この授業の教員はこの授業の大切なポイントをきちんと示している。	58.5	<u>54.2</u>	63.2
【意欲熱意】 この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。	57.9	<u>54.1</u>	62.5
【テキスト】 5 この授業では指定したテキストを活用している。	57.1	<u>46.7</u>	54.6
【将来役立】 この授業は将来に役立つと思いますか。	55.9	<u>55.6</u>	60.9
【評価基準】 この授業の教員は成績評価基準を明確に示しましたか。	54.3	47.7	51.9
【話方明瞭】 この授業の教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。	54.1	<u>50.8</u>	57.2
【シラバス】 この授業はシラバスに示された内容を満たしている。	53.0	<u>49.5</u>	56.6
【私語対応】 6 この授業は私語が多くて受けづらい。	51.2	<u>42.5</u>	55.5
【板書】 この授業の教員の板書や資料等の文字は読み取りやすい。	50.4	53.8	57.1
【興味魅力】 この授業は内容が興味深く、魅力的である。	49.3	<u>49.0</u>	54.8
【授業満足】 この授業は総合的に見て満足のいくものである。	48.6	<u>44.3</u>	54.6
【理解配慮】 この授業の教員は学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。	42.7	<u>41.7</u>	47.2
【興味工夫】 この授業の教員は学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。	41.8	42.1	45.1
【理解度】 自分はこの授業が理解できている。	39.5	<u>39.2</u>	44.5
【着席位置】 7 この授業ではあなたは普段教室のどのあたりに着席して授業を受けていますか。おおよその位置で結構です。	35.2	35.8	-
【基礎知識】 この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にあると思う。	22.0	21.5	24.1
【学力程度】 8 自分の学力はどの程度だと思いますか。	18.4	17.4	16.0
【自学自習時間】 9 この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)。	9.2	9.5	8.8

6 教員の自己評価・学生評価の時系列比較 (経済学部) [教員] [学生]

経済学部において時系列での変化を教員・学生で確認してみたところ、教員、学生とも前回に比べて改善した項目が多く、学生の【授業満足】も上昇した。

【経済学部】

「強くそう思う」+「ややそう思う」のスコア(%)

<教員>	21年 後期 全体	20年 前期 全体	19年 後期 全体
N	27	29	20
【ポイント】 この授業の大切なポイントをきちんと示している。	96.3	<u>93.1</u>	100.0
【興味魅力】 この授業を興味深く、魅力的な内容にすることを心がけている。	96.3	96.6	100.0
【発見学習】 この授業では学生は新しいことを学べていると思う。	92.6	<u>75.9</u>	90.0
【意欲熱意】 この授業に対して自分は熱意をもって取り組んでいる。	92.6	<u>89.7</u>	95.0
【板書】 この授業では板書や資料等の文字は読みやすくするように心がけている。	81.5	<u>55.2</u>	85.0
【評価基準】 1 この授業では学生の学習のプロセスと成果を正しく反映した成績評価を心がけている。	81.5	79.3	80.0
【私語対応】 この授業では私語に対し、きちんと対応している。	81.5	<u>86.2</u>	95.0
【シラバス】 この授業はシラバスにそって内容を進めている。	<u>81.5</u>	93.1	95.0
【理解配慮】 学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。	77.8	<u>72.4</u>	85.0
【将来役立】 この授業は学生の将来に役立つと思う。	74.1	<u>69.0</u>	80.0
【興味工夫】 この授業では学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。	<u>74.1</u>	<u>89.7</u>	100.0
【話方明瞭】 この授業では自分の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思う。	66.7	<u>58.6</u>	75.0
【理解度】 学生はこの授業が理解できていると思う。	63.0	48.3	45.0
【テキスト】 2 この授業ではテキストを活用しながら進めている。	59.3	58.6	60.0
【学力程度】 3 この授業はどのレベルの学生に合っていますか。	22.2	<u>10.3</u>	20.0
【基礎知識】 この授業を履修する学生の多くは基礎的な知識が十分にあると思う。	18.5	13.8	5.0

前年より5ポイント以上上昇したものは網掛け、5ポイント以上低下したものは斜体 + 下線

<教員>

- 1 「評価基準」のスコアは「とてもあてはまる」+「ややあてはまる」
- 2 「テキスト」のスコアは「よく活用している」+「ある程度活用している」
- 3 「学力程度」のスコアは「上位層」+「どちらかといえば上位層」

<学生>

- 4 「欠席遅刻」のスコアは「全くしていない」+「あまりしていない」
- 5 「私語対応」のスコアは「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」
- 6 「テキスト」のスコアは「よく活用している」+「ある程度活用している」
- 7 「着席位置」のスコアは「前方」+「やや前方」
- 8 「学力程度」のスコアは「上」+「どちらかといえば上」
- 9 「自学自習時間」のスコアは「週3時間以上」+「週1-3時間未満」

<学生>	21年 後期 全体	20年 前期 全体	19年 後期 全体
N	2029	4023	2038
【欠席遅刻】 4 この授業において自分は欠席や遅刻をしていない。	74.4	73.9	78.8
【集中受講】 この授業は、私語などをせず集中して教員の話や説明を聞いている。	67.7	<u>65.4</u>	73.4
【発見学習】 この授業では新しいことを学べている。	65.7	<u>59.8</u>	69.9
【ポイント】 この授業の教員はこの授業の大切なポイントをきちんと示している。	62.5	<u>56.8</u>	69.2
【評価基準】 この授業の教員は成績評価基準を明確に示しましたか。	58.9	<u>50.6</u>	64.2
【意欲熱意】 この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。	58.8	<u>56.0</u>	65.9
【話方明瞭】 この授業の教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。	56.8	<u>51.0</u>	64.4
【私語対応】 5 この授業は私語が多くて受けづらい。	52.7	<u>40.2</u>	52.5
【将来役立】 この授業は将来に役立つと思いますか。	52.6	<u>48.0</u>	55.9
【シラバス】 この授業はシラバスに示された内容を満たしている。	51.0	<u>43.2</u>	59.2
【板書】 この授業の教員の板書や資料等の文字は読み取りやすい。	50.0	<u>52.0</u>	61.6
【興味魅力】 この授業は内容が興味深く、魅力的である。	49.9	<u>44.2</u>	52.9
【授業満足】 この授業は総合的に見て満足のいくものである。	49.0	<u>43.3</u>	56.7
【理解配慮】 この授業の教員は学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。	47.5	<u>41.5</u>	57.3
【テキスト】 6 この授業では指定したテキストを活用している。	44.6	38.1	40.8
【興味工夫】 この授業の教員は学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。	44.2	<u>39.4</u>	51.0
【理解度】 自分はこの授業が理解できている。	38.8	<u>35.5</u>	49.8
【着席位置】 7 この授業ではあなたは普段教室のどのあたりに着席して授業を受けていますか。おおよその位置で結構です。	<u>34.8</u>	42.4	-
【基礎知識】 この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にあると思う。	21.8	20.7	22.4
【学力程度】 8 自分の学力はどの程度だと思いますか。	14.8	16.1	17.0
【自学自習時間】 9 この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)。	8.2	9.1	7.3

6 教員の自己評価・学生評価の時系列比較 (理工学部) [教員] [学生]

理工学部において時系列での変化を教員・学生で確認してみたところ、他学部 비해授業数が多いこともあり、変化が少なかったが、中でも、教員の【話方明瞭】の自己評価や、学生の【評価基準】が改善された。

【理工学部】

<教員>	21年 後期 全体	20年 前期 全体	19年 後期 全体
N	253	264	131
【ポイント】 この授業の大切なポイントをきちんと示している。	96.8	95.1	95.4
【意欲熱意】 この授業に対して自分は熱意をもって取り組んでいる。	93.7	93.6	93.1
【発見学習】 この授業では学生は新しいことを学んでいると思う。	90.1	86.4	87.8
【シラバス】 この授業はシラバスにそって内容を進めている。	90.1	92.4	89.3
【興味魅力】 この授業を興味深く、魅力的な内容にすることを心がけている。	90.1	92.4	93.1
【評価基準】 ¹ この授業では学生の学習のプロセスと成果を正しく反映した成績評価を心がけている。	89.3	89.4	88.5
【興味工夫】 この授業では学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。	87.7	87.9	87.8
【将来役立】 この授業は学生の将来に役立つと思う。	86.2	83.0	87.8
【私語対応】 この授業では私語に対し、きちんと対応している。	83.4	<u>83.0</u>	89.3
【板書】 この授業では板書や資料等の文字は読みやすくするように心がけている。	83.0	81.4	85.5
【理解配慮】 学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。	81.4	83.7	84.0
【話方明瞭】 この授業では自分の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思う。	77.5	72.3	71.0
【テキスト】 ² この授業ではテキストを活用しながら進めている。	71.1	71.6	71.8
【理解度】 学生はこの授業が理解できていると思う。	58.1	59.5	61.8
【基礎知識】 この授業を履修する学生の多くは基礎的な知識が十分にあると思う。	19.0	18.9	20.6
【学力程度】 ³ この授業はどのレベルの学生に合わせていますか。	17.8	<u>13.6</u>	19.1

前年より5ポイント以上上昇したものは網掛け、
5ポイント以上低下したものは斜体 + 下線

<教員>

- 1 「評価基準」のスコアは「とてもあてはまる」+「ややあてはまる」
- 2 「テキスト」のスコアは「よく活用している」+「ある程度活用している」
- 3 「学力程度」のスコアは「上位層」+「どちらかといえば上位層」

<学生>

- 4 「欠席遅刻」のスコアは「全くしていない」+「あまりしていない」
- 5 「私語対応」のスコアは「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」
- 6 「テキスト」のスコアは「よく活用している」+「ある程度活用している」
- 7 「着席位置」のスコアは「前方」+「やや前方」
- 8 「学力程度」のスコアは「上」+「どちらかといえば上」
- 9 「自学自習時間」のスコアは「週3時間以上」+「週1-3時間未満」

「強くそう思う」+「ややそう思う」のスコア(%)

<学生>	21年 後期 全体	20年 前期 全体	19年 後期 全体
N	13666	16790	9689
【欠席遅刻】 ⁴ この授業において自分は欠席や遅刻をしていない。	75.4	77.9	82.2
【発見学習】 この授業では新しいことを学んでいる。	65.1	62.4	62.2
【集中受講】 この授業は、私語などをせず集中して教員の話や説明を聞いている。	62.4	<u>61.3</u>	66.8
【ポイント】 この授業の教員はこの授業の大切なポイントをきちんと示している。	60.6	57.3	61.5
【話方明瞭】 この授業の教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。	56.9	52.9	56.4
【意欲熱意】 この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。	56.4	53.7	56.4
【私語対応】 ⁵ この授業は私語が多くて受けづらい。	54.2	50.0	50.2
【評価基準】 この授業の教員は成績評価基準を明確に示しましたか。	53.0	<u>45.3</u>	51.5
【テキスト】 ⁶ この授業では指定したテキストを活用している。	52.5	53.7	53.7
【板書】 この授業の教員の板書や資料等の文字は読み取りやすい。	51.0	49.9	52.5
【将来役立】 この授業は将来に役立つと思いますか。	49.9	48.0	48.8
【授業満足】 この授業は総合的に見て満足のいくものである。	48.3	44.5	48.1
【理解配慮】 この授業の教員は学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。	47.9	44.5	47.5
【シラバス】 この授業はシラバスに示された内容を満たしている。	47.5	44.1	46.2
【興味魅力】 この授業は内容が興味深く、魅力的である。	43.8	41.7	43.6
【興味工夫】 この授業の教員は学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。	43.0	39.7	41.7
【理解度】 自分はこの授業が理解できている。	37.4	35.5	37.2
【着席位置】 ⁷ この授業ではあなたは普段教室のどのあたりに着席して授業を受けていますか。おおよその位置で結構です。	36.6	37.3	-
【基礎知識】 この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にあると思う。	24.5	24.4	22.2
【学力程度】 ⁸ 自分の学力はどの程度だと思えますか。	15.1	13.9	12.9
【自学自習時間】 ⁹ この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)。	14.8	15.2	15.0

6 教員の自己評価・学生評価の時系列比較（農学部） [教員] [学生]

農学部において時系列での変化を教員・学生で確認してみたところ、教員の【発見学習】【話方明瞭】の自己評価や、学生の【私語対応】が改善された。

【農学部】

< 教員 >	21年 後期 全体	20年 前期 全体	19年 後期 全体
N	46	42	32
【ポイント】 この授業の大切なポイントをきちんと示している。	95.7	97.6	93.8
【興味魅力】 この授業を興味深く、魅力的な内容にすることを心がけている。	95.7	92.9	93.8
【発見学習】 この授業では学生は新しいことを学べていると思う。	91.3	<u>83.3</u>	93.8
【意欲熱意】 この授業に対して自分は熱意をもって取り組んでいる。	<u>91.3</u>	97.6	96.9
【将来役立】 この授業は学生の将来に役立つと思う。	<u>87.0</u>	92.9	87.5
【私語対応】 この授業では私語に対し、きちんと対応している。	87.0	88.1	90.6
【興味工夫】 この授業では学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。	87.0	83.3	87.5
【シラバス】 この授業はシラバスにそって内容を進めている。	82.6	73.8	75.0
【話方明瞭】 この授業では自分の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思う。	80.4	<u>61.9</u>	71.9
【評価基準】 1 この授業では学生の学習のプロセスと成果を正しく反映した成績評価を心がけている。	80.4	83.3	81.3
【板書】 この授業では板書や資料等の文字は読みやすくするように心がけている。	<u>73.9</u>	83.3	84.4
【理解配慮】 学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。	69.6	71.4	65.6
【理解度】 学生はこの授業が理解できていると思う。	65.2	<u>54.8</u>	65.6
【テキスト】 2 この授業ではテキストを活用しながら進めている。	<u>37.0</u>	45.2	50.0
【学力程度】 3 この授業はどのレベルの学生に合わせていますか。	30.4	31.0	28.1
【基礎知識】 この授業を履修する学生の多くは基礎的な知識が十分にあると思う。	15.2	11.9	12.5

前年より5ポイント以上上昇したものは網掛け、
5ポイント以上低下したものは斜体 + 下線

< 教員 >

- 1 「評価基準」のスコアは「とてもあてはまる」+「ややあてはまる」
- 2 「テキスト」のスコアは「よく活用している」+「ある程度活用している」
- 3 「学力程度」のスコアは「上位層」+「どちらかといえば上位層」

< 学生 >

- 4 「欠席遅刻」のスコアは「全くしていない」+「あまりしていない」
- 5 「私語対応」のスコアは「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」
- 6 「着席位置」のスコアは「前方」+「やや前方」
- 7 「テキスト」のスコアは「よく活用している」+「ある程度活用している」
- 8 「学力程度」のスコアは「上」+「どちらかといえば上」
- 9 「自学自習時間」のスコアは「週3時間以上」+「週1-3時間未満」

「強くそう思う」+「ややそう思う」のスコア (%)

< 学生 >	21年 後期 全体	20年 前期 全体	19年 後期 全体
N	4195	3971	3114
【欠席遅刻】 4 この授業において自分は欠席や遅刻をしていない。	79.5	78.3	80.4
【発見学習】 この授業では新しいことを学べている。	72.7	70.6	71.1
【集中受講】 この授業は、私語などをせず集中して教員の話や説明を聞いている。	67.8	<u>65.1</u>	70.8
【意欲熱意】 この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。	64.7	62.5	60.2
【私語対応】 5 この授業は私語が多くて受けづらい。	64.2	<u>56.1</u>	63.7
【話方明瞭】 この授業の教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。	63.6	61.1	58.3
【ポイント】 この授業の教員はこの授業の大切なポイントをきちんと示している。	61.3	60.2	60.3
【将来役立】 この授業は将来に役立つと思いますか。	58.9	58.6	57.2
【興味魅力】 この授業は内容が興味深く、魅力的である。	55.9	52.3	52.2
【授業満足】 この授業は総合的に見て満足のいくものである。	55.6	53.0	51.4
【板書】 この授業の教員の板書や資料等の文字は読み取りやすい。	55.1	52.9	53.9
【興味工夫】 この授業の教員は学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。	50.6	46.3	45.6
【理解配慮】 この授業の教員は学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。	47.4	45.6	46.5
【評価基準】 この授業の教員は成績評価基準を明確に示しましたか。	45.9	47.0	39.3
【シラバス】 この授業はシラバスに示された内容を満たしている。	41.7	41.9	43.5
【理解度】 自分はこの授業が理解できている。	40.9	39.6	41.6
【着席位置】 6 この授業ではあなたは普段教室のどのあたりに着席して授業を受けていますか。おおよその位置で結構です。	39.2	40.0	-
【テキスト】 7 この授業では指定したテキストを活用している。	<u>31.8</u>	41.0	40.0
【基礎知識】 この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にあると思う。	22.7	25.0	21.7
【学力程度】 8 自分の学力はどの程度だと思いますか。	9.2	11.9	8.9
【自学自習時間】 9 この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)。	6.7	11.0	7.6

6 教員の自己評価・学生評価の時系列比較 (薬学部) [教員] [学生]

薬学部において時系列での変化を教員・学生で確認してみたところ、教員の【意欲熱意】の自己評価も改善され、学生の【意欲熱意】も改善された。

【薬学部】

「強くそう思う」+「ややそう思う」のスコア (%)

<教員>	21年 後期 全体	20年 前期 全体	19年 後期 全体
N	34	25	41
【発見学習】 この授業では学生は新しいことを学べていると思う。	100.0	92.0	95.1
【興味魅力】 この授業を興味深く、魅力的な内容にすることを心がけている。	100.0	96.0	97.6
【意欲熱意】 この授業に対して自分は熱意をもって取り組んでいる。	97.1	92.0	92.7
【興味工夫】 この授業では学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。	97.1	<u>92.0</u>	97.6
【将来役立】 この授業は学生の将来に役立つと思う。	94.1	<u>84.0</u>	90.2
【ポイント】 この授業の大切なポイントをきちんと示している。	<u>94.1</u>	100.0	100.0
【シラバス】 この授業はシラバスにそって内容を進めている。	91.2	92.0	92.7
【話方明瞭】 この授業では自分の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思う。	88.2	88.0	80.5
【板書】 この授業では板書や資料等の文字は読みやすくするように心がけている。	85.3	<u>80.0</u>	85.4
【私語対応】 この授業では私語に対し、きちんと対応している。	<u>85.3</u>	<u>92.0</u>	97.6
【テキスト】 1 この授業ではテキストを活用しながら進めている。	<u>82.4</u>	<u>92.0</u>	97.6
【理解配慮】 学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。	76.5	<u>80.0</u>	90.2
【評価基準】 2 この授業では学生の学習のプロセスと成果を正しく反映した成績評価を心がけている。	<u>73.5</u>	92.0	85.4
【理解度】 学生はこの授業が理解できていると思う。	<u>61.8</u>	<u>72.0</u>	78.0
【基礎知識】 この授業を履修する学生の多くは基礎的な知識が十分にあると思う。	<u>26.5</u>	32.0	36.6
【学力程度】 3 この授業はどのレベルの学生に合っていますか。	<u>17.6</u>	24.0	26.8

前年より5ポイント以上上昇したものは網掛け、5ポイント以上低下したものは斜体 + 下線

<教員>

- 1 「テキスト」のスコアは「よく活用している」+「ある程度活用している」
- 2 「評価基準」のスコアは「とてもあてはまる」+「ややあてはまる」
- 3 「学力程度」のスコアは「上層」+「どちらかといえば上層」

<学生>

- 4 「欠席遅刻」のスコアは「全くしていない」+「あまりしていない」
- 5 「テキスト」のスコアは「よく活用している」+「ある程度活用している」
- 6 「私語対応」のスコアは「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」
- 7 「着席位置」のスコアは「前方」+「やや前方」
- 8 「自学自習時間」のスコアは「週3時間以上」+「週1-3時間未満」
- 9 「学力程度」のスコアは「上」+「どちらかといえば上」

<学生>	21年 後期 全体	20年 前期 全体	19年 後期 全体
N	3442	2634	4600
【欠席遅刻】 4 この授業において自分は欠席や遅刻をしていない。	83.4	86.0	89.0
【テキスト】 5 この授業では指定したテキストを活用している。	<u>72.5</u>	79.2	82.2
【発見学習】 この授業では新しいことを学べている。	72.2	72.0	71.0
【将来役立】 この授業は将来に役立つと思いますか。	67.7	67.4	70.2
【話方明瞭】 この授業の教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。	66.4	60.6	61.2
【集中受講】 この授業は、私語などをせず集中して教員の話や説明を聞いている。	65.3	69.9	73.2
【ポイント】 この授業の教員はこの授業の大切なポイントをきちんと示している。	64.9	<u>62.8</u>	68.8
【意欲熱意】 この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。	64.2	58.7	63.3
【私語対応】 6 この授業は私語が多くて受けづらい。	<u>61.5</u>	71.9	62.3
【板書】 この授業の教員の板書や資料等の文字は読み取りやすい。	59.0	51.7	55.4
【授業満足】 この授業は総合的に見て満足のいくものである。	55.9	51.2	55.3
【理解配慮】 この授業の教員は学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。	52.9	48.1	50.8
【興味工夫】 この授業の教員は学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。	52.4	47.8	48.0
【興味魅力】 この授業は内容が興味深く、魅力的である。	49.2	46.0	49.6
【シラバス】 この授業はシラバスに示された内容を満たしている。	40.7	43.4	43.6
【評価基準】 この授業の教員は成績評価基準を明確に示しましたか。	40.3	<u>35.6</u>	42.5
【着席位置】 7 この授業ではあなたは普段教室のどのあたりに着席して授業を受けていますか。おおよその位置で結構です。	37.6	37.2	-
【理解度】 自分はこの授業が理解できている。	37.2	<u>31.9</u>	40.5
【基礎知識】 この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にあると思う。	23.2	<u>16.1</u>	21.5
【自学自習時間】 8 この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)。	12.7	14.9	12.4
【学力程度】 9 自分の学力はどの程度だと思いますか。	12.0	10.4	9.6

6 教員の自己評価・学生評価の時系列比較（都市情報学部） [教員] [学生]

都市情報学部において時系列での変化を教員・学生で確認してみたところ、教員の【発見学習】【将来役立】の自己評価や、学生の【授業満足】【話方明瞭】が改善された。

【都市情報学部】

「強くそう思う」+「ややそう思う」のスコア(%)

<教員>	21年 後期 全体	20年 前期 全体	19年 後期 全体
N	34	28	24
【ポイント】 この授業の大切なポイントをきちんと示している。	94.1	100.0	95.8
【興味魅力】 この授業を興味深く、魅力的な内容にすることを心がけている。	94.1	85.7	95.8
【発見学習】 この授業では学生は新しいことを学べていると思う。	85.3	75.0	83.3
【私語対応】 この授業では私語に対し、きちんと対応している。	85.3	78.6	70.8
【興味工夫】 この授業では学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。	85.3	89.3	100.0
【シラバス】 この授業はシラバスにそって内容を進めている。	85.3	89.3	91.7
【将来役立】 この授業は学生の将来に役立つと思う。	82.4	71.4	83.3
【意欲熱意】 この授業に対して自分は熱意をもって取り組んでいる。	82.4	85.7	95.8
【板書】 この授業では板書や資料等の文字は読みやすくするように心がけている。	79.4	60.7	66.7
【評価基準】 1 この授業では学生の学習のプロセスと成果を正しく反映した成績評価を心がけている。	79.4	82.1	100.0
【理解配慮】 学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。	76.5	75.0	79.2
【話方明瞭】 この授業では自分の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思う。	70.6	67.9	66.7
【テキスト】 2 この授業ではテキストを活用しながら進めている。	61.8	53.6	54.2
【理解度】 学生はこの授業が理解できていると思う。	55.9	35.7	50.0
【学力程度】 3 この授業はどのレベルの学生に合っていますか。	17.6	17.9	25.0
【基礎知識】 この授業を履修する学生の多くは基礎的な知識が十分にあると思う。	14.7	10.7	8.3

前年より5ポイント以上上昇したものは網掛け、
5ポイント以上低下したものは斜体 + 下線

<教員>

- 1 「評価基準」のスコアは「とてもあてはまる」+「ややあてはまる」
- 2 「テキスト」のスコアは「よく活用している」+「ある程度活用している」
- 3 「学力程度」のスコアは「上位層」+「どちらかといえば上位層」

<学生>

- 4 「欠席遅刻」のスコアは「全くしていない」+「あまりしていない」
- 5 「私語対応」のスコアは「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」
- 6 「テキスト」のスコアは「よく活用している」+「ある程度活用している」
- 7 「着席位置」のスコアは「前方」+「やや前方」
- 8 「学力程度」のスコアは「上」+「どちらかといえば上」
- 9 「自学自習時間」のスコアは「週3時間以上」+「週1-3時間未満」

<学生>	21年 後期 全体	20年 前期 全体	19年 後期 全体
N	1989	1635	1487
【欠席遅刻】 4 この授業において自分は欠席や遅刻をしていない。	68.6	71.8	74.0
【発見学習】 この授業では新しいことを学べている。	64.7	61.2	71.6
【話方明瞭】 この授業の教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。	63.3	55.0	60.5
【ポイント】 この授業の教員はこの授業の大切なポイントをきちんと示している。	62.6	60.1	65.5
【集中受講】 この授業は、私語などをせず集中して教員の話や説明を聞いている。	59.3	64.3	69.3
【意欲熱意】 この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。	58.6	56.7	64.7
【将来役立】 この授業は将来に役立つと思いますか。	56.1	50.3	57.1
【評価基準】 この授業の教員は成績評価基準を明確に示しましたか。	54.6	47.3	56.8
【板書】 この授業の教員の板書や資料等の文字は読み取りやすい。	53.9	52.1	57.6
【授業満足】 この授業は総合的に見て満足のいくものである。	51.9	44.5	54.8
【興味魅力】 この授業は内容が興味深く、魅力的である。	50.6	47.0	54.0
【シラバス】 この授業はシラバスに示された内容を満たしている。	49.4	47.1	53.1
【興味工夫】 この授業の教員は学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。	47.2	42.2	48.8
【理解配慮】 この授業の教員は学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。	46.8	44.9	48.4
【私語対応】 5 この授業は私語が多くて受けづらい。	43.3	48.0	47.9
【理解度】 自分はこの授業が理解できている。	42.5	37.8	39.9
【テキスト】 6 この授業では指定したテキストを活用している。	41.7	39.9	46.9
【着席位置】 7 この授業ではあなたは普段教室のどのあたりに着席して授業を受けていますか。おおよその位置で結構です。	34.2	35.2	-
【基礎知識】 この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にあると思う。	28.3	24.9	22.7
【学力程度】 8 自分の学力はどの程度だと思いますか。	18.8	17.2	15.5
【自学自習時間】 9 この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)。	13.3	11.1	9.4

6 教員の自己評価・学生評価の時系列比較(人間学部) [教員] [学生]

人間学部において時系列での変化を教員・学生で確認してみたところ、教員の[発見学習][私語対応]の自己評価や、学生の[私語対応][評価基準]が改善された。

【人間学部】

<教員>	21年 後期 全体	20年 前期 全体	19年 後期 全体
N	23	28	17
[発見学習] この授業では学生は新しいことを学べていると思う。	100.0	92.9	82.4
[意欲熱意] この授業に対して自分は熱意をもって取り組んでいる。	100.0	96.4	100.0
[私語対応] この授業では私語に対し、きちんと対応している。	95.7	<u>71.4</u>	88.2
[興味魅力] この授業に興味深く、魅力的な内容にすることを心がけている。	95.7	96.4	94.1
[板書] この授業では板書や資料等の文字は読みやすくするように心がけている。	91.3	92.9	88.2
[ポイント] この授業の大切なポイントをきちんと示している。	91.3	<u>92.9</u>	100.0
[将来役立] この授業は学生の将来に役立つと思う。	<u>87.0</u>	92.9	82.4
[シラバス] この授業はシラバスにそって内容を進めている。	<u>87.0</u>	96.4	100.0
[話方明瞭] この授業では自分の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思う。	82.6	85.7	76.5
[評価基準] 1 この授業では学生の学習のプロセスと成果を正しく反映した成績評価を心がけている。	<u>82.6</u>	96.4	88.2
[理解配慮] 学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。	82.6	<u>82.1</u>	88.2
[理解度] 学生はこの授業が理解できていると思う。	78.3	75.0	70.6
[興味工夫] この授業では学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。	<u>78.3</u>	92.9	76.5
[テキスト] 2 この授業ではテキストを活用しながら進めている。	<u>52.2</u>	64.3	64.7
[基礎知識] この授業を履修する学生の多くは基礎的な知識が十分にあると思う。	<u>17.4</u>	28.6	5.9
[学力程度] 3 この授業はどのレベルの学生に合っていますか。	17.4	21.4	23.5

前年より5ポイント以上上昇したものは網掛け、
5ポイント以上低下したものは斜体 + 下線

<教員>

- 1 「評価基準」のスコアは「とてもあてはまる」+「ややあてはまる」
- 2 「テキスト」のスコアは「よく活用している」+「ある程度活用している」
- 3 「学力程度」のスコアは「上位層」+「どちらかといえば上位層」

<学生>

- 4 「欠席遅刻」のスコアは「全くしていない」+「あまりしていない」
- 5 「私語対応」のスコアは「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」
- 6 「着席位置」のスコアは「前方」+「やや前方」
- 7 「テキスト」のスコアは「よく活用している」+「ある程度活用している」
- 8 「学力程度」のスコアは「上」+「どちらかといえば上」
- 9 「自学自習時間」のスコアは「週3時間以上」+「週1-3時間未満」

「強くそう思う」+「ややそう思う」のスコア(%)

<学生>	21年 後期 全体	20年 前期 全体	19年 後期 全体
N	1939	2399	1732
[欠席遅刻] 4 この授業において自分は欠席や遅刻をしていない。	76.9	<u>75.4</u>	84.1
[発見学習] この授業では新しいことを学べている。	72.9	74.2	77.7
[集中受講] この授業は、私語などをせず集中して教員の話や説明を聞いている。	69.8	69.0	71.2
[話方明瞭] この授業の教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。	68.0	<u>67.8</u>	76.5
[意欲熱意] この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。	66.8	<u>66.1</u>	74.9
[将来役立] この授業は将来に役立つと思いますか。	64.2	<u>65.9</u>	73.6
[板書] この授業の教員の板書や資料等の文字は読み取りやすい。	63.8	63.9	68.6
[興味魅力] この授業は内容が興味深く、魅力的である。	63.2	65.3	65.8
[ポイント] この授業の教員はこの授業の大切なポイントをきちんと示している。	62.3	<u>65.2</u>	71.2
[評価基準] この授業の教員は成績評価基準を明確に示しましたか。	60.4	<u>52.8</u>	65.4
[私語対応] 5 この授業は私語が多くて受けづらい。	60.2	51.6	50.2
[シラバス] この授業はシラバスに示された内容を満たしている。	58.7	59.8	62.2
[授業満足] この授業は総合的に見て満足のいくものである。	56.2	58.9	63.6
[理解度] 自分はこの授業が理解できている。	50.7	<u>53.4</u>	58.9
[興味工夫] この授業の教員は学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。	50.3	53.3	58.0
[理解配慮] この授業の教員は学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。	47.3	48.5	53.3
[着席位置] 6 この授業ではあなたは普段教室のどのあたりに着席して授業を受けていますか。おおよその位置で結構です。	36.2	32.6	-
[テキスト] 7 この授業では指定したテキストを活用している。	<u>32.3</u>	48.9	32.8
[基礎知識] この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にあると思う。	24.7	25.7	22.5
[学力程度] 8 自分の学力はどの程度だと思いますか。	15.8	14.9	13.9
[自学自習時間] 9 この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)。	5.4	6.6	7.4

6 教員の自己評価・学生評価の時系列比較 (教職課程・学芸員課程) [教員] [学生]

教職課程・学芸員課程において時系列での変化を教員・学生で確認してみたところ、教員の殆どの項目で自己評価が改善され、学生評価も【授業満足】をはじめ【発見学習】【将来役立】などで改善された。

【教職課程・学芸員課程】

<教員>	21年 後期 全体	20年 前期 全体	19年 後期 全体
N	19	24	5
【発見学習】 この授業では学生は新しいことを学べていると思う。	100.0	91.7	80.0
【将来役立】 この授業は学生の将来に役立つと思う。	100.0	87.5	80.0
【意欲熱意】 この授業に対して自分は熱意をもって取り組んでいる。	100.0	95.8	100.0
【評価基準】 1 この授業では学生の学習のプロセスと成果を正しく反映した成績評価を心がけている。	100.0	70.8	60.0
【ポイント】 この授業の大切なポイントをきちんと示している。	100.0	91.7	100.0
【理解度】 学生はこの授業が理解できていると思う。	94.7	50.0	60.0
【興味工夫】 この授業では学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。	94.7	87.5	100.0
【興味魅力】 この授業を興味深く、魅力的な内容にすることを心がけている。	94.7	91.7	100.0
【理解配慮】 学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。	89.5	87.5	80.0
【シラバス】 この授業はシラバスにそって内容を進めている。	89.5	83.3	80.0
【話方明瞭】 この授業では自分の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思う。	84.2	75.0	80.0
【板書】 この授業では板書や資料等の文字は読みやすくするように心がけている。	84.2	75.0	100.0
【私語対応】 この授業では私語に対し、きちんと対応している。	84.2	75.0	100.0
【テキスト】 2 この授業ではテキストを活用しながら進めている。	26.3	12.5	20.0
【基礎知識】 この授業を履修する学生の多くは基礎的な知識が十分にあると思う。	21.1	8.3	40.0
【学力程度】 3 この授業はどのレベルの学生に合わせていますか。	10.5	12.5	0.0

前年より5ポイント以上上昇したものは網掛け、5ポイント以上低下したものは斜体 + 下線

<教員>

- 1 「評価基準」のスコアは「とてもあてはまる」+「ややあてはまる」
- 2 「テキスト」のスコアは「よく活用している」+「ある程度活用している」
- 3 「学力程度」のスコアは「上位層」+「どちらかといえば上位層」

<学生>

- 4 「欠席遅刻」のスコアは「全くしていない」+「あまりしていない」
- 5 「私語対応」のスコアは「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」
- 6 「着席位置」のスコアは「前方」+「やや前方」
- 7 「テキスト」のスコアは「よく活用している」+「ある程度活用している」
- 8 「学力程度」のスコアは「上」+「どちらかといえば上」
- 9 「自学自習時間」のスコアは「週3時間以上」+「週1-3時間未満」

「強くそう思う」+「ややそう思う」のスコア(%)

<学生>	21年 後期 全体	20年 前期 全体	19年 後期 全体
N	663	946	366
【発見学習】 この授業では新しいことを学べている。	77.2	71.8	81.1
【将来役立】 この授業は将来に役立つと思いますか。	77.1	67.7	81.4
【欠席遅刻】 4 この授業において自分は欠席や遅刻をしていない。	76.8	78.3	85.5
【話方明瞭】 この授業の教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。	70.0	67.5	76.0
【意欲熱意】 この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。	69.7	67.0	78.1
【私語対応】 5 この授業は私語が多くて受けづらい。	67.7	64.6	46.7
【集中受講】 この授業は、私語などをせず集中して教員の話や説明を聞いている。	67.1	64.0	65.6
【ポイント】 この授業の教員はこの授業の大切なポイントをきちんと示している。	65.6	61.8	75.7
【興味魅力】 この授業は内容が興味深く、魅力的である。	63.2	58.7	66.1
【授業満足】 この授業は総合的に見て満足のいくものである。	62.4	55.7	68.3
【板書】 この授業の教員の板書や資料等の文字は読み取りやすい。	60.8	61.5	61.2
【興味工夫】 この授業の教員は学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。	59.0	55.1	63.4
【理解度】 自分はこの授業が理解できている。	54.9	44.8	62.0
【理解配慮】 この授業の教員は学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。	54.9	48.9	61.2
【評価基準】 この授業の教員は成績評価基準を明確に示しましたか。	54.6	46.2	49.2
【シラバス】 この授業はシラバスに示された内容を満たしている。	42.8	40.4	43.7
【着席位置】 6 この授業ではあなたは普段教室のどのあたりに着席して授業を受けていますか。おおよその位置で結構です。	29.3	25.9	-
【テキスト】 7 この授業では指定したテキストを活用している。	27.9	19.1	16.1
【基礎知識】 この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にあると思う。	25.0	17.4	23.0
【学力程度】 8 自分の学力はどの程度だと思いますか。	14.5	11.2	15.0
【自学自習時間】 9 この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)。	8.6	7.7	4.1

6 教員の自己評価・学生評価の時系列比較 (全学共通教育部門) [教員] [学生]

全学共通教育部門において時系列での変化を教員・学生で確認してみたところ、教員の【意欲熱意】や【私語対応】で自己評価が改善され、学生評価は【授業満足】をはじめ多くの項目で改善が見られた。

【全学共通教育部門】

<教員>	21年 後期 全体	20年 前期 全体	19年 後期 全体
N	53	72	6
【意欲熱意】 この授業に対して自分は熱意をもって取り組んでいる。	96.2	<u>90.3</u>	100.0
【ポイント】 この授業の大切なポイントをきちんと示している。	94.3	91.7	83.3
【興味魅力】 この授業を興味深く、魅力的な内容にすることを心がけている。	94.3	94.4	66.7
【私語対応】 この授業では私語に対し、きちんと対応している。	92.5	80.6	66.7
【興味工夫】 この授業では学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。	92.5	93.1	83.3
【評価基準】 ¹ この授業では学生の学習のプロセスと成果を正しく反映した成績評価を心がけている。	86.8	79.2	66.7
【シラバス】 この授業はシラバスにそって内容を進めている。	86.8	<u>90.3</u>	100.0
【板書】 この授業では板書や資料等の文字は読みやすくするように心がけている。	84.9	84.7	50.0
【話方明瞭】 この授業では自分の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思う。	83.0	80.6	50.0
【理解配慮】 学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。	<u>83.0</u>	88.9	83.3
【発見学習】 この授業では学生は新しいことを学んでいると思う。	81.1	81.9	83.3
【テキスト】 ² この授業ではテキストを活用しながら進めている。	<u>81.1</u>	86.1	16.7
【理解度】 学生はこの授業が理解できていると思う。	75.5	62.5	66.7
【将来役立】 この授業は学生の将来に役立つと思う。	73.6	70.8	66.7
【基礎知識】 この授業を履修する学生の多くは基礎的な知識が十分にあると思う。	26.4	29.2	33.3
【学力程度】 ³ この授業はどのレベルの学生に合っていますか。	<u>3.8</u>	<u>12.5</u>	33.3

前年より5ポイント以上上昇したものは網掛け、
5ポイント以上低下したものは斜体 + 下線

<教員>

- 1 「評価基準」のスコアは「とてもあてはまる」+「ややあてはまる」
- 2 「テキスト」のスコアは「よく活用している」+「ある程度活用している」
- 3 「学力程度」のスコアは「上位層」+「どちらかといえば上位層」

<学生>

- 4 「欠席遅刻」のスコアは「全くしていない」+「あまりしていない」
- 5 「私語対応」のスコアは「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」
- 6 「テキスト」のスコアは「よく活用している」+「ある程度活用している」
- 7 「着席位置」のスコアは「前方」+「やや前方」
- 8 「学力程度」のスコアは「上」+「どちらかといえば上」
- 9 「自学自習時間」のスコアは「週3時間以上」+「週1-3時間未満」

「強くそう思う」+「ややそう思う」のスコア(%)

<学生>	21年 後期 全体	20年 前期 全体	19年 後期 全体
N	2181	3507	469
【欠席遅刻】 ⁴ この授業において自分は欠席や遅刻をしていない。	76.5	<u>77.1</u>	82.7
【発見学習】 この授業では新しいことを学んでいる。	74.3	64.2	66.5
【話方明瞭】 この授業の教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。	71.1	61.1	55.4
【意欲熱意】 この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。	70.1	63.9	52.5
【ポイント】 この授業の教員はこの授業の大切なポイントをきちんと示している。	69.3	58.6	51.6
【集中受講】 この授業は、私語などをせず集中して教員の話や説明を聞いている。	68.0	<u>62.4</u>	69.5
【将来役立】 この授業は将来に役立つと思いますか。	64.4	56.6	54.4
【私語対応】 ⁵ この授業は私語が多くて受けづらい。	63.9	<u>55.7</u>	61.4
【板書】 この授業の教員の板書や資料等の文字は読み取りやすい。	63.8	56.4	54.2
【授業満足】 この授業は総合的に見て満足のいくものである。	62.7	49.8	42.4
【評価基準】 この授業の教員は成績評価基準を明確に示しましたか。	61.2	52.2	44.1
【興味工夫】 この授業の教員は学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。	59.7	51.3	39.4
【興味魅力】 この授業は内容が興味深く、魅力的である。	59.6	49.9	48.0
【テキスト】 ⁶ この授業では指定したテキストを活用している。	59.4	62.0	21.3
【シラバス】 この授業はシラバスに示された内容を満たしている。	58.0	<u>44.5</u>	51.8
【理解配慮】 この授業の教員は学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。	56.2	51.7	33.3
【理解度】 自分はこの授業が理解できている。	51.4	42.4	45.0
【着席位置】 ⁷ この授業ではあなたは普段教室のどのあたりに着席して授業を受けていますか。おおよその位置で結構です。	34.3	34.4	-
【基礎知識】 この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にあると思う。	25.3	24.2	22.2
【学力程度】 ⁸ 自分の学力はどの程度だと思いますか。	16.2	15.1	12.6
【自学自習時間】 ⁹ この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)。	12.1	14.5	6.0

学生への設問の中で教員自身が改善できると考えられる12項目について、授業満足度への影響度と不満度から改善要求度を算出した。結果、「授業内容を学生に興味がわくように工夫してほしい」「授業内容を興味深くしてほしい」との回答が高いことがわかった。

影響度

「影響度」とは、学生の満足感への影響の強さを数値で表したものです。もう少し正確に表現しますと、各評価項目に対する評価と「授業満足」の評価との関係の強さを数値で表したものとすることになります。値は大きいほど関係が強く、最大で1.0、最小で0.0の値をとりますが、1.0に近い値をとることはほとんどなく、経験的には0.4程度の値でかなりの関係があると言えます。この「影響度」は、全学の結果を用いて算出しています。

不満度

「不満度」とは、評価項目に対する学生の不満感の大きさを数値で表したものです。ある評価項目に対して、学生が「そうは思いません」という気持ちの程度を数量化して表したものととして理解してください。値が大きいほど不満感が強く、最大で1、最小で0の値をとります。

改善要求度

「授業満足」に対する評価を上げるためには、「影響度」の大きな評価項目の、不満度を減らす、ことができればよいことがわかります。すなわち、授業のやり方に対する学生からの改善要求の度合いは、「影響度」および「不満度」と比例関係にあることがわかります。そこで、「改善要求度」を以下のように定義しました。

$$\text{「改善要求度」} = \frac{\text{「影響度」} \times \text{「不満度」}}{\text{「影響度」の最大値}} \times 100$$

「改善要求度」は、大学全体で算出した「影響度」の最大値で除してあり、最大値が100、最小値が0になるように規格化しています。

	影響度	不満度	改善要求度
5. この授業は内容が興味深く、魅力的である。	0.43	0.45	43.83
6. この授業はシラバスに示された内容を満たしている。	0.27	0.50	30.13
8. この授業の教員は学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。	0.39	0.46	39.95
9. この授業の教員は学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。	0.45	0.46	45.84
10. この授業の教員はこの授業の大切なポイントをきちんと示している。	0.42	0.38	35.35
11. この授業は私語が多くて受けづらい。	0.13	0.39	11.80
12. この授業の教員は成績評価基準を明確に示しましたか。	0.25	0.41	23.41
13. この授業の教員の板書や資料等の文字は読み取りやすい。	0.31	0.42	29.52
14. この授業の教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。	0.39	0.38	32.86
15. この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。	0.41	0.37	34.26
17. この授業は将来に役立つと思いますか。	0.38	0.41	34.55
18. この授業では新しいことを学べている。	0.41	0.34	31.07
影響度の最大値	0.45		

7 授業満足度から見た授業改善項目（全学）

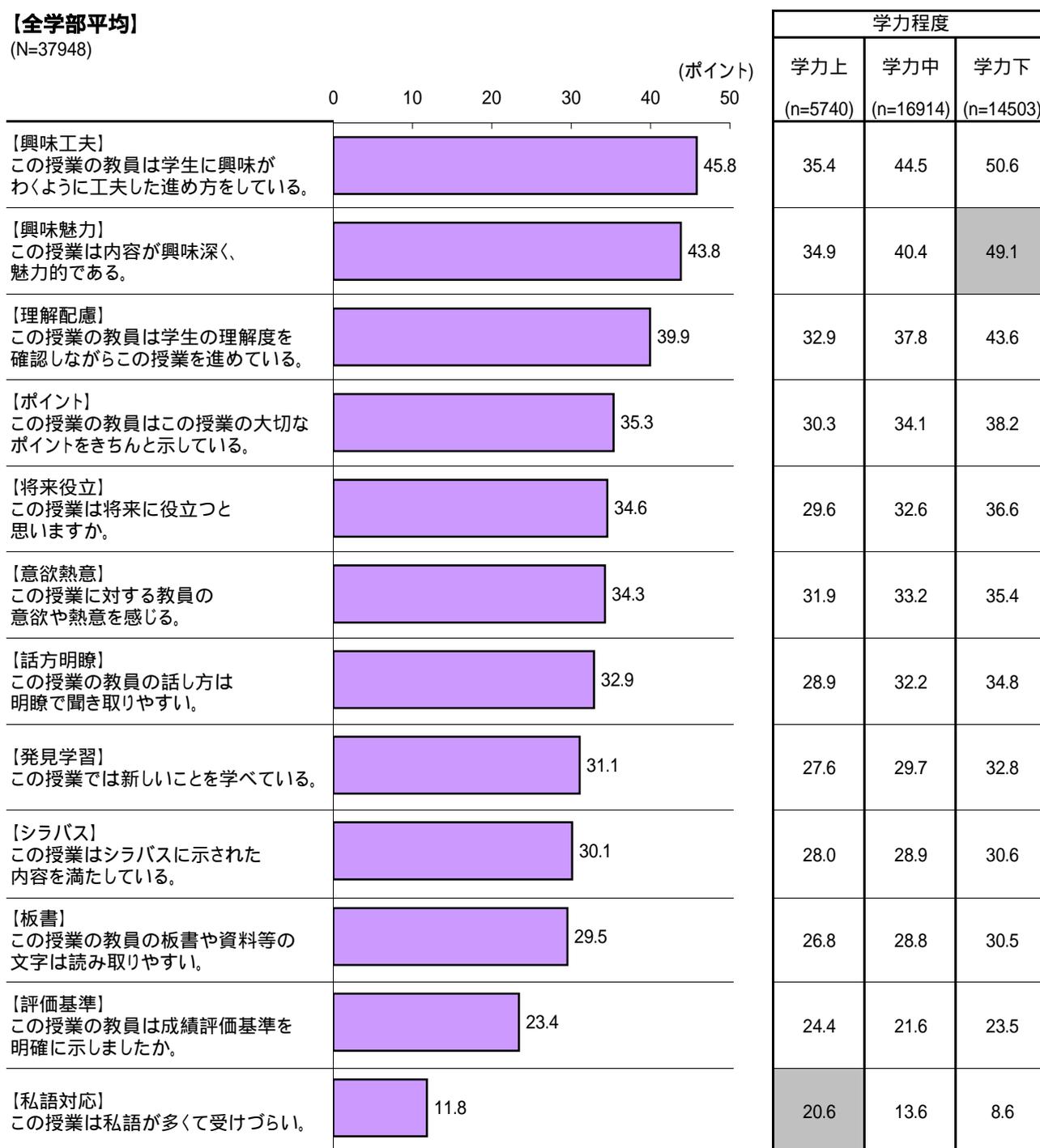
[学生]

学生による改善要求度は「興味工夫」、「興味魅力」で特に高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほど要求が強い傾向。一方、「私語対応」への改善要求度は低いが、学力程度が高いほど強まる。

< 改善要求度の高い項目 >

【全学部平均】

(N=37948)



(ポイント)

* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

7 授業満足度から見た授業改善項目（法学部）

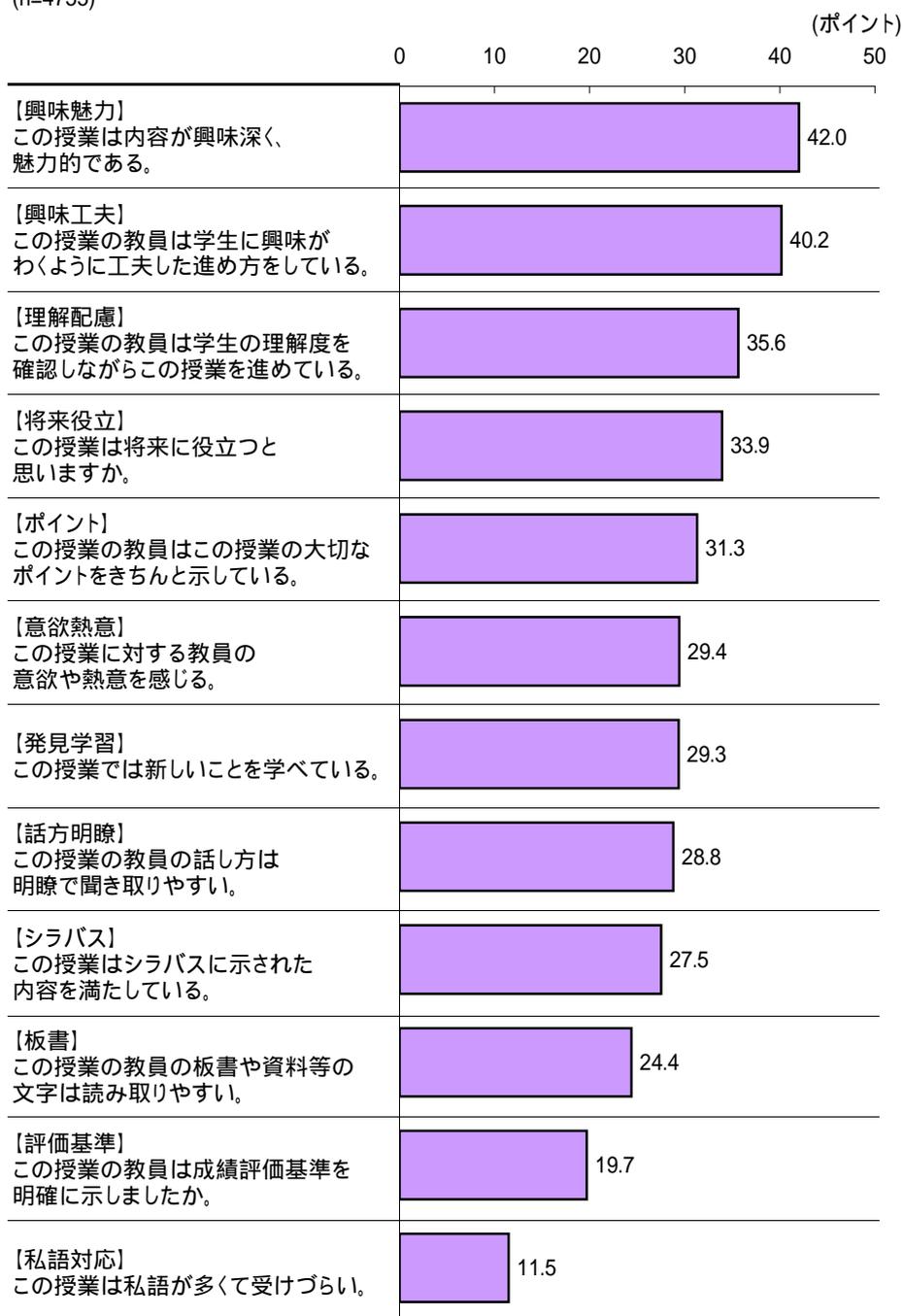
[学生]

法学部では「興味魅力」、「興味工夫」の順に改善要求度が高く、上位項目は学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。「私語対応」は学力程度が高いほど要求が強まる。

< 改善要求度の高い項目 >

【法学部】

(n=4755)



	学力程度		
	学力上 (n=872)	学力中 (n=2058)	学力下 (n=1724)
【興味魅力】	34.3	39.6	47.7
【興味工夫】	34.7	38.3	44.7
【理解配慮】	27.7	35.0	39.2
【将来役立つ】	34.2	31.0	36.4
【ポイント】	27.3	30.6	33.7
【意欲熱意】	28.3	27.2	31.0
【発見学習】	28.4	28.4	30.2
【話方明瞭】	24.3	29.4	30.1
【シラバス】	27.4	26.3	28.6
【板書】	23.2	24.4	24.9
【評価基準】	21.2	16.3	21.7
【私語対応】	18.3	13.7	9.1

(ポイント)

* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

7 授業満足度から見た授業改善項目（経営学部）

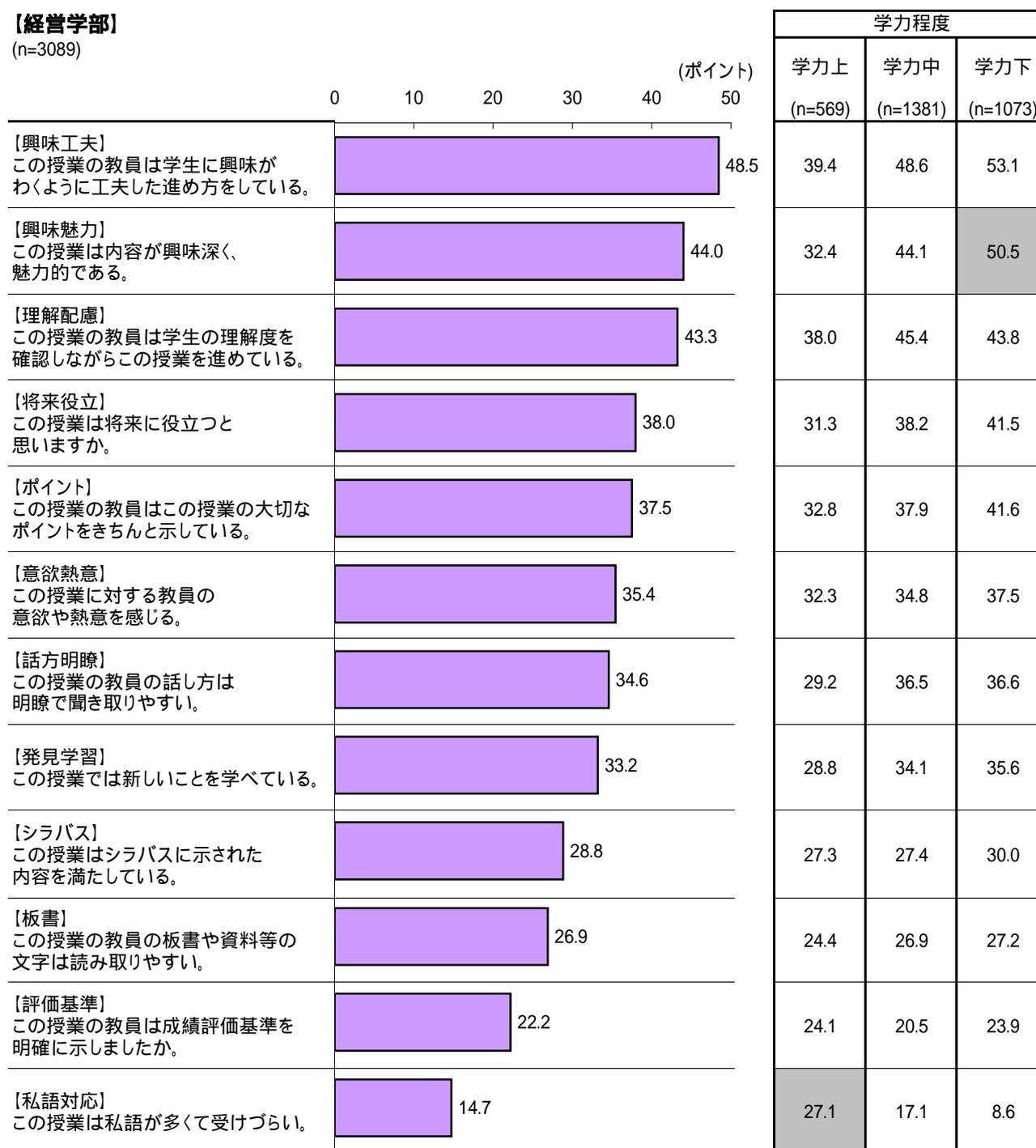
[学生]

経営学部では「興味工夫」、「興味魅力」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。「私語対応」は学力程度が高いほど要求が強まる。

< 改善要求度の高い項目 >

【経営学部】

(n=3089)



(ポイント)

* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

7 授業満足度から見た授業改善項目（経済学部）

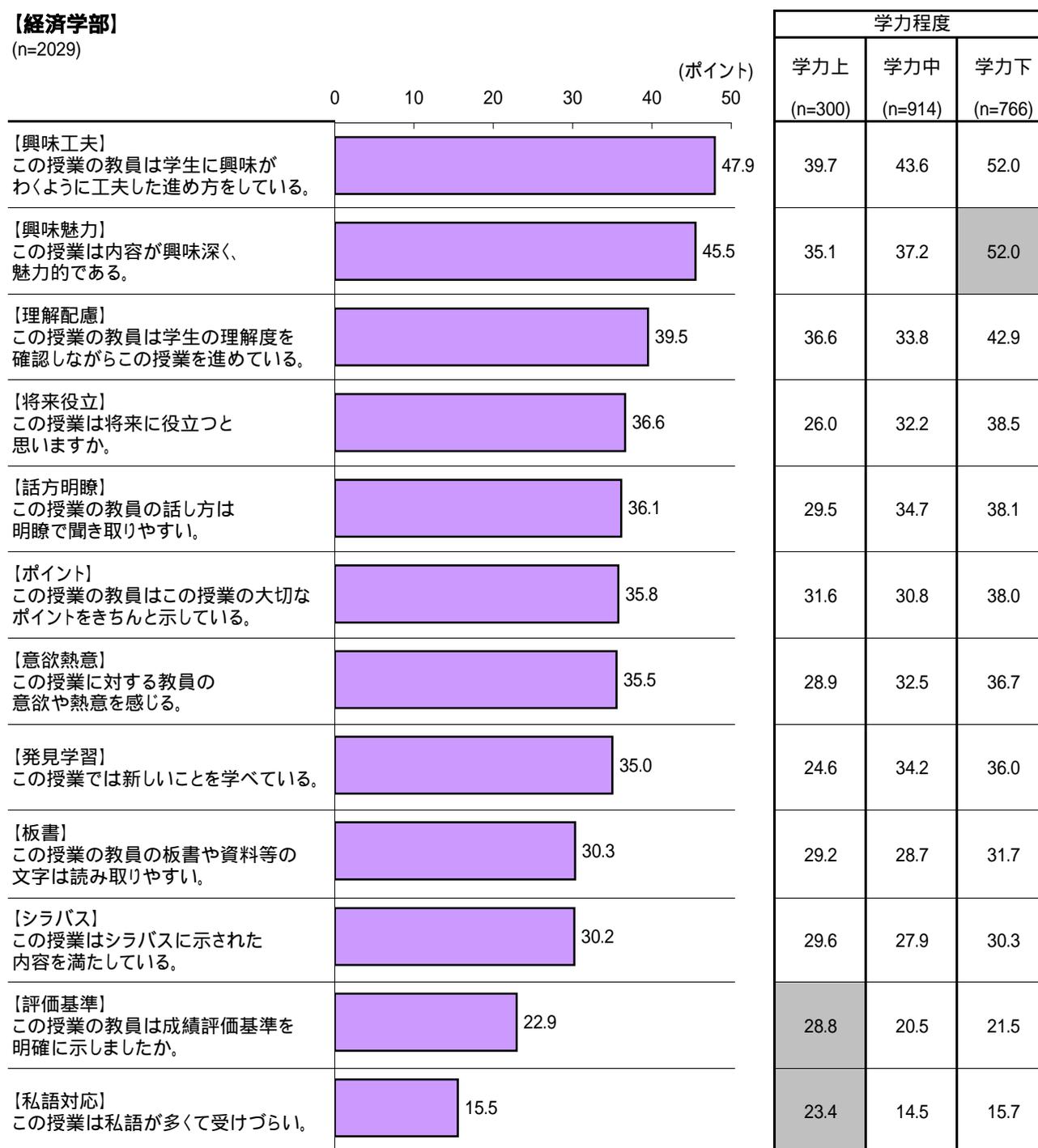
[学生]

経済学部では「興味工夫」、「興味魅力」の順に改善要求度が高く、上位項目は学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。「私語対応」、「評価基準」は学力程度が高い層の要求が強まる。

< 改善要求度の高い項目 >

【経済学部】

(n=2029)



(ポイント)

* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

7 授業満足度から見た授業改善項目（理工学部）

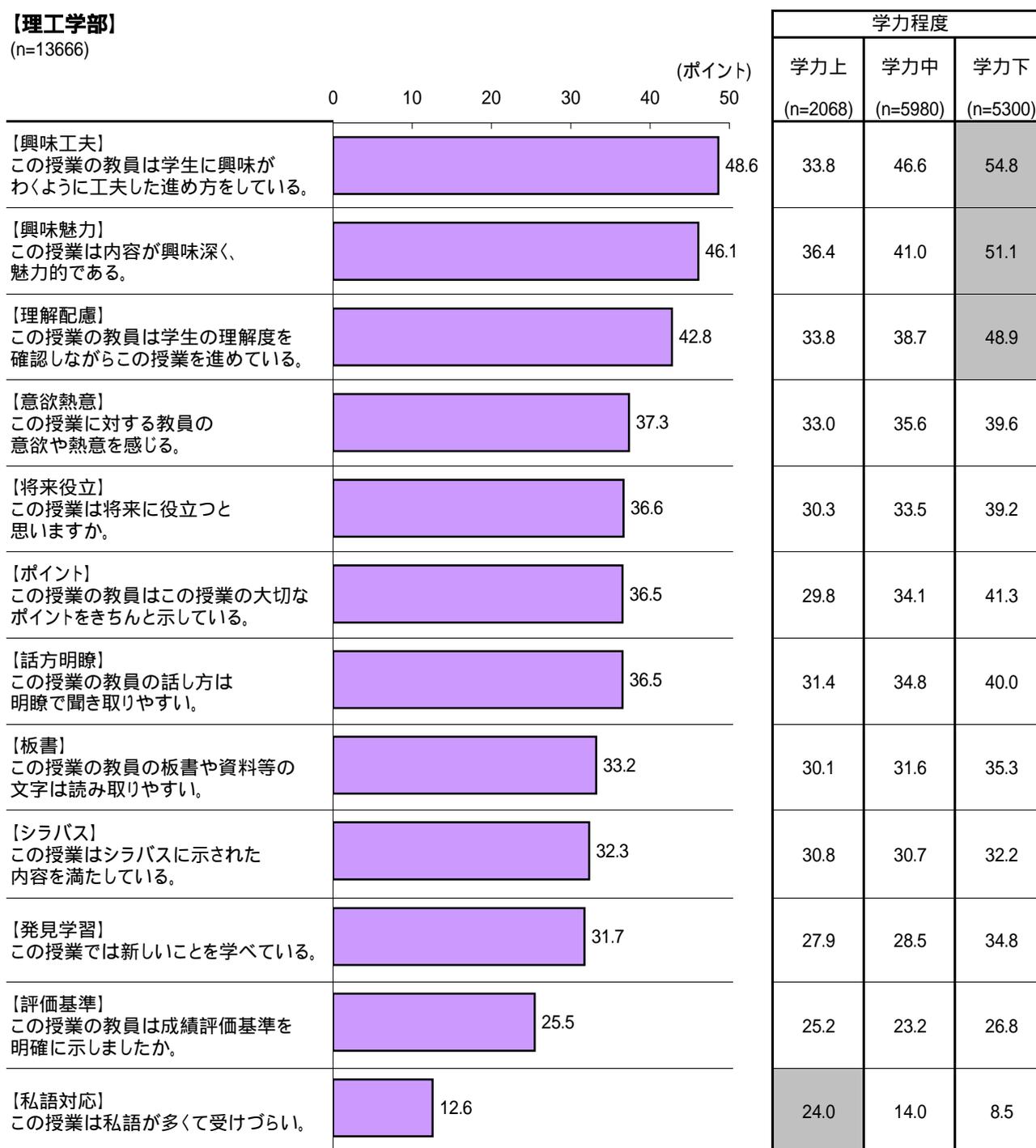
[学生]

理工学部では「興味工夫」、「興味魅力」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。「私語対応」は学力程度が高いほど要求が強まる。

< 改善要求度の高い項目 >

【理工学部】

(n=13666)



(ポイント)

* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

7 授業満足度から見た授業改善項目（薬学部）

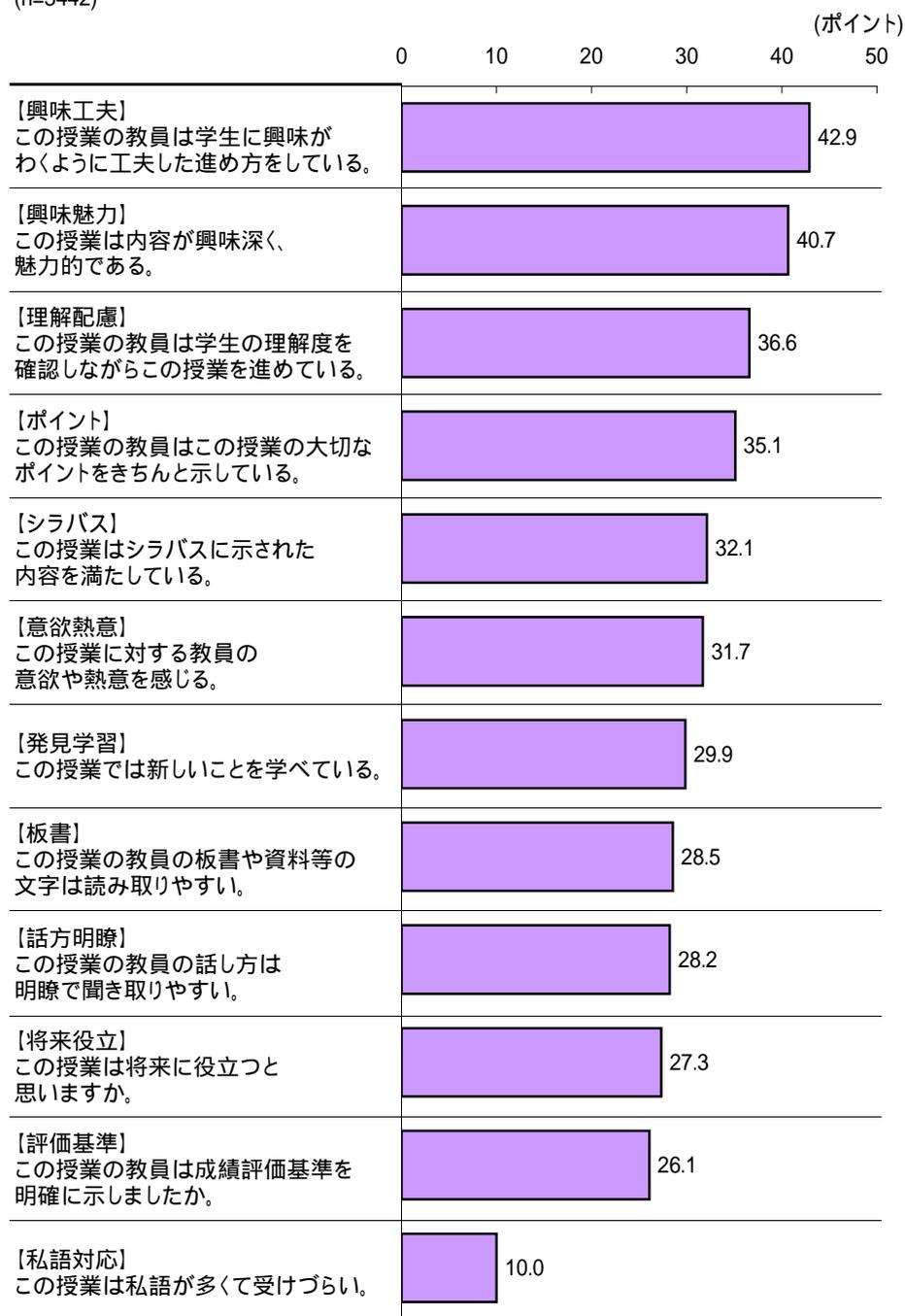
[学生]

薬学部では「興味工夫」、「興味魅力」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。「私語対応」は学力程度が高いほど要求が強まる。

< 改善要求度の高い項目 >

【薬学部】

(n=3442)



	学力程度		
	学力上 (n=413)	学力中 (n=1540)	学力下 (n=1446)
【興味工夫】	24.3	41.4	46.5
【興味魅力】	26.2	37.4	43.8
【理解配慮】	22.8	33.4	40.2
【ポイント】	23.2	34.1	38.0
【シラバス】	25.7	27.2	34.4
【意欲熱意】	19.8	30.7	33.5
【発見学習】	20.6	28.5	32.1
【板書】	20.5	26.4	30.3
【話方明瞭】	28.7	26.0	30.9
【将来役立】	22.4	26.1	28.6
【評価基準】	17.2	26.0	26.5
【私語対応】	15.4	11.5	8.2

(ポイント)

* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

7 授業満足度から見た授業改善項目（農学部）

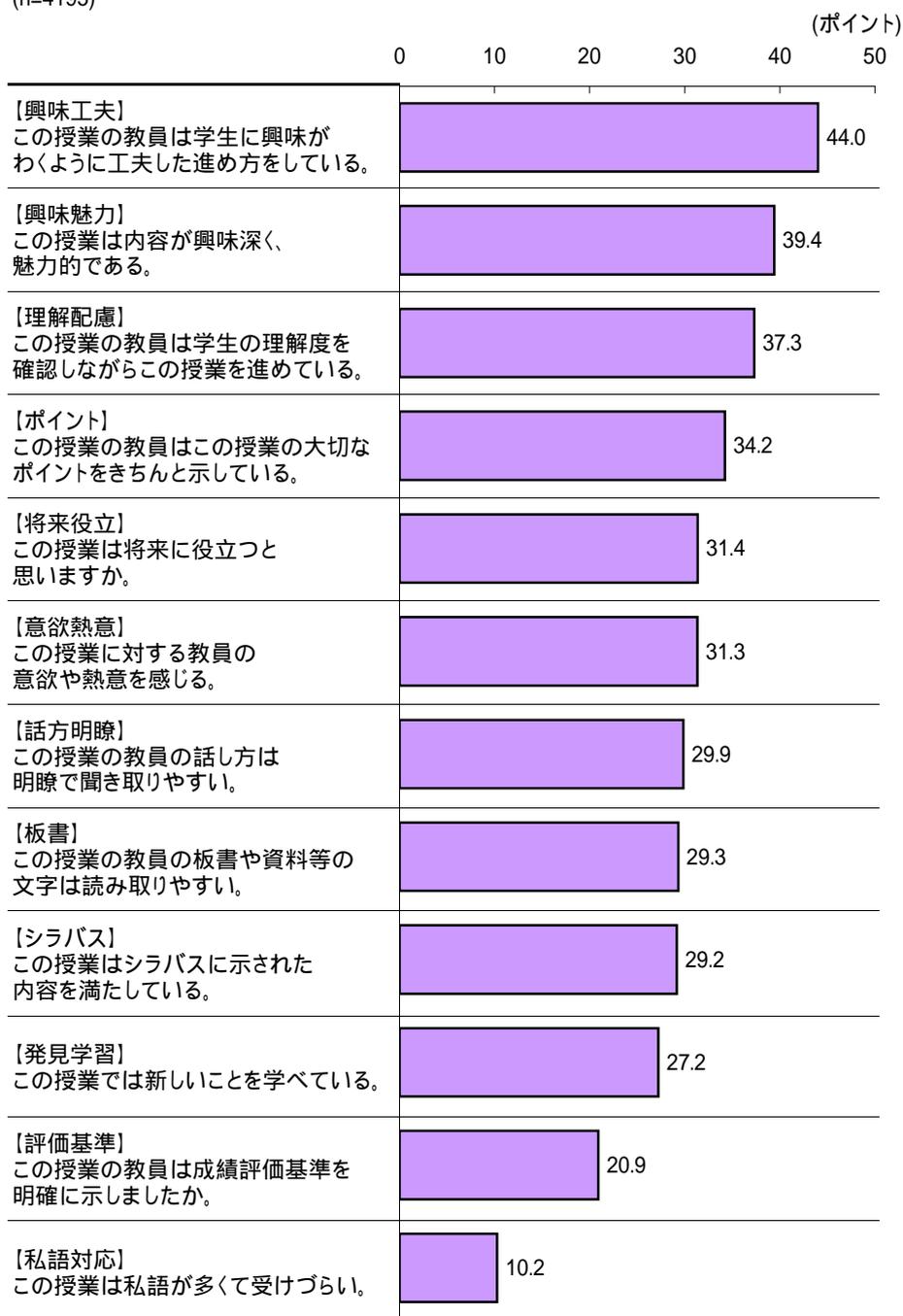
[学生]

農学部では「興味工夫」、「興味魅力」の順に改善要求度が高く、上位項目は学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。「私語対応」は学力程度が高いほど要求が強まる。

< 改善要求度の高い項目 >

【農学部】

(n=4195)



	学力程度		
	学力上 (n=388)	学力中 (n=1927)	学力下 (n=1824)
【興味工夫】	32.1	41.9	47.6
【興味魅力】	29.1	37.1	42.8
【理解配慮】	29.4	35.6	39.9
【ポイント】	30.6	33.7	34.9
【将来役立】	24.0	31.3	32.4
【意欲熱意】	32.6	31.6	30.6
【話方明瞭】	28.5	28.1	31.4
【板書】	27.5	28.8	29.8
【シラバス】	27.9	27.6	31.0
【発見学習】	26.3	27.0	27.2
【評価基準】	23.5	22.4	20.0
【私語対応】	17.9	12.3	8.4

(ポイント)

* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

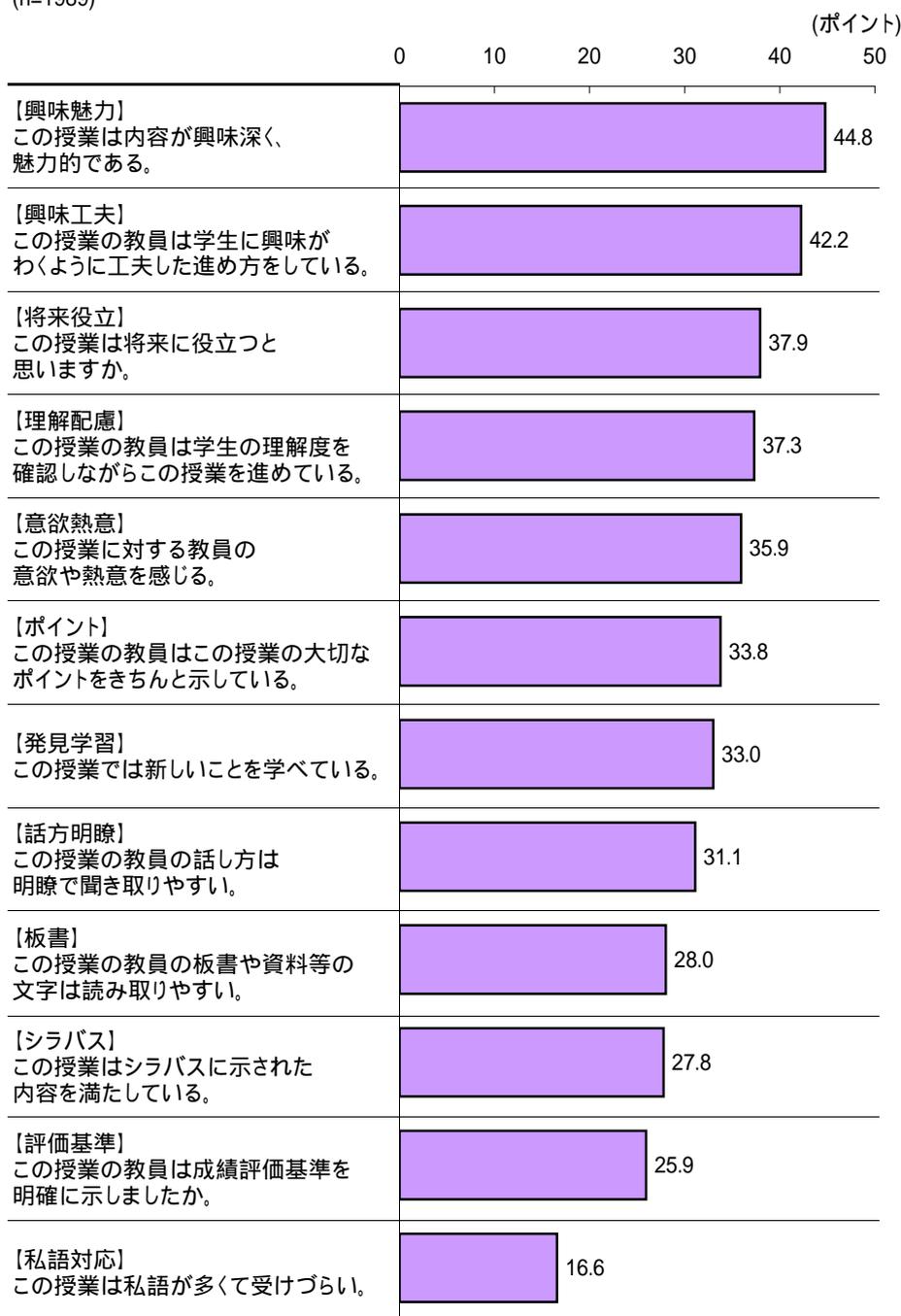
7 授業満足度から見た授業改善項目（都市情報学部） [学生]

都市情報学部では「興味魅力」、「興味工夫」の順に改善要求度が高く、「興味魅力」は学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強まる。「私語対応」は学力程度が高いほど要求が強まる。

<改善要求度の高い項目>

【都市情報学部】

(n=1989)



	学力程度		
	学力上 (n=374)	学力中 (n=855)	学力下 (n=710)
【興味魅力】	36.4	44.6	48.9
【興味工夫】	35.9	45.1	44.2
【将来役立】	33.5	39.6	39.0
【理解配慮】	30.9	40.0	39.3
【意欲熱意】	33.9	37.6	35.1
【ポイント】	28.6	36.7	35.1
【発見学習】	26.8	31.3	37.2
【話方明瞭】	26.7	34.9	30.1
【板書】	27.7	30.4	27.2
【シラバス】	21.9	29.1	30.6
【評価基準】	29.2	28.8	22.2
【私語対応】	23.6	18.9	15.1

(ポイント)

* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

7 授業満足度から見た授業改善項目（人間学部）

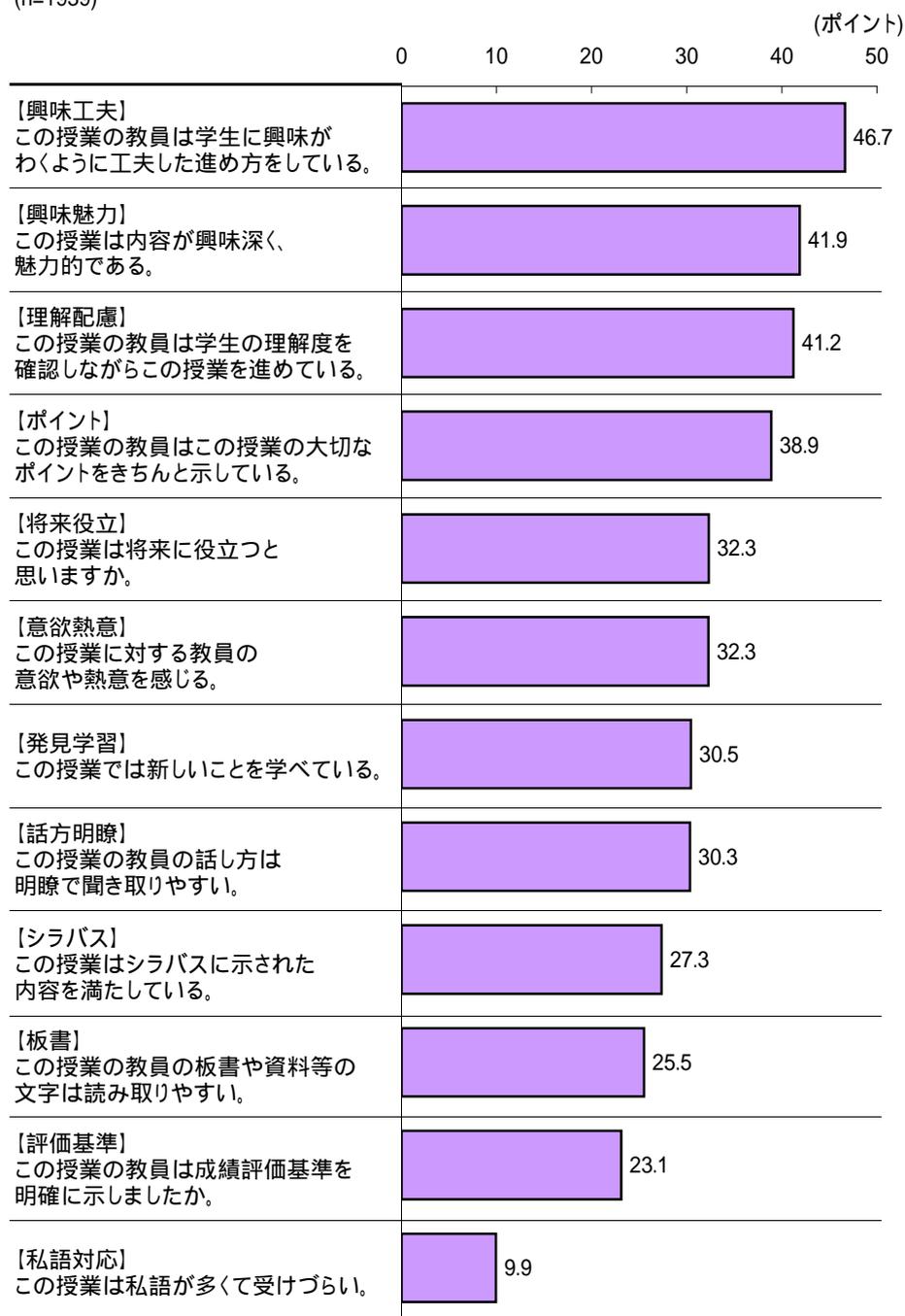
[学生]

人間学部では「興味工夫」、「興味魅力」の順に改善要求度が高く、「興味魅力」、「ポイント」は学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。「私語対応」は学力程度が高いほど要求が強まる。

< 改善要求度の高い項目 >

【人間学部】

(n=1939)



学力程度		
学力上 (n=307)	学力中 (n=953)	学力下 (n=641)
37.8	47.5	46.3
33.7	38.7	46.2
35.9	41.8	39.1
32.2	38.4	40.2
27.8	33.1	30.2
31.6	32.3	29.8
26.4	32.3	27.8
30.0	30.8	28.5
23.1	29.4	27.4
25.7	27.6	22.3
24.8	22.7	22.2
19.5	10.9	8.7

(ポイント)

* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

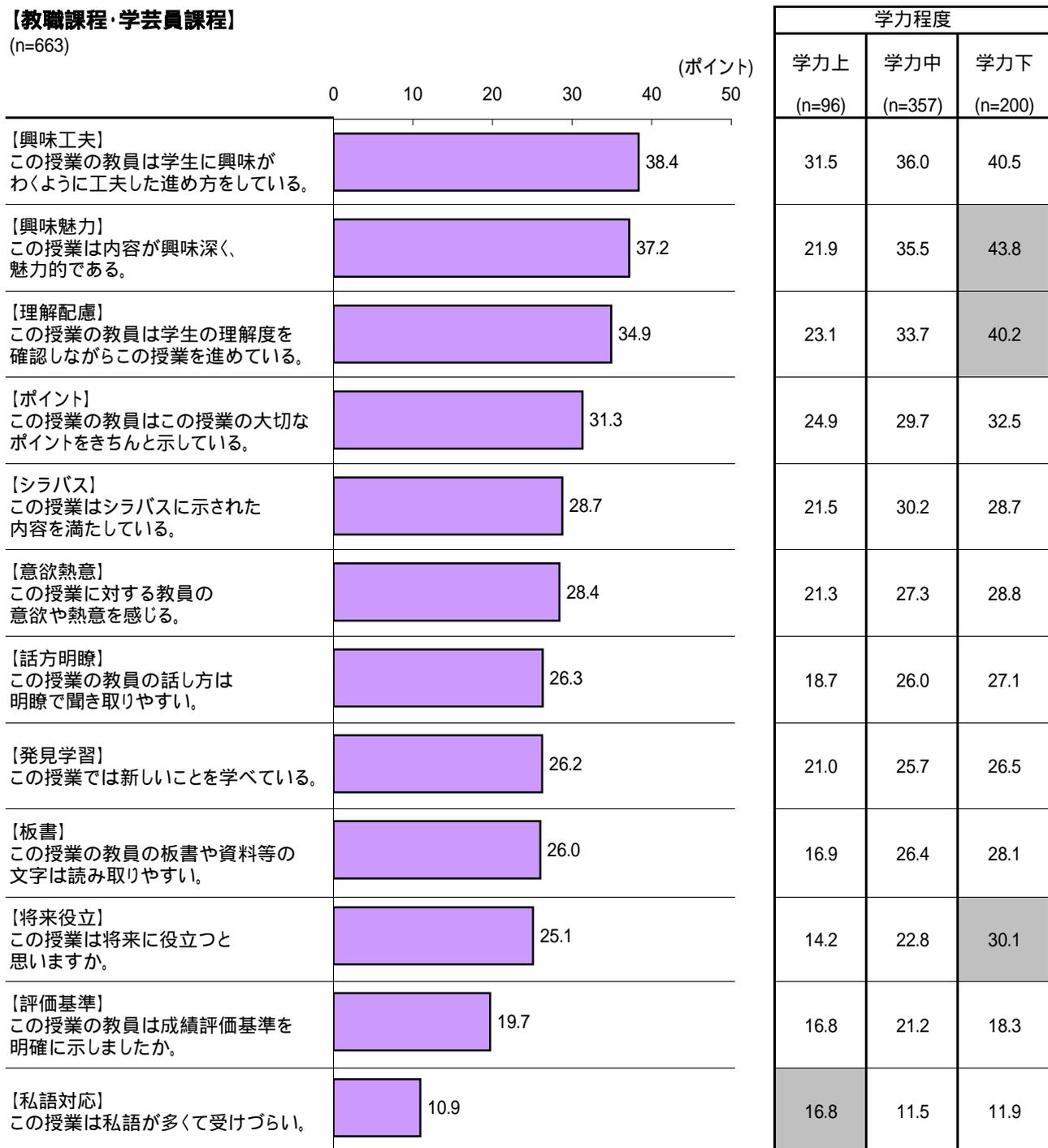
7 授業満足度から見た授業改善項目（教職課程・学芸員課程）〔学生〕

教職課程・学芸員課程では「興味工夫」、「興味魅力」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。「私語対応」は学力程度が高いほど要求が強まる。

< 改善要求度の高い項目 >

【教職課程・学芸員課程】

(n=663)



(ポイント)

* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

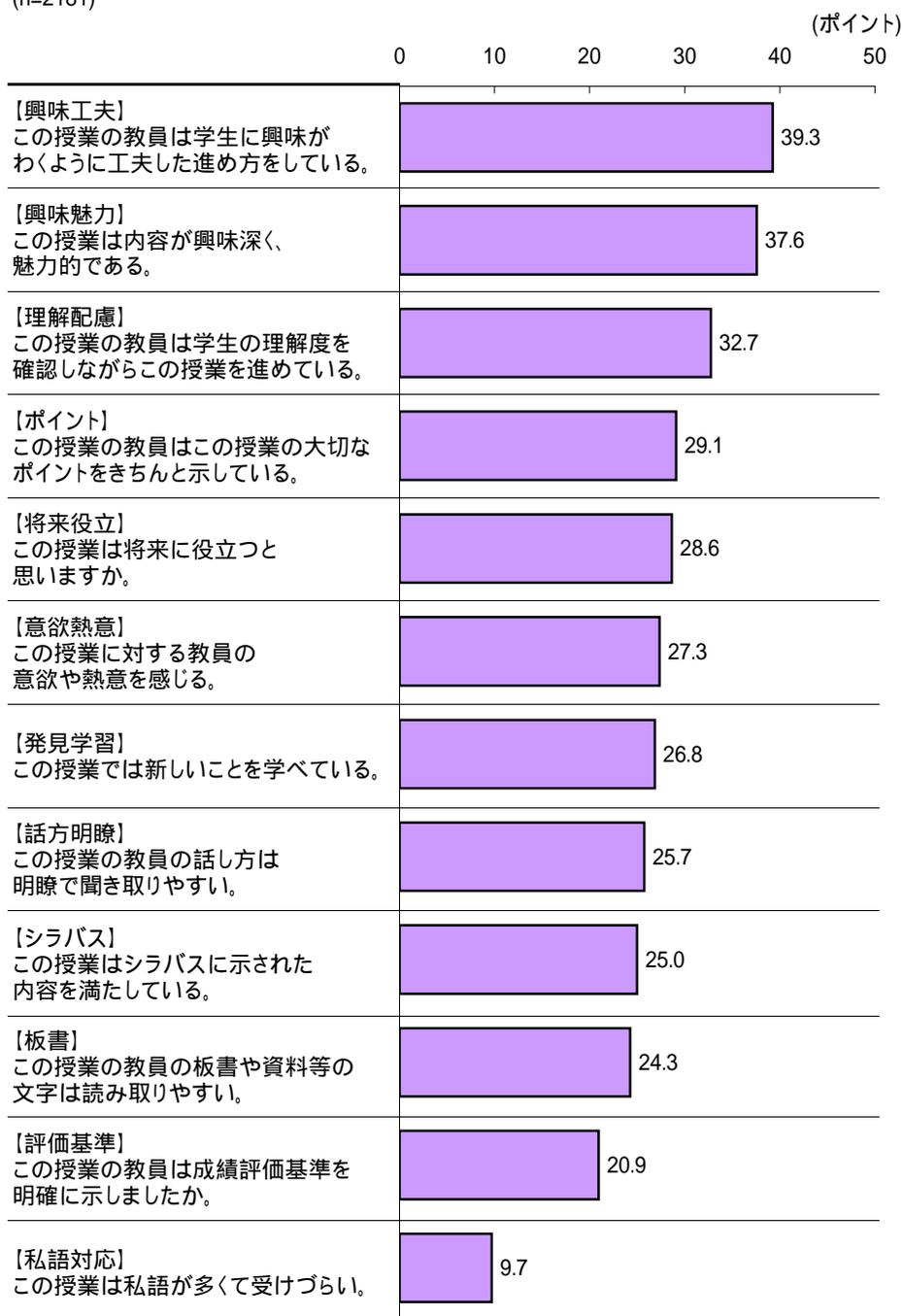
7 授業満足度から見た授業改善項目（全学共通教育部門） [学生]

全学共通教育部門では「興味工夫」、「興味魅力」の順に改善要求度が高く、学生の自己評価の学力程度が「下」の学生ほどその意向が強い。「私語対応」は学力程度が高いほど要求が強まる。

< 改善要求度の高い項目 >

【全学共通教育部門】

(n=2181)



	学力程度		
	学力上 (n=353)	学力中 (n=949)	学力下 (n=819)
【興味工夫】	24.3	37.7	43.8
【興味魅力】	22.1	33.4	44.5
【理解配慮】	25.9	31.3	35.0
【ポイント】	25.1	27.9	30.8
【将来役立】	20.2	27.1	31.4
【意欲熱意】	26.0	27.1	27.8
【発見学習】	19.8	24.5	29.7
【話方明瞭】	22.9	25.9	26.3
【シラバス】	18.5	23.1	29.5
【板書】	18.7	24.5	25.6
【評価基準】	24.0	17.2	22.3
【私語対応】	16.7	11.5	8.9

(ポイント)

* 全体より5ポイント以上高いものに網掛け

8 学生と教員の評価のちがいと授業満足度との関係（1）

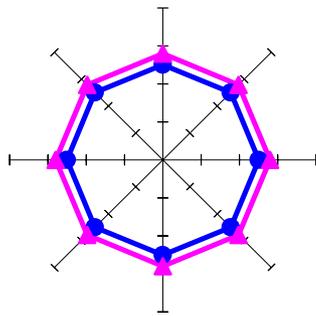
[授業]

授業ごとに学生と教員の評価のちがいによって満足度にどの程度関連するかを調べた。学生スコアの総得点が高く、教員とのギャップが少ないほど、満足度が高くなることがわかった。満足度が最も高いパターンAの授業は、全体の約35%ある。

学生と教員で比較できる15項目について、評価のちがいが満足度にどの程度影響しているのかを確認した。集計対象は教員調査に無回答のない1567授業。

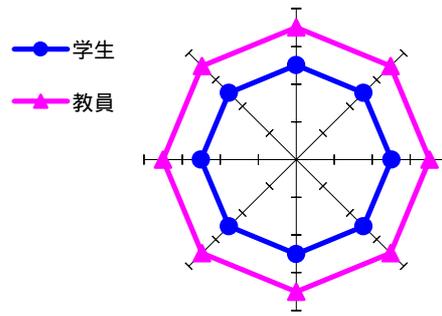
下記のチャートは4分類をわかりやすく表記するためのイメージ図です。

学生のスコアの大小は各授業の平均値を基準とした。学生・教員の差の大小についても両者の差の絶対値の平均値を基準とした。



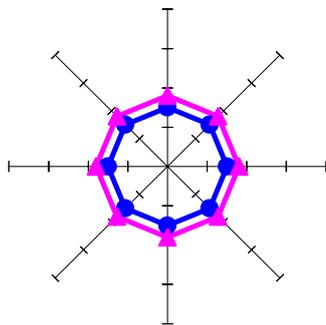
パターンA

学生スコアが大きく、学生・教員の差が小さい
200授業/567授業



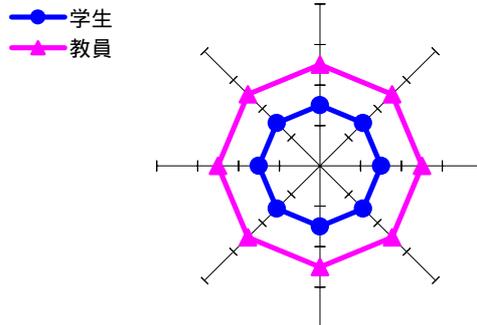
パターンB

学生スコアが大きく、学生・教員の差が大きい
79授業/567授業



パターンC

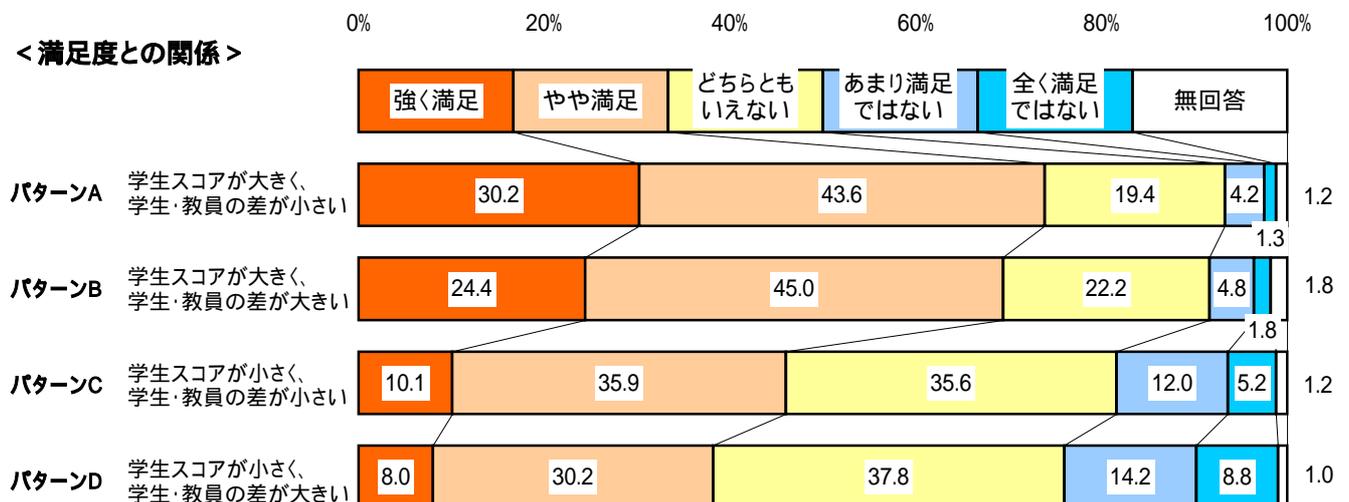
学生スコアが小さく、学生・教員の差が小さい
109授業/567授業



パターンD

学生スコアが小さく、学生・教員の差が大きい
179授業/567授業

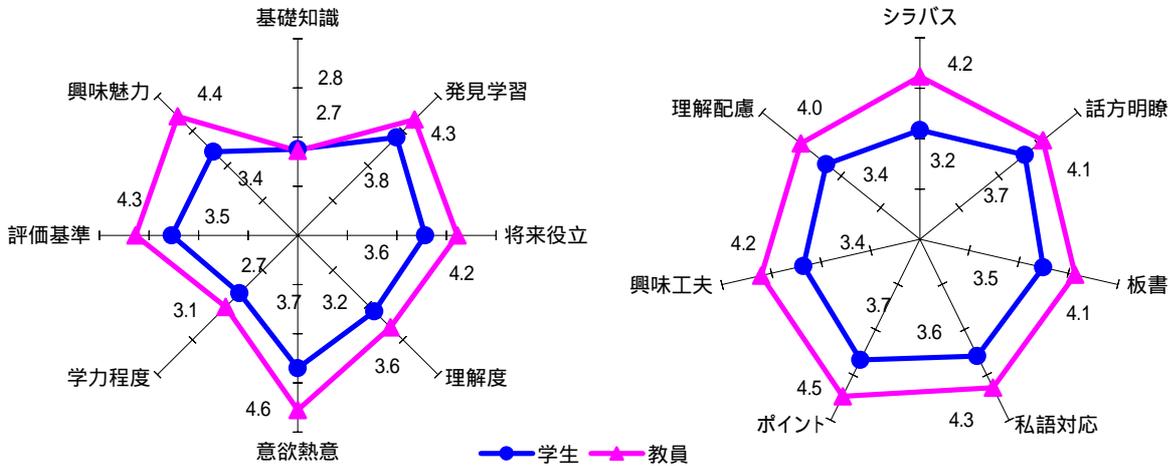
< 満足度との関係 >



8 学生と教員の評価のちがいと授業満足度との関係(2)【教員】[学生]

基本的に多くの項目で教員の方が学生よりも評価が高い。基礎知識については教員学生双方とも評価が低い。前頁のように学生と教員の評価差は少ない方が満足度は高くなる傾向がある。差が最も少なかったのは全学共通教育部門だった。

【全学部平均】



【開講学部別】

		学生スコア合計	教員スコア合計	教員の自己評価と学生評価の差 (教員スコア) - (学生スコア)	(点)	
全体	(n=37948)	50.9	60.7	9.8		
開講学部別	法学部	(n=4755)	52.2	60.0	7.8	
	経営学部	(n=3089)	50.2	60.1	9.9	
	経済学部	(n=2029)	50.1	60.0	9.9	
	理工学部	(n=13666)	50.0	60.9	10.9	
	農学部	(n=4195)	50.9	60.2	9.3	
	薬学部	(n=3442)	51.2	62.0	10.7	
	都市情報学部	(n=1989)	50.9	59.9	8.9	
	人間学部	(n=1939)	52.2	62.2	10.0	
	教職課程・学芸員課程	(n=663)	54.1	61.9	7.8	
	全学共通教育部門	(n=2181)	53.7	60.9	7.2	

学生スコア合計は、全体より大きいもの
教員の自己評価と学生評価の差は、全体より小さいものに網掛け

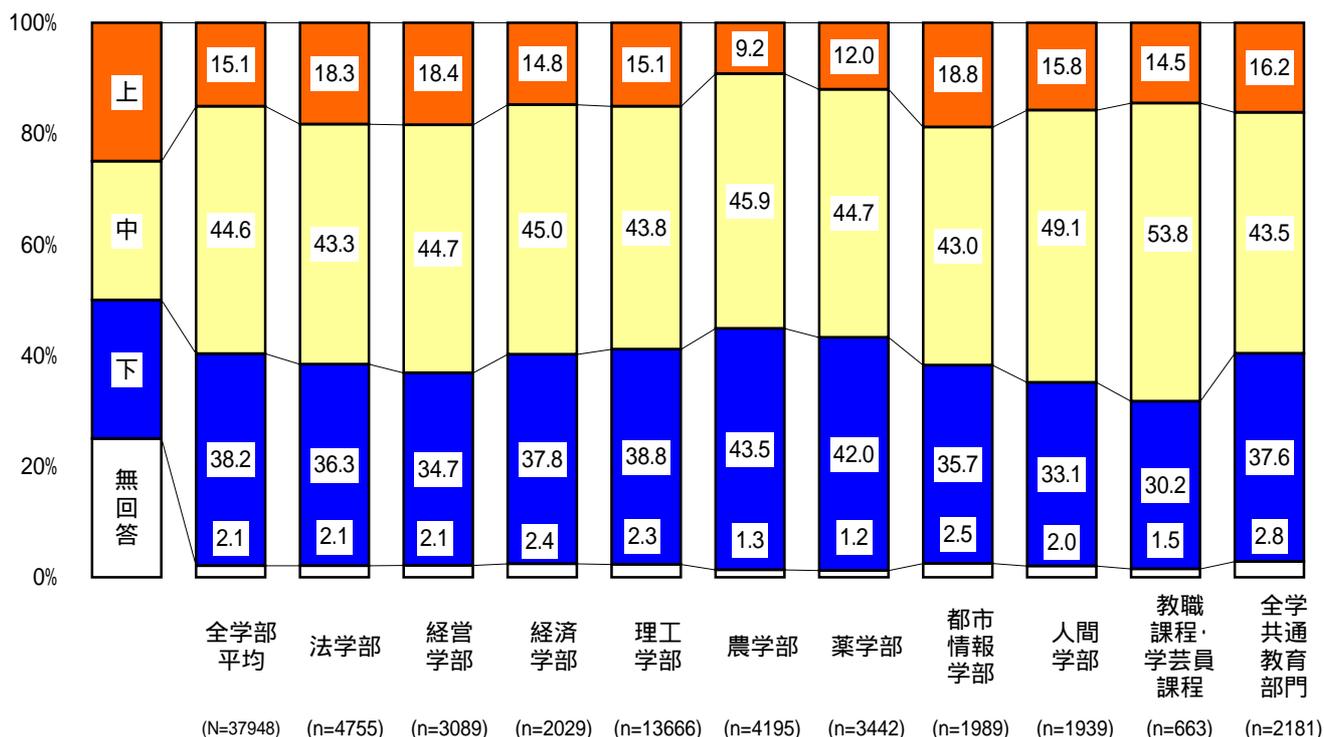
9 学力程度別の授業満足度

[学生]

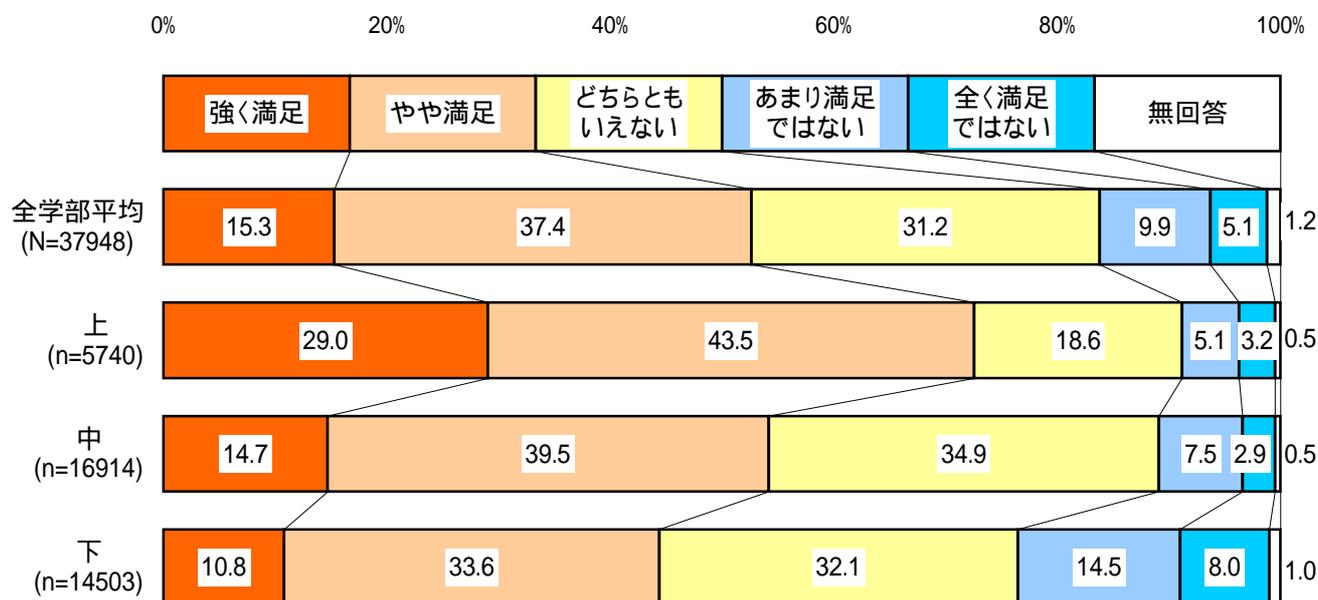
学生の学力の自己評価が授業満足度と関連があるのか調べた。結果、学生の自己評価で学力レベルが「上」の学生ほど満足度は高く、7割以上が授業に満足している。一方、成績が下位の学生も4割以上は授業に満足しているが、授業に不満(「全く」+「あまり満足ではない」)も2割を超える。

学生の学力を聞いた、「学生設問 Q20 . 自分の学力はどの程度だと思いますか。」についての回答をもとに学力を上、中、下に分類した。
各学力レベル別に授業満足度がどの程度変化があるのか確認する。

< 学力レベルの分布 >



< 学力レベル別満足度 >



10 教員と学生の対象レベルの一致

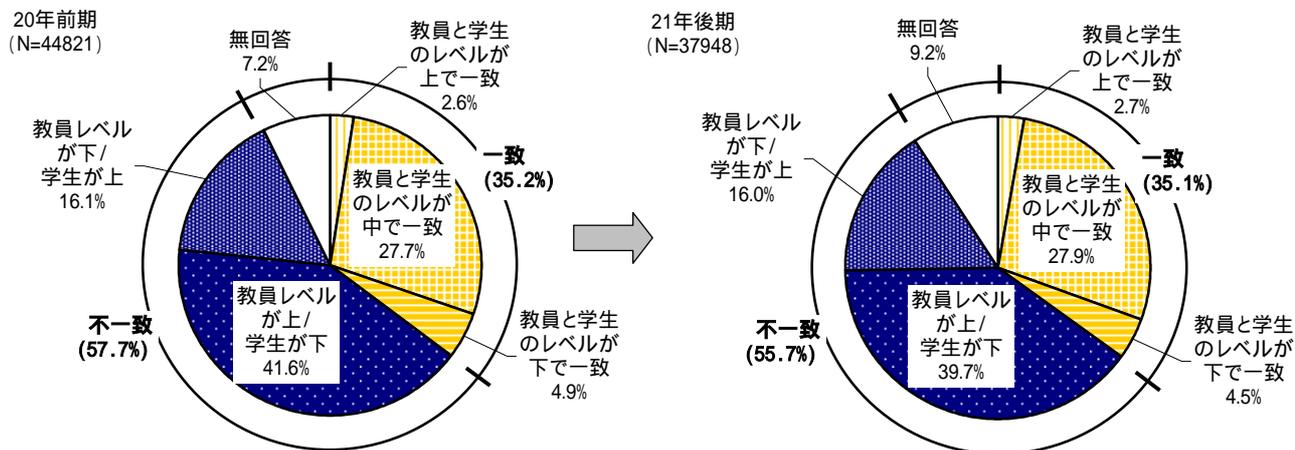
[教員] [学生]

各授業において教員が想定する学生の学力レベルと学生の学力レベル(自己評価)との関連を調べた。教員が想定する学力レベルと学生の自己評価のレベルの一致度は前回と変わらず、不一致が半数を超え、教員の想定より学生が低い場合が4割にのぼる。レベルの一致と満足度の関係を見ると、「両者のレベルが上で一致」した場合の満足度は高いが、「下で一致」の満足度は低

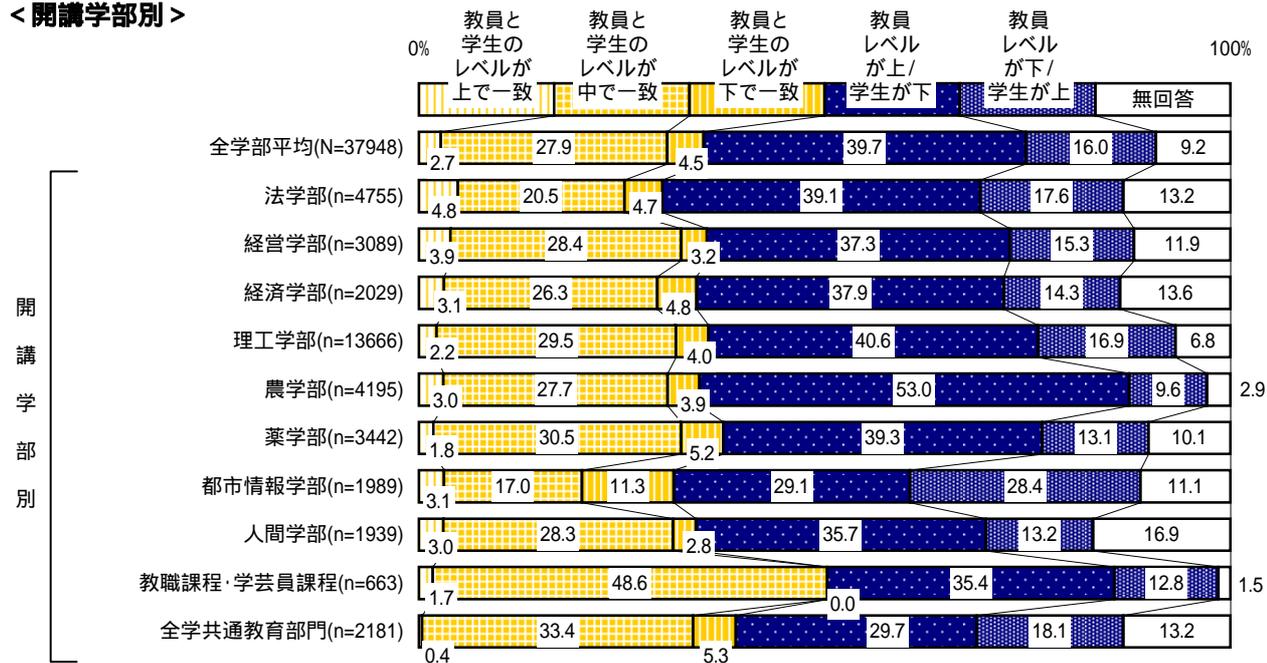
「教員設問 Q1. この授業はどのレベルの学生に合わせていますか。」

「学生設問 Q20. 自分の学力はどの程度だと思いますか。」

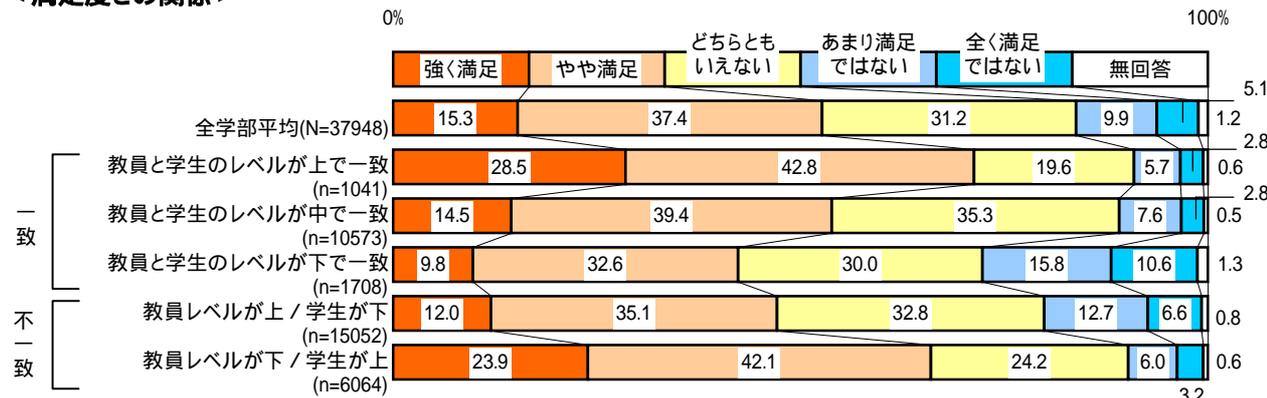
について、一致度合いを確認した。



< 開講学部別 >



< 満足度との関係 >



各授業における受講者数(登録学生数)とアンケート回答者数から出席率を算出した。

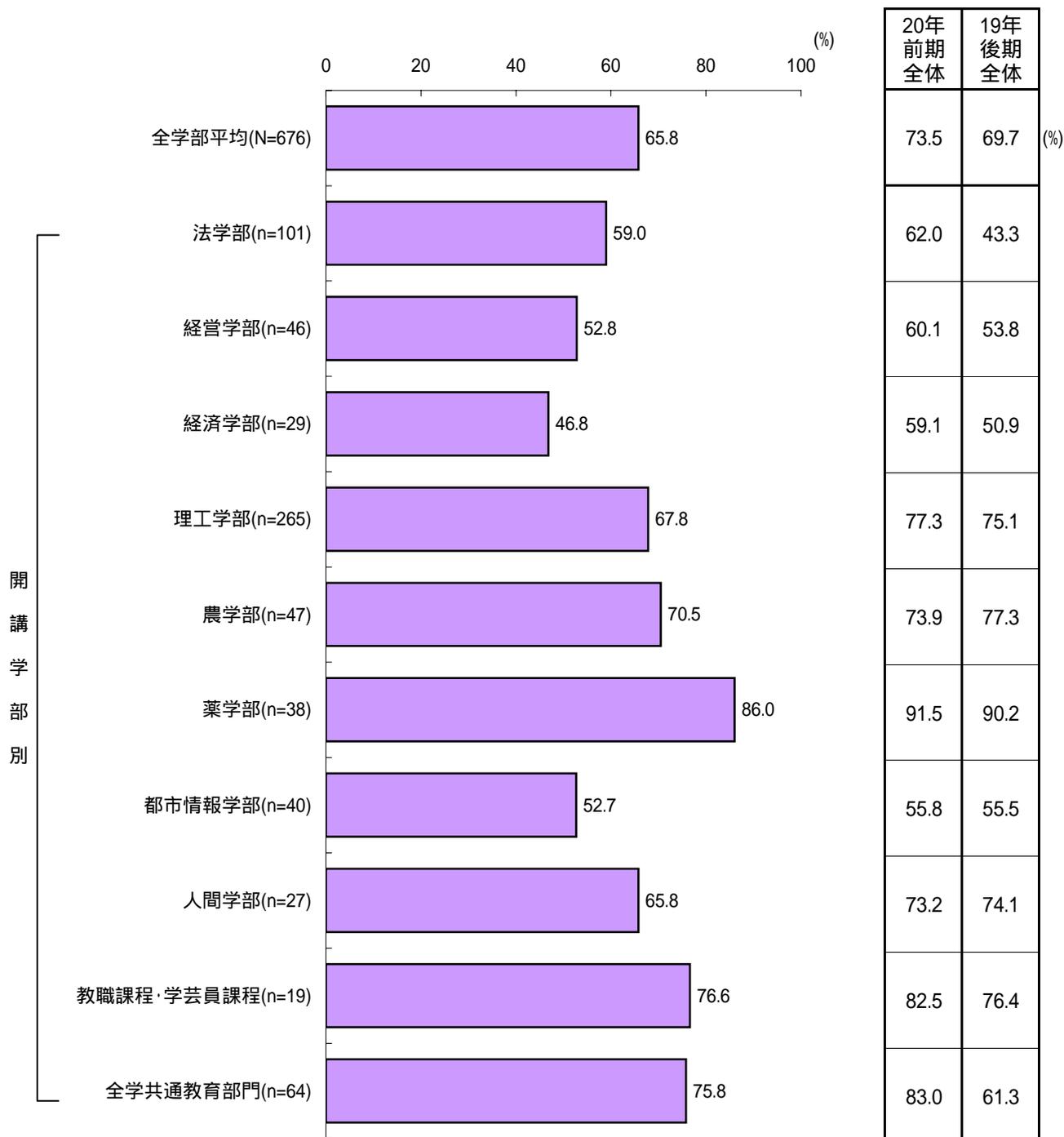
各授業の受講学生(登録学生)数と本アンケート調査の回答者数をもとに出席率を計算した。
ここで表す出席率とは

$$\text{出席率} = \frac{\text{本アンケート回答者数(各授業における)}}{\text{受講者数(登録学生数)}}$$

とした。

< 出席率 >

授業ベース



1 2 出席学生数と出席学生数別満足度

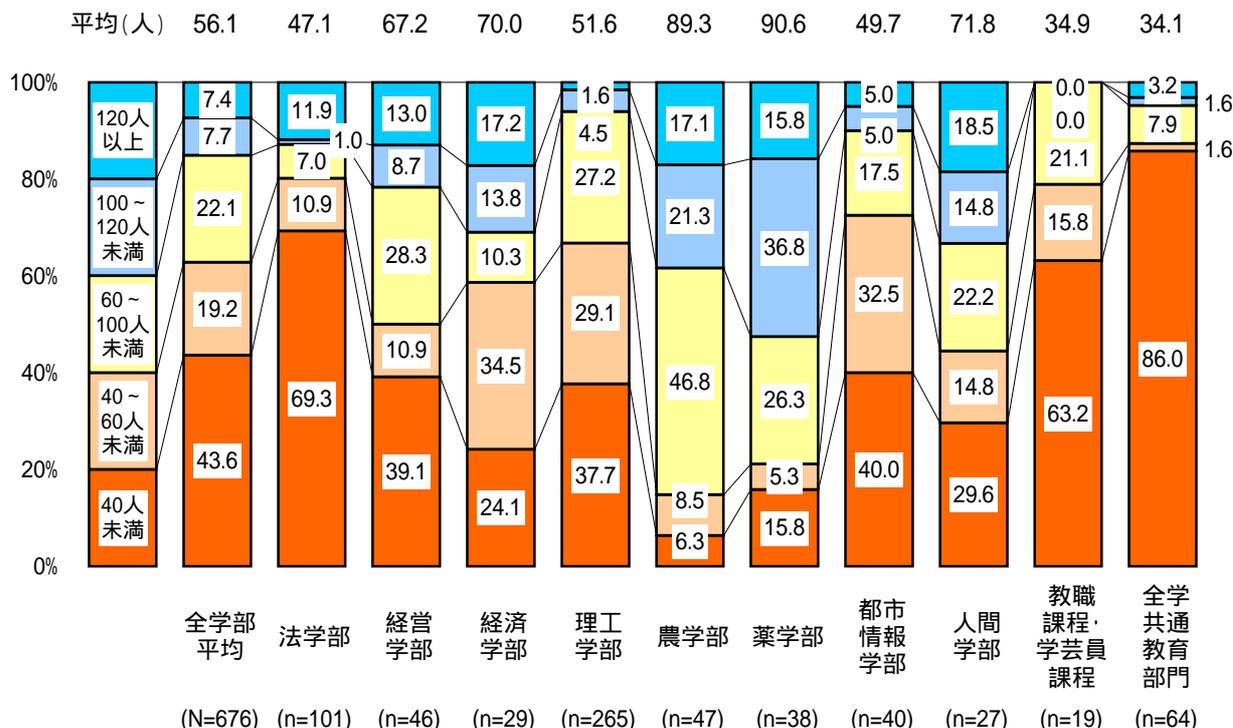
[授業]

各授業別の回答者数を出席学生数と捉え、出席学生数別に授業満足度を確認した。
1クラスあたりの出席者が40人未満になると満足度が急に高くなることがわかった。それ以上の出席者をかかえる授業では出席者の人数による満足度の変化は小さい。

Q19. この授業は総合的に見て満足のいくものである。

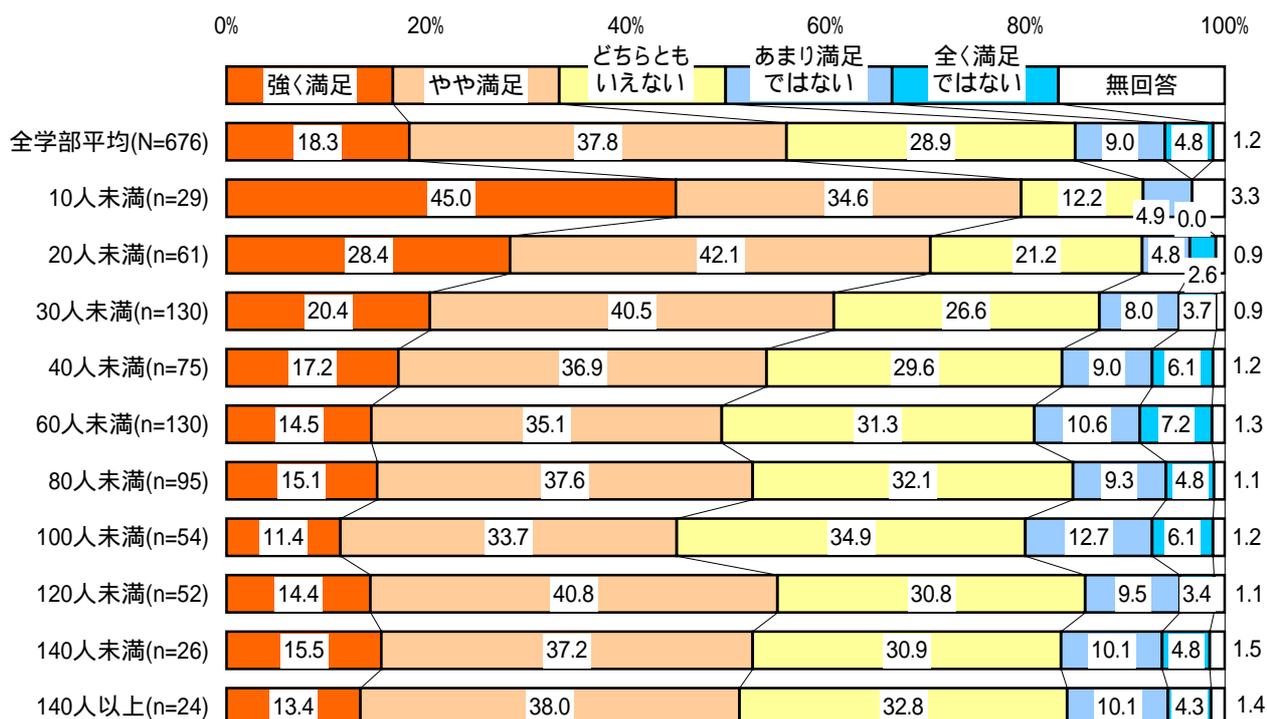
< 授業あたりのアンケート回答者数 >

授業ベース



< アンケート回答者数(出席学生数)別授業満足度 >

授業ベース



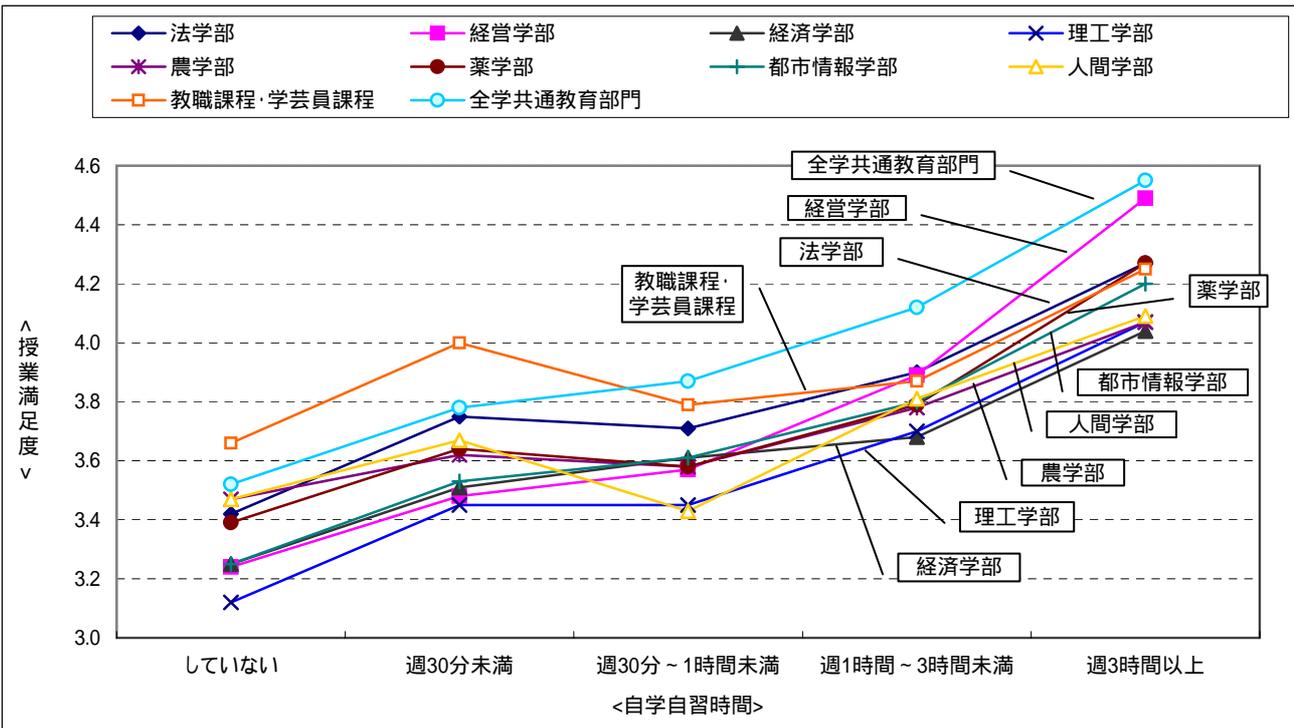
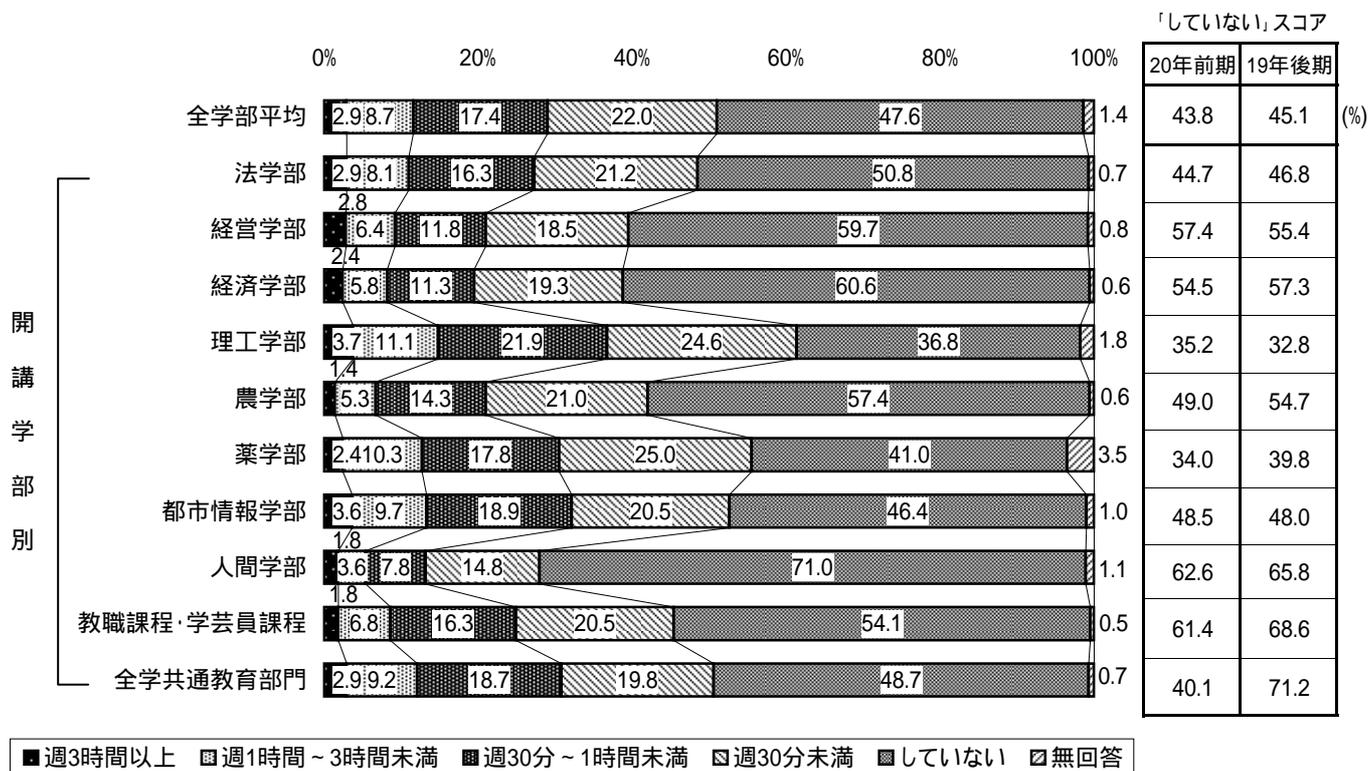
1 3 自学自習時間と授業満足度の関係 (1)

[学生]

自学自習時間と授業満足度との関係を各学部別に確認した。
 自学自習時間が長い学生ほど、授業に対する満足度が高い明らかな傾向がある。自学自習をしていない学生が半数程度を占めたが、理工学部ではその割合が最も低い。

Q4. この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)。

Q19. この授業は総合的に見て満足のものである。



1 3 自学自習時間と授業満足度の関係 (2) (授業プロット)[授業]

自学自習時間と授業満足度の関係を分かりやすく表すため各授業を平面上にプロットしてみた。自学自習時間も長く、授業満足度の高い右上の象限にあることが重要。この象限にある授業数は前回との比較ではやや減少。逆に右下の満足度は高いが自学自習時間の短い象限にある授業が増えてしまった。

< 授業満足度 × 自学自習時間 >

相関係数

$r=0.17$

21年後期

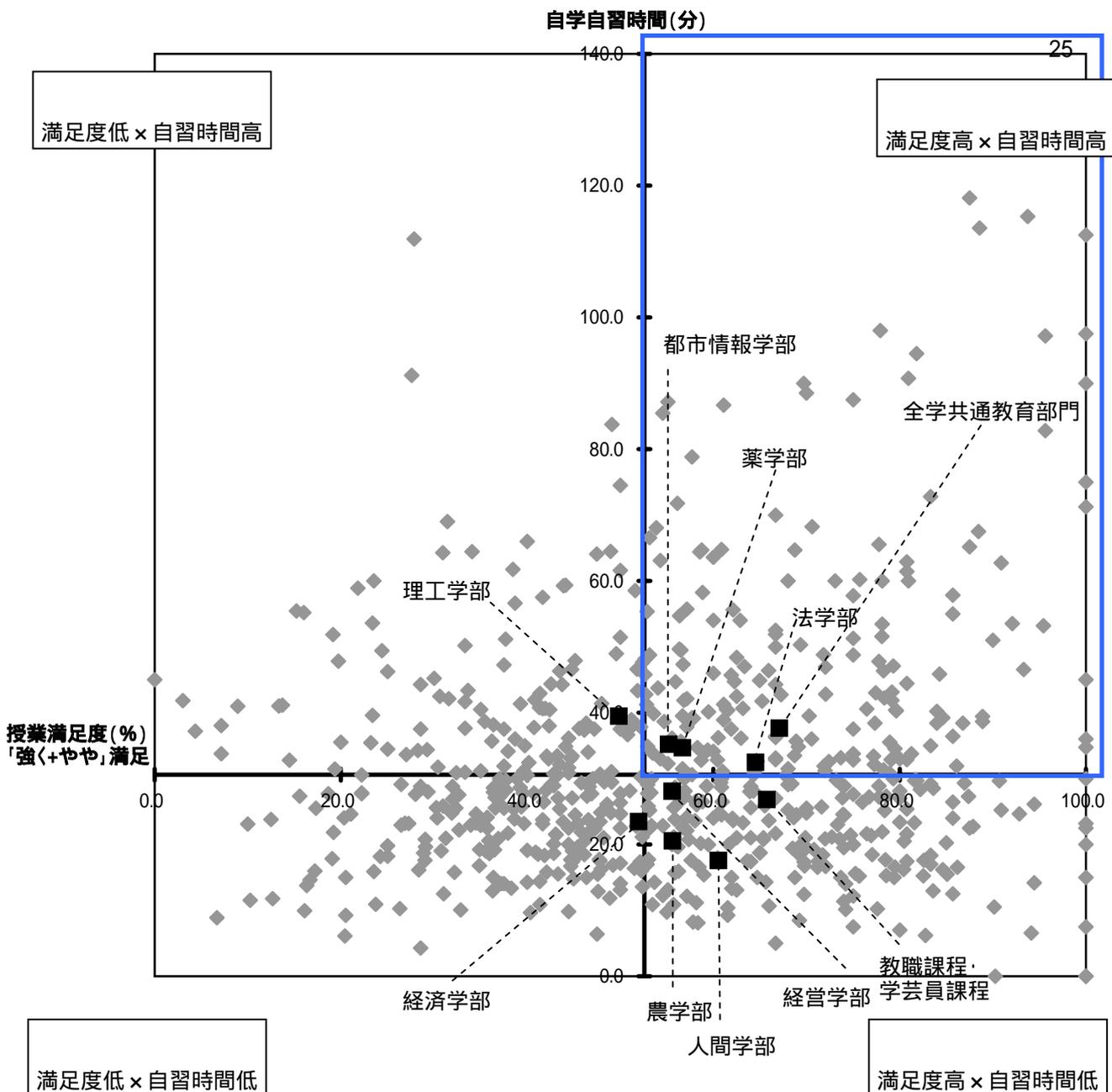
象限	授業数(676授業)	
	183	27.1
	114	16.9
	178	26.3
	201	29.7 %

20年前期

象限	授業数(671授業)	
	195	29.1
	108	16.1
	199	29.7
	169	25.2 %

19年後期

象限	授業数(333授業)	
	73	21.9
	69	20.7
	87	26.1
	104	31.2 %



1 3 自学自習時間と授業満足度の関係 (2) (授業プロット)[授業]

自学自習時間が長く、授業満足度も高い 象限に含まれる授業が多かった学部は全学共通教育部門や薬学部。都市情報学部は 象限の授業が増えた。

< 授業満足度 × 自学自習時間 >

【全学部平均】

象限	21年後期 (676授業)	20年前期 (671授業)	19年後期 (333授業)
	27.1	29.1	21.9
	16.9	16.1	20.7
	26.3	29.7	26.1
	29.7	25.2	31.2

【法学部】

象限	21年後期 (101授業)	20年前期 (92授業)	19年後期 (26授業)
	34.7	40.2	30.8
	9.9	6.5	30.8
	14.9	15.2	11.5
	40.6	38.0	26.9

【薬学部】

象限	21年後期 (38授業)	20年前期 (25授業)	19年後期 (41授業)
	39.5	44.0	43.9
	21.1	20.0	14.6
	21.1	24.0	22.0
	18.4	12.0	19.5

【経営学部】

象限	21年後期 (46授業)	20年前期 (38授業)	19年後期 (27授業)
	15.2	18.4	14.8
	2.2	5.3	11.1
	47.8	52.6	33.3
	34.8	23.7	40.7

【都市情報学部】

象限	21年後期 (40授業)	20年前期 (29授業)	19年後期 (24授業)
	30.0	13.8	12.5
	15.0	17.2	12.5
	30.0	37.9	16.7
	25.0	31.0	58.3

【経済学部】

象限	21年後期 (29授業)	20年前期 (30授業)	19年後期 (21授業)
	10.3	10.0	0.0
	0.0	0.0	4.8
	55.2	56.7	42.9
	34.5	33.3	52.4

【人間学部】

象限	21年後期 (27授業)	20年前期 (30授業)	19年後期 (18授業)
	7.4	20.0	11.1
	0.0	0.0	5.6
	33.3	23.3	11.1
	59.3	56.7	72.2

【理工学部】

象限	21年後期 (265授業)	20年前期 (273授業)	19年後期 (132授業)
	26.8	28.6	28.0
	30.6	24.9	33.3
	24.9	29.7	23.5
	17.7	16.8	15.2

【教職課程・学芸員課程】

象限	21年後期 (19授業)	20年前期 (24授業)	19年後期 (5授業)
	21.1	8.3	0.0
	10.5	8.3	0.0
	15.8	33.3	0.0
	52.6	50.0	100.0

【農学部】

象限	21年後期 (47授業)	20年前期 (43授業)	19年後期 (33授業)
	4.3	7.0	3.0
	4.3	7.0	9.1
	40.4	37.2	45.5
	51.1	48.8	42.4

【全学共通教育部門】

象限	21年後期 (64授業)	20年前期 (87授業)	19年後期 (6授業)
	50.0	50.6	0.0
	6.3	19.5	0.0
	12.5	21.8	83.3
	31.3	8.0	16.7

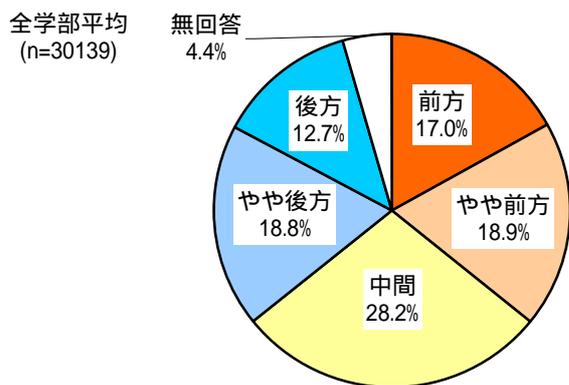
* 全体より10ポイント以上高いものに網掛け

1 4 着席位置と授業満足度の関係

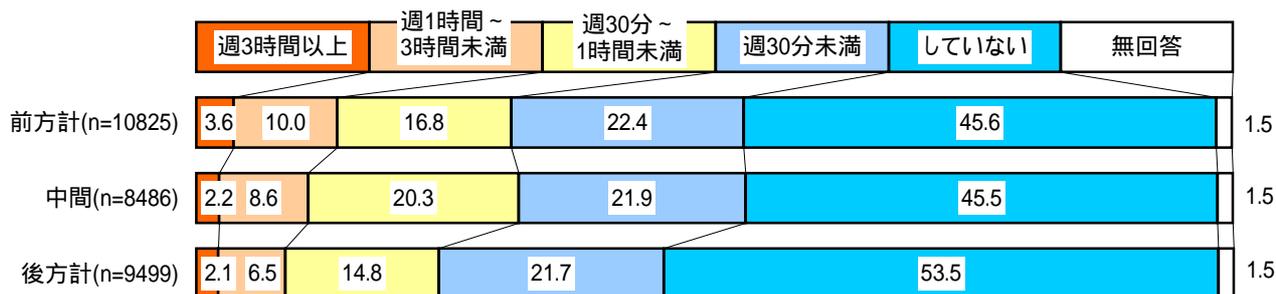
[学生]

座席指定していない授業について、着席位置が授業満足度に関連するのかが確認した。前方に着席する学生は、自学自習時間が長く、授業満足度も高く、学生の自己評価の学力も上位の傾向がある。一方、後ろに着席する学生は、自学自習時間が短く、学生の自己評価の学力も下位の傾向があるが、満足度は中間に座る学生と大きく変わらない。ただし、後ろに着席する学生は、自学自習時間が少なく、授業に不満を持つ学生の割合が高い。

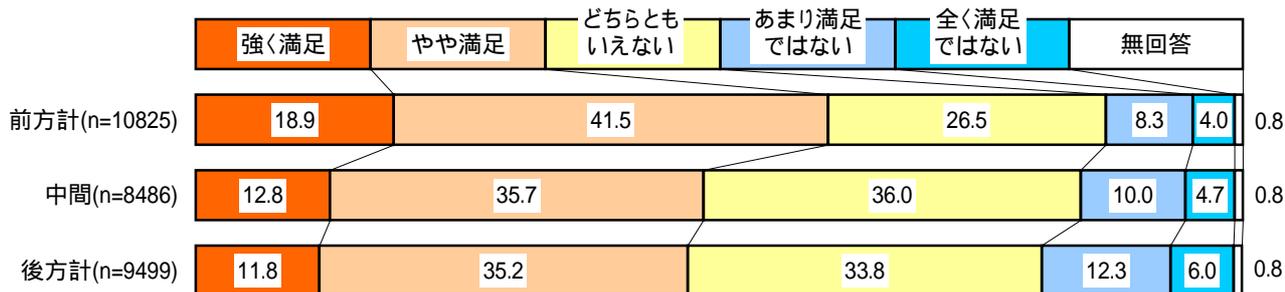
この項目は全て座席指定していない授業の学生調査の集計値
 Q 21 . この授業ではあなたは普段教室のどのあたりに着席して授業を受けていますか。おおよその位置で結構です。



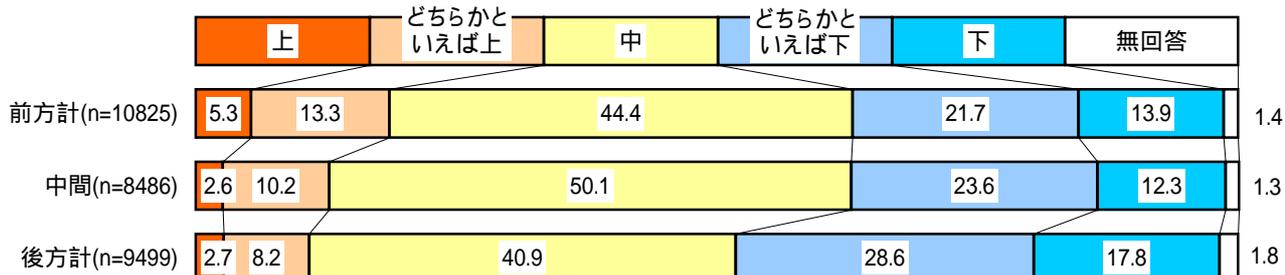
< 自学自習時間との関係 >



< 授業満足度との関係 >



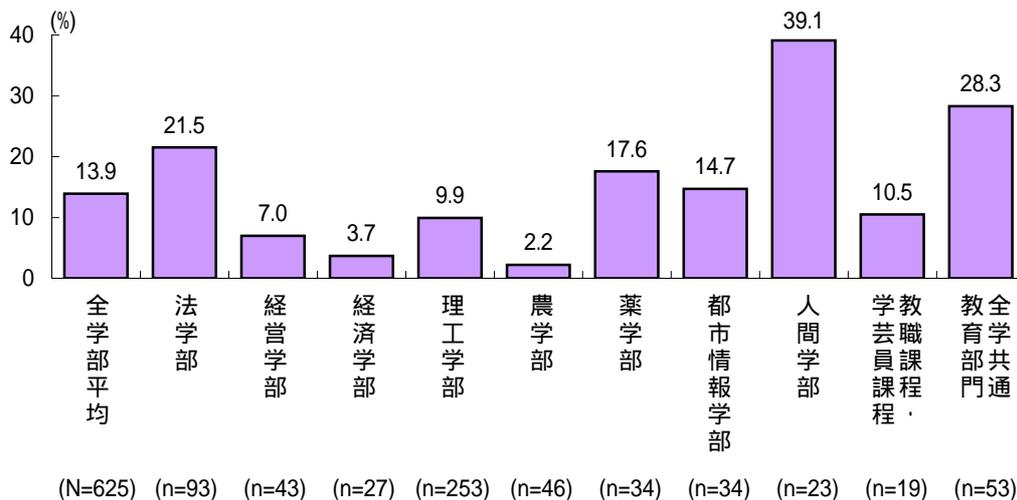
< 学力程度との関係 >



今回初めて各授業で座席指定を行っているか調査した。座席指定の授業は全体の1割程度だが、指定がある方が私語による授業の妨げが減る効果がみられる。ただし、学部によって効果に差があり、最も顕著なのは経済学部で、農学部では効果が認められなかった。

(教員)Q17.この授業では座席を指定している。
 (学生)Q11.この授業は私語が多くて受けづらい。

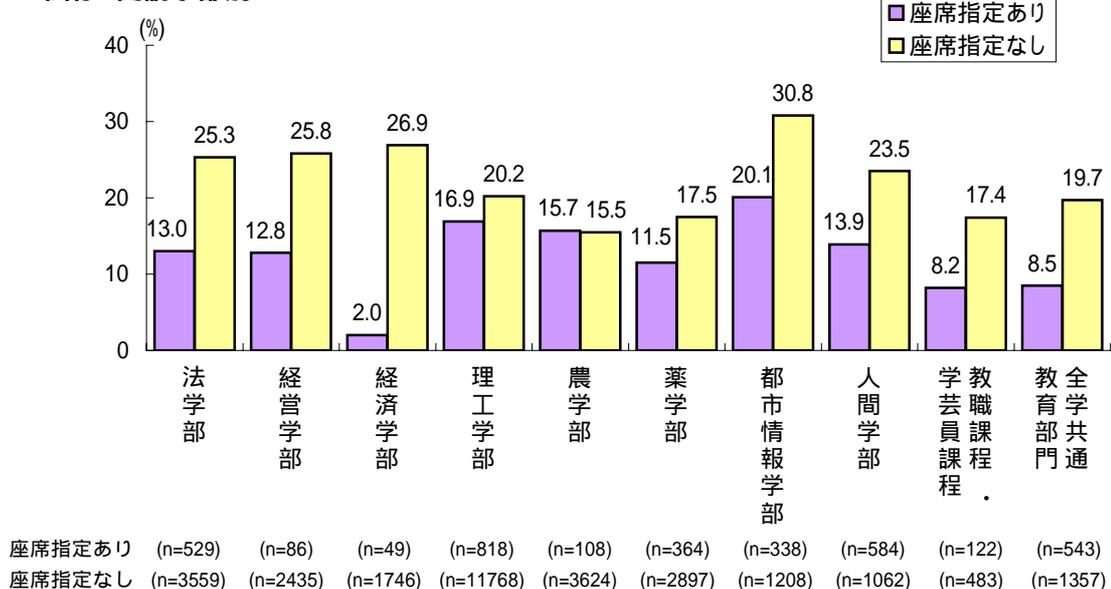
< 座席指定の有無 開講学部別 >



< 私語対応との関係 >



< 私語対応との関係 開講学部別 >



スコアは「とても」+「やや受けづらい」

16 学生にとってよい授業（自由回答）

[学生]

Q22. 学生にとってよい授業とは何ですか。（あなたにとって一番ウエイトを占める要因をお書きください）

○ …具体的な回答をピックアップ。途中割愛の場合有り。

【教員個人への要望】

順位	分類名	件数
①	教員の説明が分かりやすい授業	4,238
②	板書や資料等の文字が読みやすく、分かりやすい・話し方が明瞭で聞き取りやすい授業	796
③	教員と学生と一緒に進める授業	657
4	面白く・楽しく学べる授業	590
5	単位が取りやすい授業	389
6	自ら学びたいと思える授業	320
⑦	興味がわくように工夫した進め方をしている授業	262
8	教員の熱意・やる気・意欲を感じる	131
9	テキスト・資料を活用している授業	81
10	学生に考えさせる授業	77
11	教員の人柄がよい	71
12	板書がある・ノートが残る授業	66
13	テストに出るポイントがわかる授業	56
14	単位が取りづらい授業	39
15	自学自習しなければならない授業(課題が出る・テストがある)	37
16	成績評価基準を明確に示している授業	34
17	テキスト・資料を読み上げているだけではなく、テキスト以外の知識が学べる授業	33
18	シラバスに示された内容を満たしている授業	30
19	充実感・満足感・達成感・感動がある授業	29
19	印象・記憶に残る授業	29
19	メリハリのある授業	29
22	努力が報われる授業	21
23	その他	123
計		8,138

主な意見

【教員個人への要望】

< 教員の説明が分かりやすい授業 >

- ・難しい内容をいかにわかりやすく説明しているかだと考える。(法学部・法学科)
- ・ポイントをしばり、相手(学生)に理解、納得をさせようという授業が良い授業だと考える。(経済学部・経済学科)
- ・教えた事がたくさんあっても、重要なことにしばって、ペースを考えてよく理解できる授業。(理工学部・工学系)
- ・理解しやすく、要点を絞った授業。また流れを説明することで頭の中で組み立てやすくなる。(薬学部・薬学科)

< 板書や資料等の文字が読みやすく、分かりやすい・話し方が明瞭で聞き取りやすい授業 >

- ・字が小さい。前の方にいても字が見にくい。どこが大事なポイントなのか板書が多すぎて分からない。もっと工夫してほしい。プリントを配布するなど、もっと聞いている側に分かりやすいよう授業してほしい。(経営学部・経営学科)
- ・先生が時々早口で話すので、メモが追いつかない時があります。なので、もう一度繰り返して言って欲しいと思うことがあります。(薬学部・薬学科)
- ・せっかくパワーポイントを使用しているので、アニメーション機能などを使って説明すれば、学生たちも興味をもつと思います。(理工学部・電気電子工学科)
- ・板書を写している時にスライドが下ろされてしまって書ききれない。(農学部・応用生物化学科)

< 教員と学生と一緒に進める授業 >

- ・教員のペースではなく、学生の理解度に合ったペースで進める授業。(人間学部・人間学科)
- ・生徒と教授がコミュニケーションを互いに取り合いながら進めていく授業。(都市情報学部・都市情報学科)
- ・学生が座っているだけではなく、黒板に書いたり発言することで講義に参加する授業。(農学部・生物資源学科)
- ・生徒の意見交流がある。(経営学部・経営学科)

< 興味がわくように工夫した進め方をしている授業 >

- ・聞いていて引きこまれる授業。「おもしろさ」がわかる授業。(理工学部・工学系)
- ・授業を受けている学生が興味を持てるように工夫した授業。(全学共通教育部門)
- ・気がつけば授業が終了しているような、聞いていて退屈しない授業。(法学部・法学科)
- ・映像などで生徒が眠くならないような工夫がある授業。(教職課程・学芸員課程)

16 学生にとってよい授業（自由回答）

[学生]

Q22. 学生にとってよい授業とは何ですか。（あなたにとって一番ウエイトを占める要因をお書きください）

○ …具体的な回答をピックアップ。途中割愛の場合有り。

【カリキュラムへの要望】

順位	分類名	件数
①	扱っている内容が面白い・興味深い授業	1,957
②	扱っている内容が実社会で役に立つ・将来役に立つ授業	948
3	知識が身に付く・新しい知識が得られる授業	289
4	演習問題・課題に取り組む授業	79
5	人格形成に役立つ・成長できる授業	32
6	基礎が学べる授業	23
7	他の授業との連携がある授業	6
8	その他	123
計		3,457

【大学への要望】

順位	分類名	件数
①	授業を受ける環境がよい(静かな授業・集中できる環境・寒くない・暑くない)	1,151
2	学力に合った授業	47
3	少人数制の授業	24
4	その他	4
計		1,226

【学生(自身)への要望】

順位	分類名	件数
①	学生に熱意・やる気・意欲(学ぶ姿勢)がある(学生側の問題である)	56
2	学生の意欲(学ぶ姿勢)と教員の意欲(教える姿勢)が共にある	38
3	その他	6
計		100

主な意見

【カリキュラムへの要望】

- < 扱っている内容が面白い・興味深い授業 >
- ・興味があれば結局その場しのぎになる。興味があってこそ勉強への意欲もわくと思う。(経済学部・経済学科)
 - ・興味あるものを提示してくれる授業(待ちの姿勢ではないが、理解できないながらも光明を見つければ勉強は楽しく努力できる)。(人間学部・人間学科)
 - ・興味のない分野でも興味をわかせる授業。(理工学部・建築学科)

- < 扱っている内容が実社会で役に立つ・将来役に立つ授業 >
- ・現実的な例を挙げて話してくれる授業。(農学部・生物資源学科)
 - ・学部に沿った職へ興味を持たせること、また将来において何かこれまでで学んだことを活用しようと思えること。(人間学部・人間学科)
 - ・聞いていてためになる授業・資格取得に繋がる授業。(全学共通教育部門)

【大学への要望】

- < 授業を受ける環境がよい(静かな授業・集中できる環境・寒くない・暑くない) >
- ・学生の私語がなく、教員の話が聞きやすい。(経済学部・経済学科)
 - ・エアコンが暖かすぎるので、環境のよい授業。(農学部・生物環境科学科)

【学生(自身)への要望】

- < 学生に熱意・やる気・意欲(学ぶ姿勢)がある(学生側の問題である) >
- ・学生が自らやる気を起こし、一生懸命努力し実践するような授業。(全学共通教育部門)
 - ・興味を持ち、理解しようとし、授業に取り組むこと。(経済学部・産業社会学科)
 - ・自主性(自主性のない生徒は授業を受けても意味が無い)。(都市情報学部・都市情報学科)

基礎データ

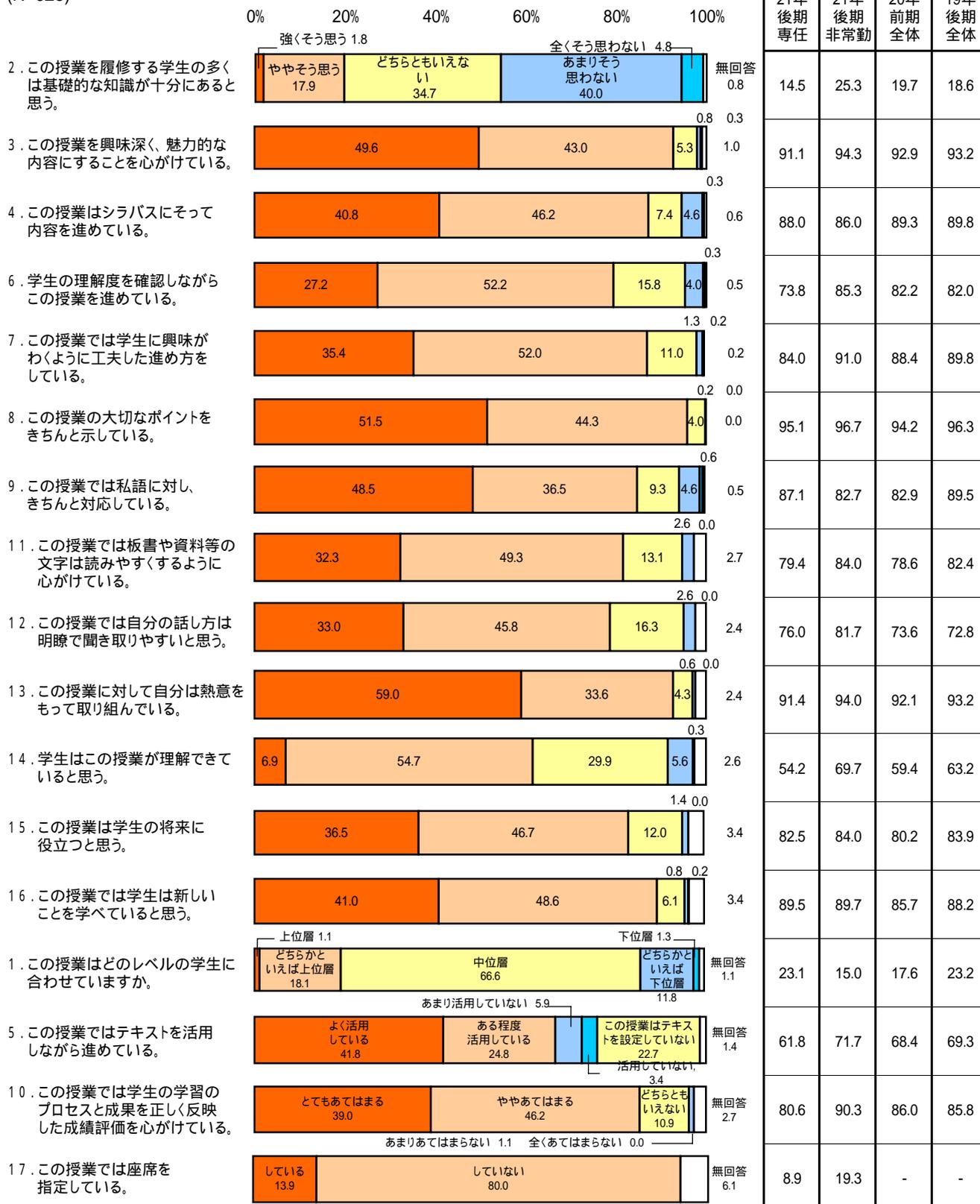
1 7 教員の自己評価の時系列比較

[教員]

7割以上の教員が、「興味魅力」、「興味工夫」等の授業改善重要項目を強く意識し、熱意を持って授業にとり組んでいる。

【全学部平均】

(N=625)

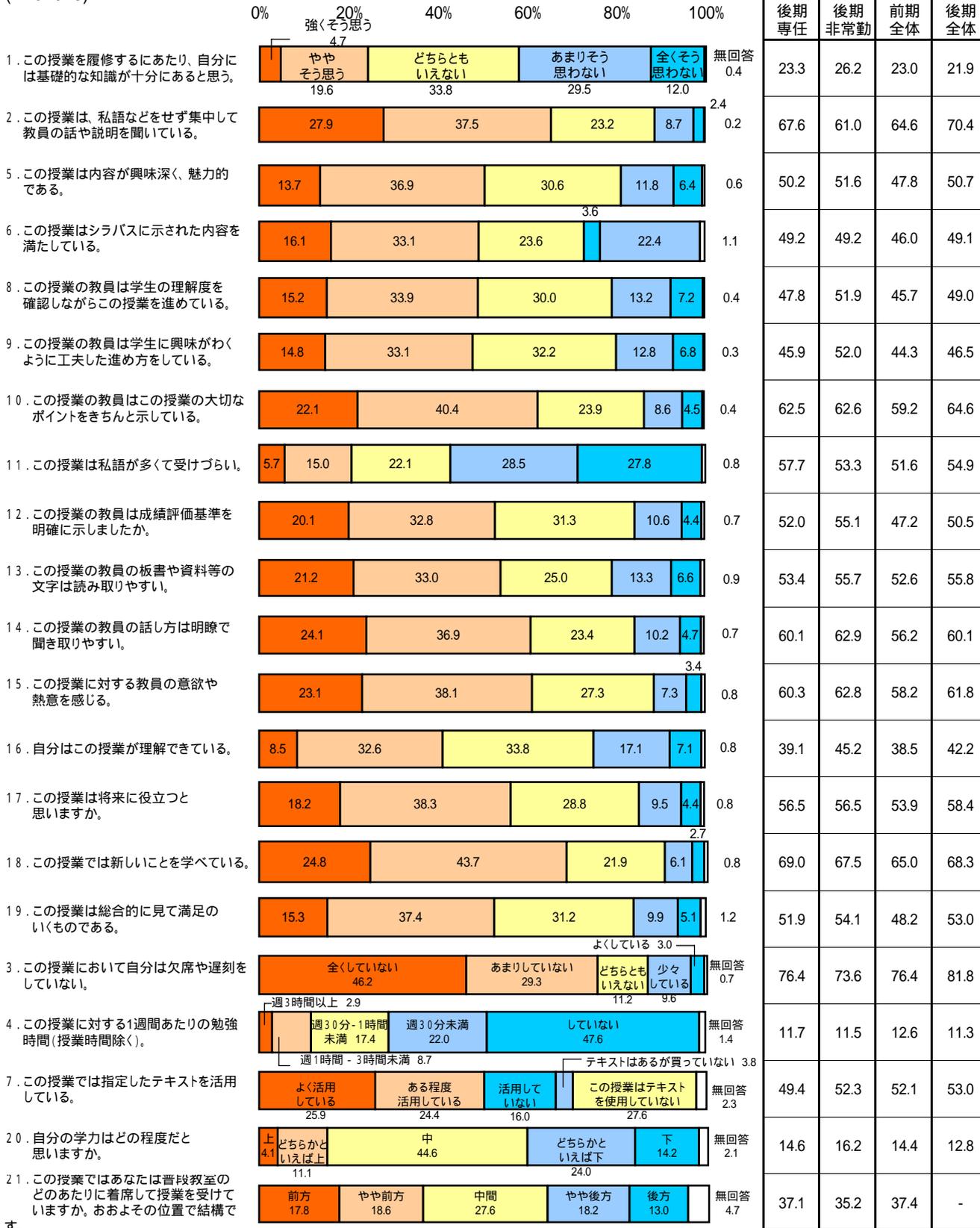


数表は各設問上位2選択肢の合計(%)ただし、17.座席指定のみ「している」(%)

半数程度の学生は、教員が多くの項目において授業改善に努めていること、熱意を持って授業をすすめていることを評価している。

【全学部平均】

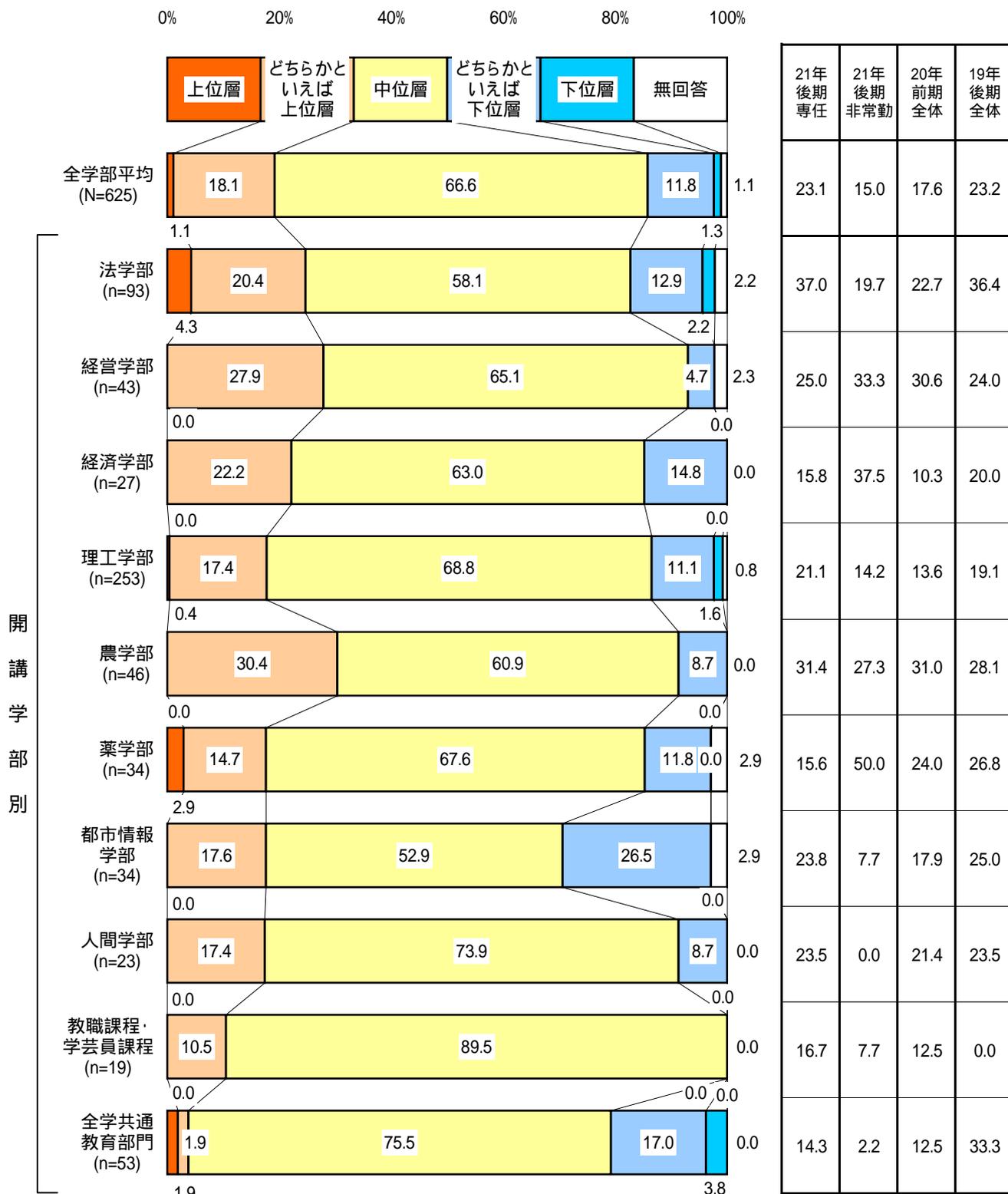
(N=37948)



数表は各設問上位2選択肢の合計(%) ただし、11.私語対応のみ下位2選択肢の合計

全学部等において過半数の教員が、学力レベルが中位の学生に合わせた授業を展開している。

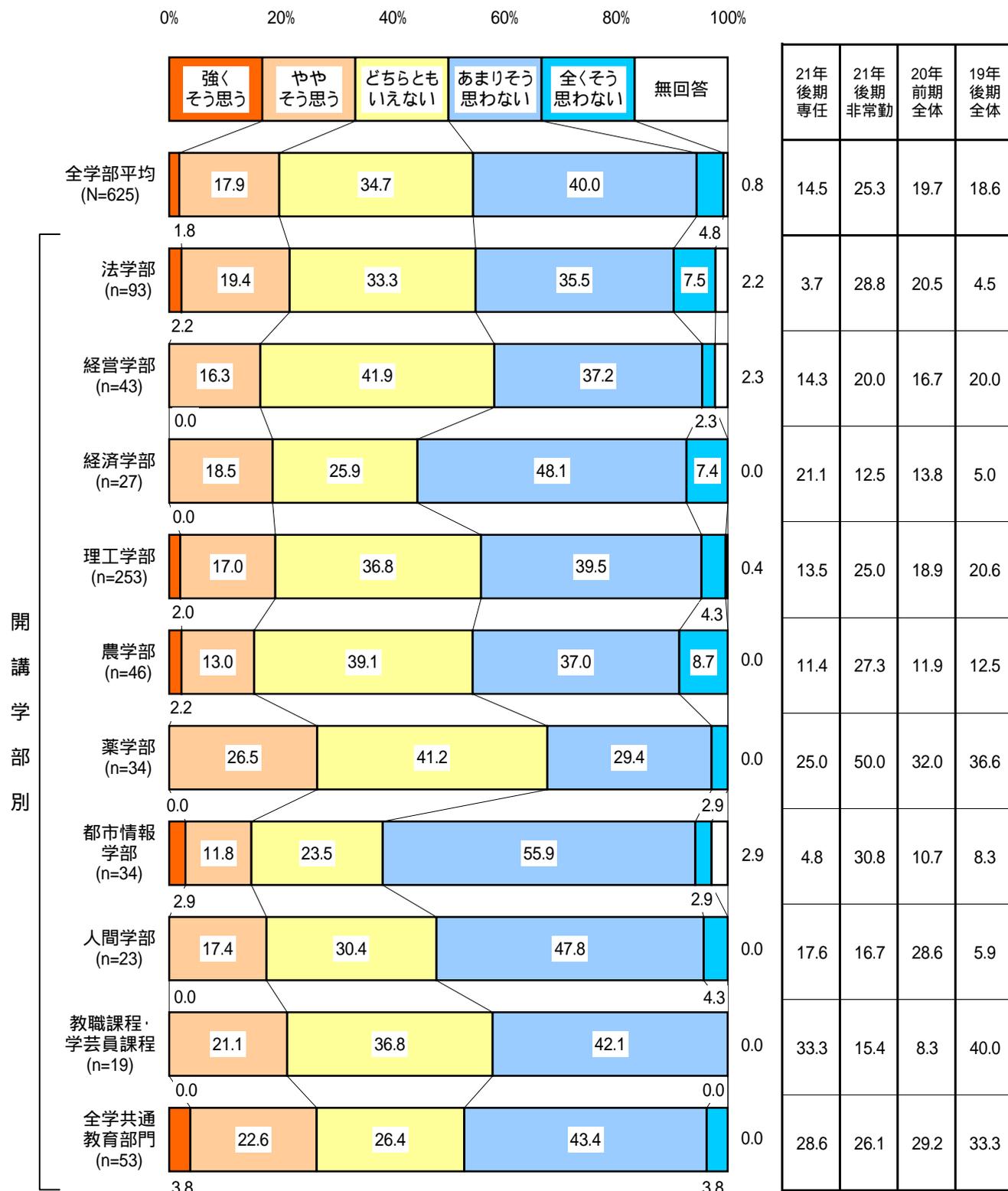
Q1. この授業はどのレベルの学生に合わせていますか。



数表は「上位層」+「どちらかといえば上位層」(%)

学生の基礎知識が不十分だと感じている教員は半数近くおり、都市情報学部ではその傾向が顕著に見られる。

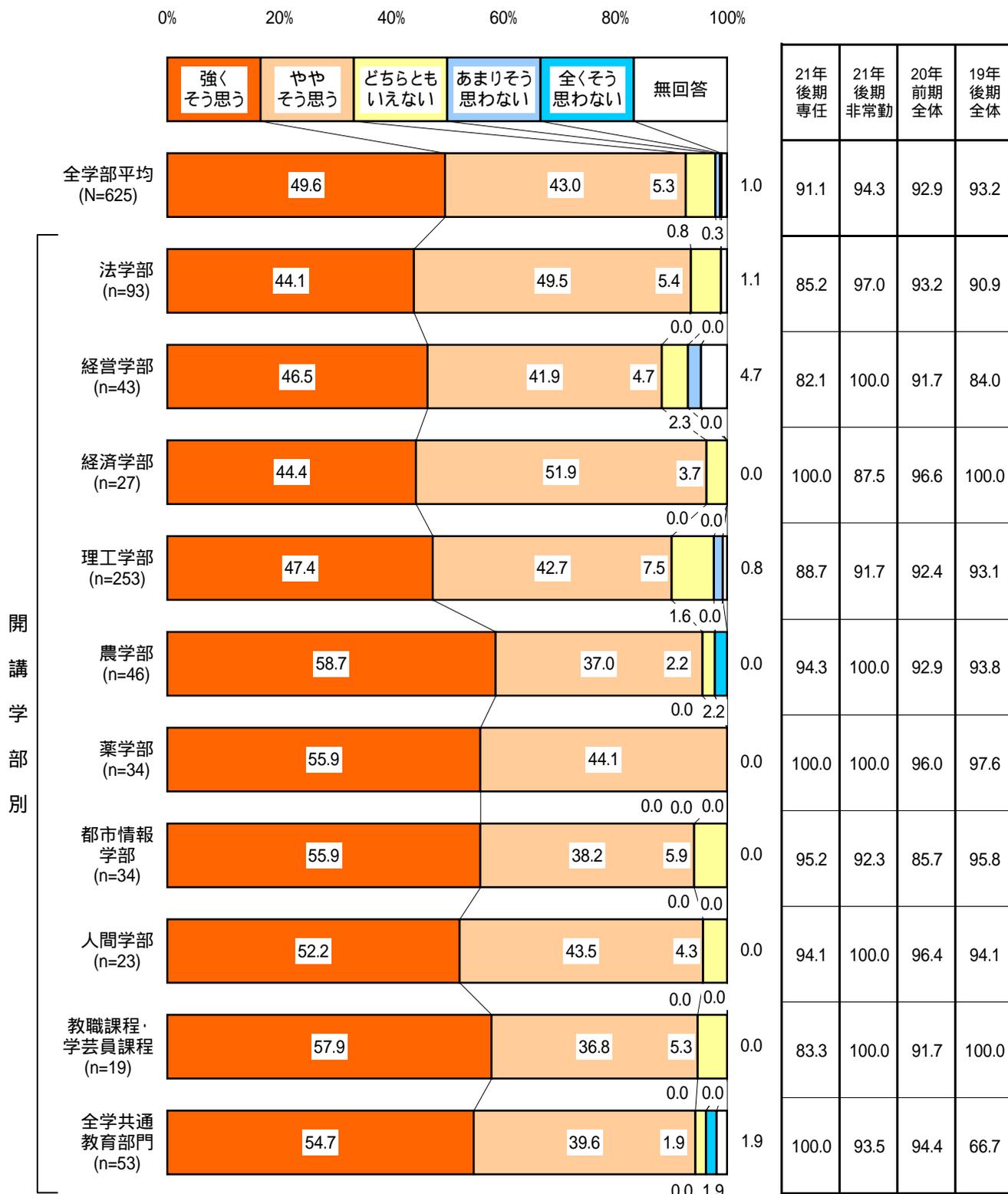
Q2. この授業を履修する学生の多くは基礎的な知識が十分にあると思う。



数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」 (%)

約9割の教員が、授業を興味深く魅力的な内容にするべく努力している。

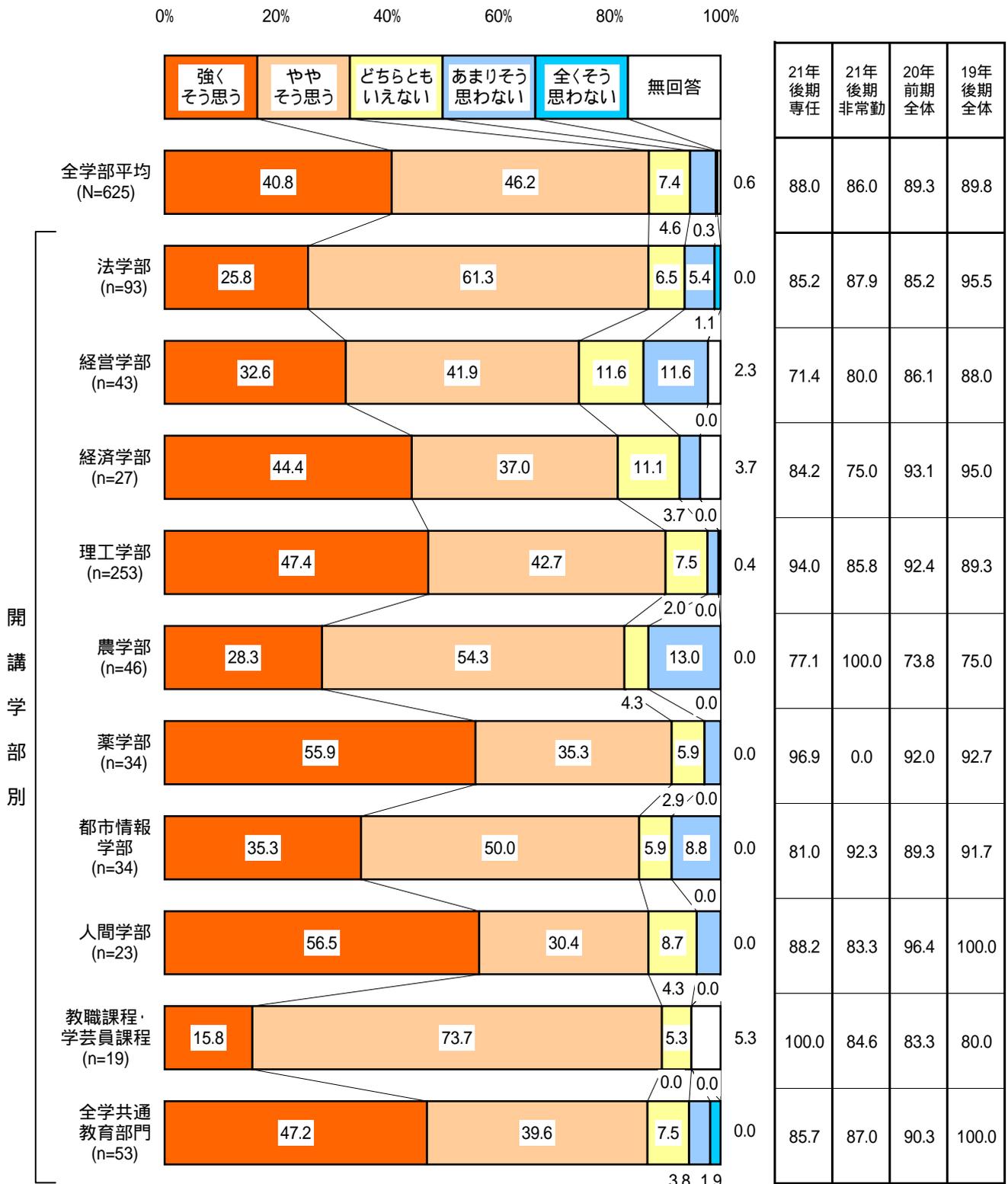
Q3. この授業を興味深く、魅力的な内容にすることを心がけている。



数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

各学部等によって多少意識の差はあるが、ほとんどの教員がシラバスにそった授業を心がけている。

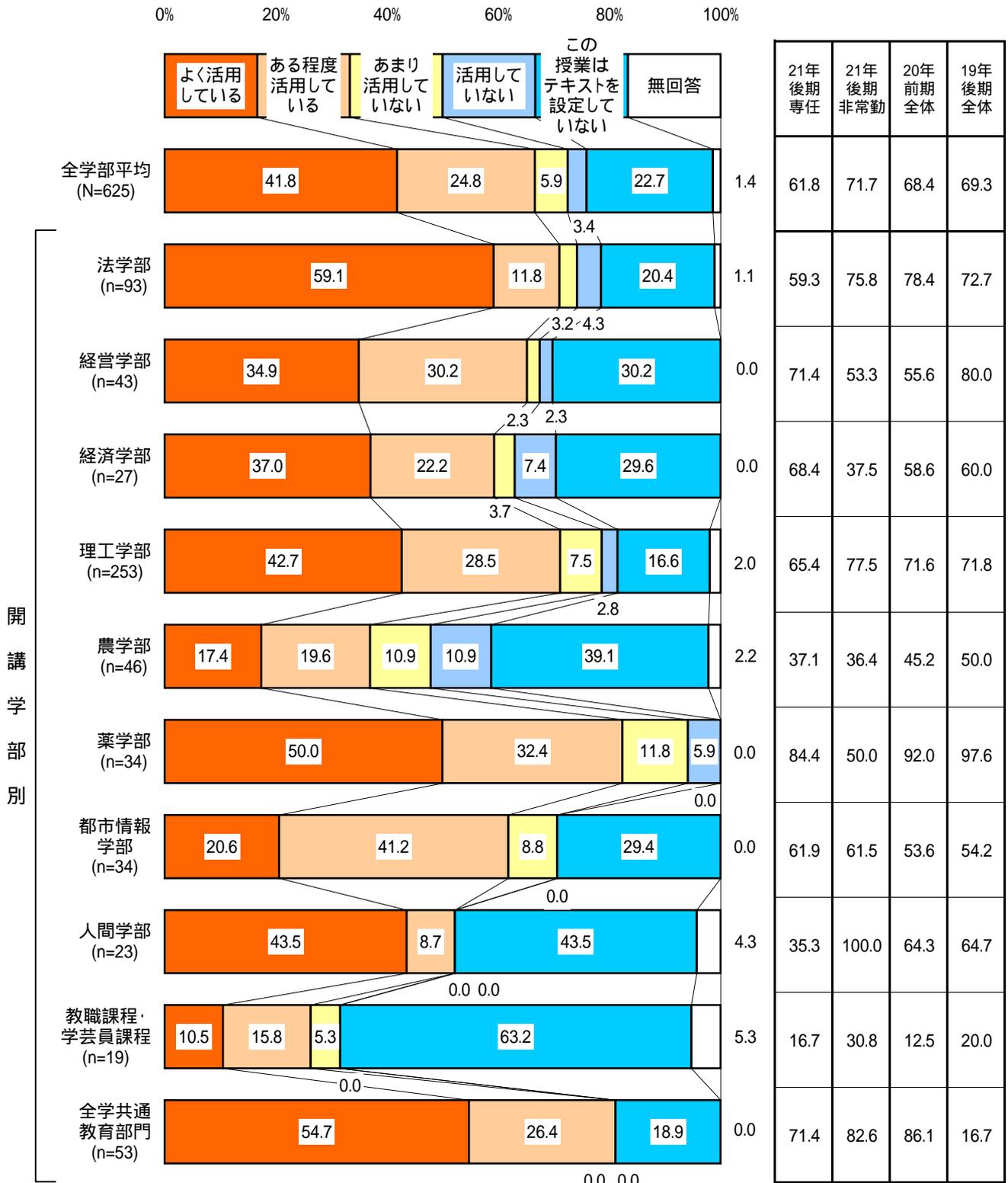
Q4. この授業はシラバスにそって内容を進めている。



数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

テキストの活用頻度は学部によって差が見られる。薬学部、全学共通教育部門では8割以上の教員がテキストを活用している。

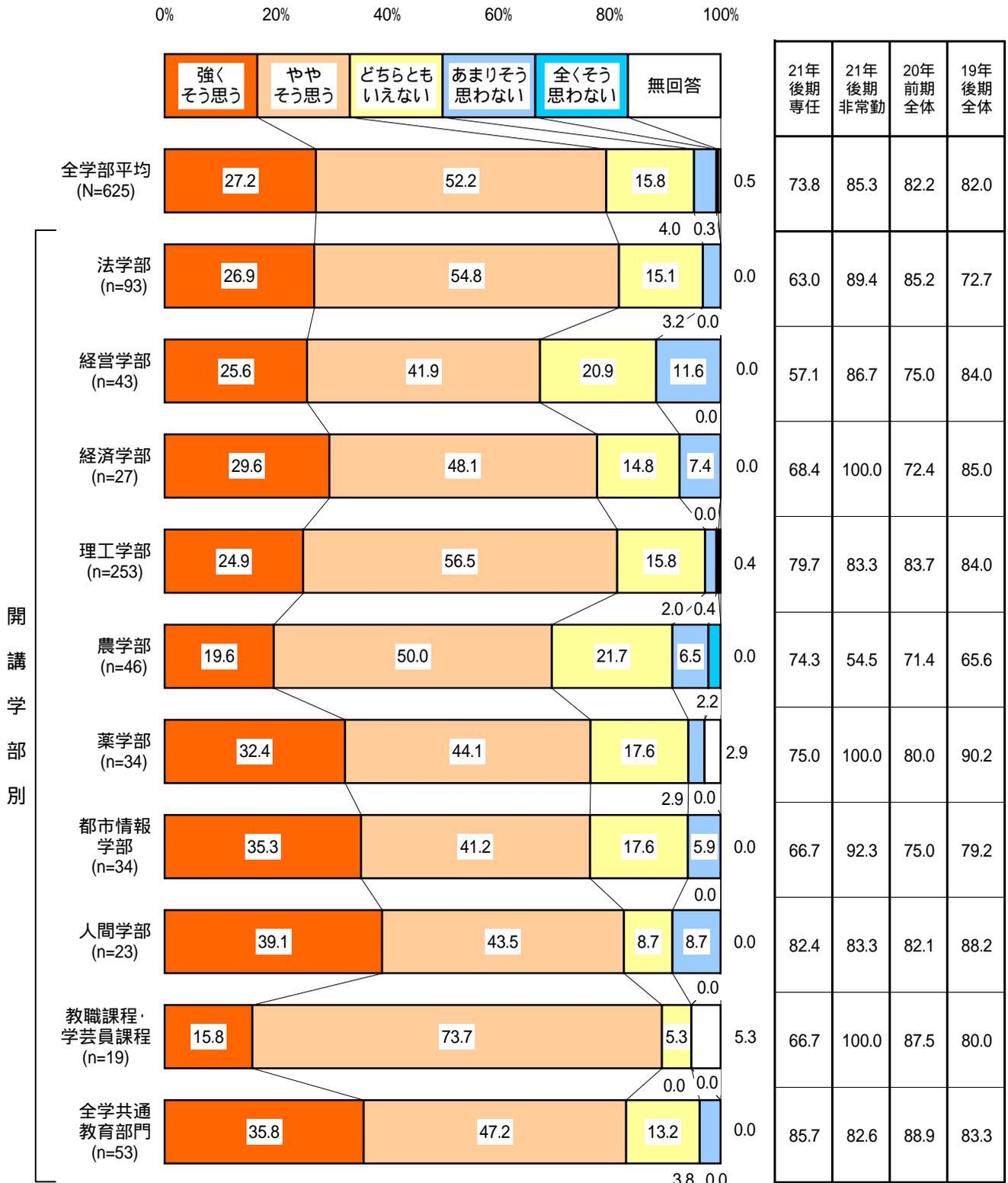
Q5. この授業ではテキストを活用しながら進めている。



数表は「よく活用している」+「ある程度活用している」(%)

8割程度の教員が、学生の理解度に配慮した授業を心がけている。

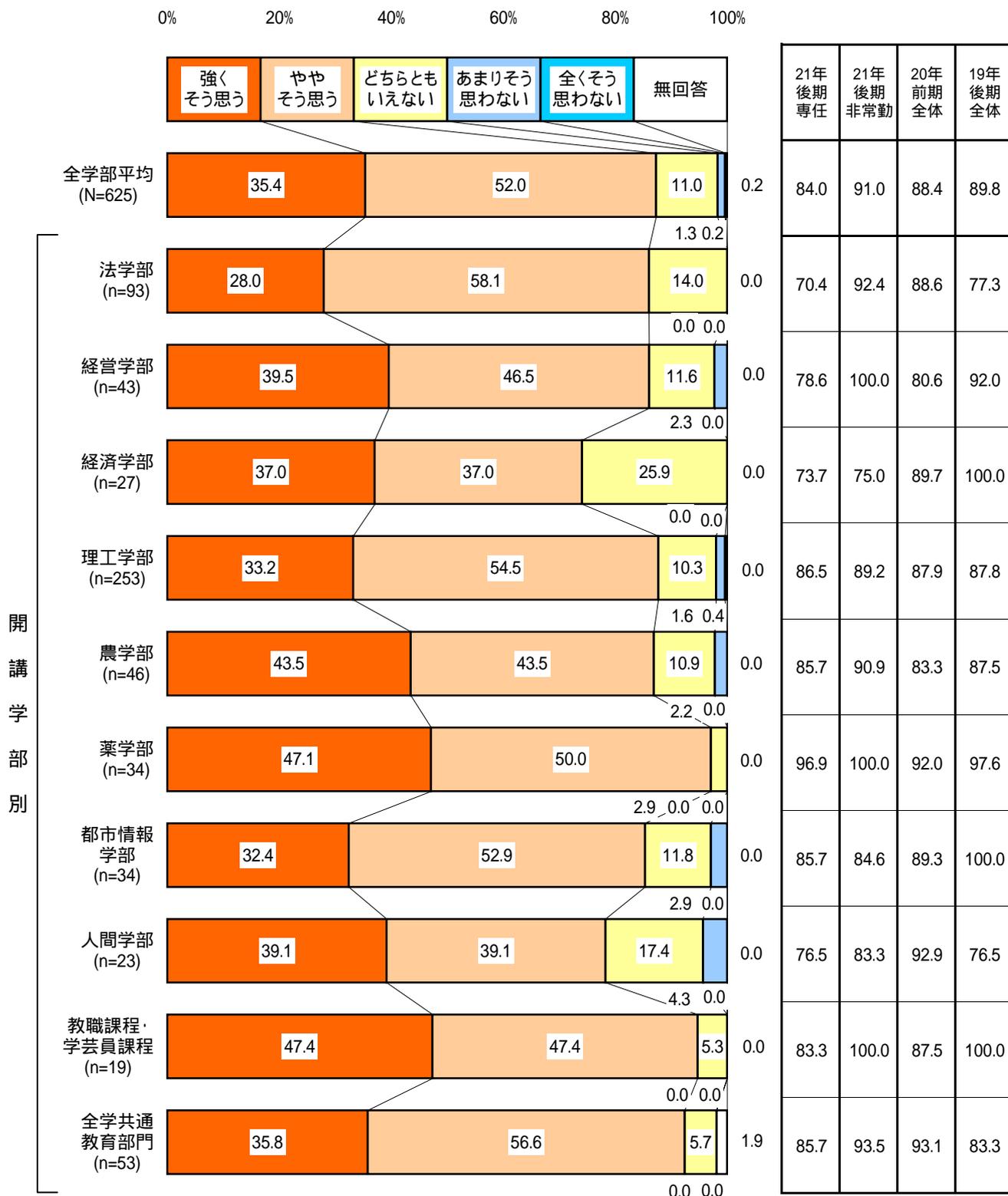
Q6. 学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。



数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

教員は概ね学生の興味を引くような工夫をしている。

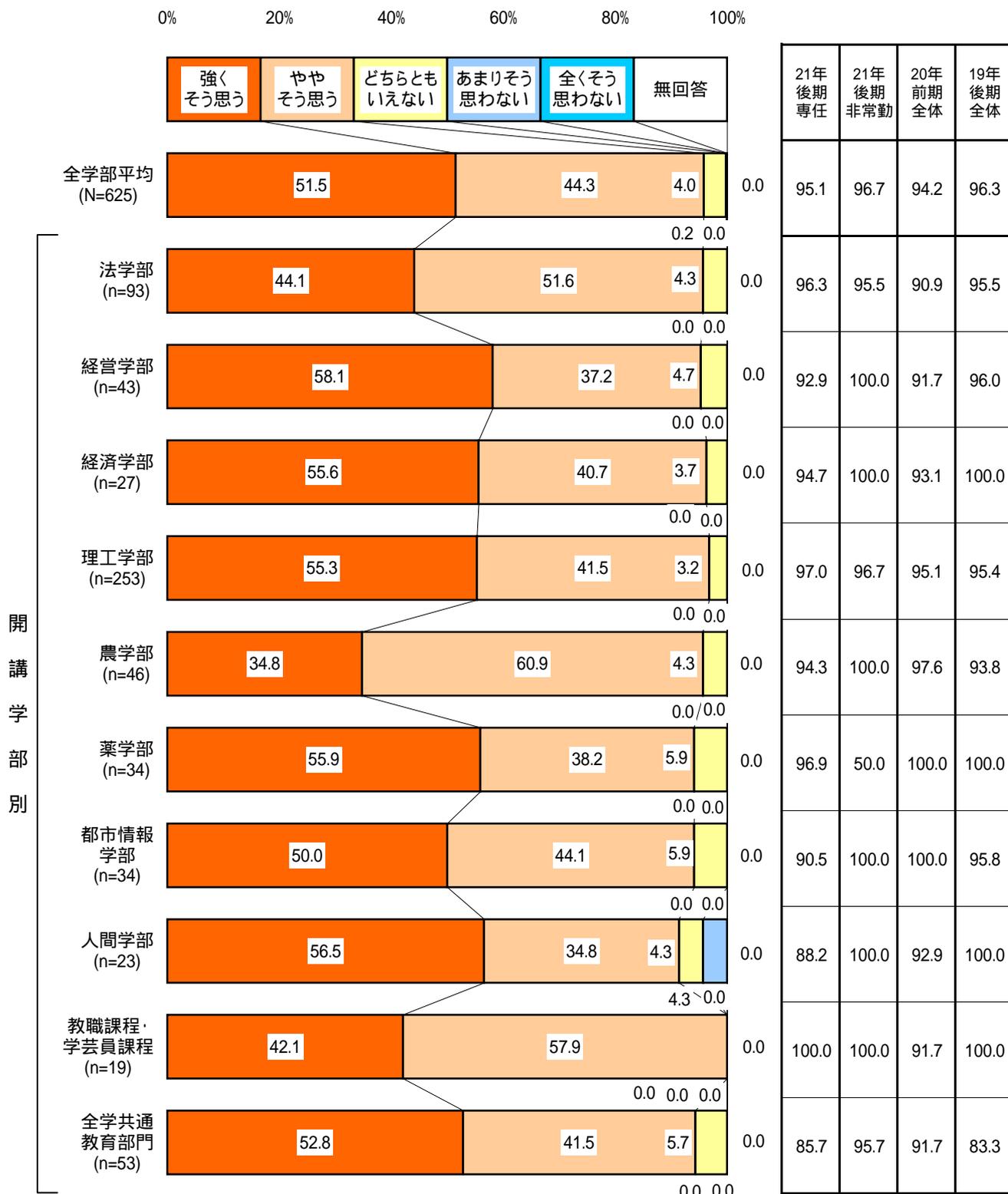
Q7. この授業では学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。



数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

ほとんどの教員が授業のポイントを示すよう心がけており、教職課程・学芸員課程においては全教員がそれを意識している。

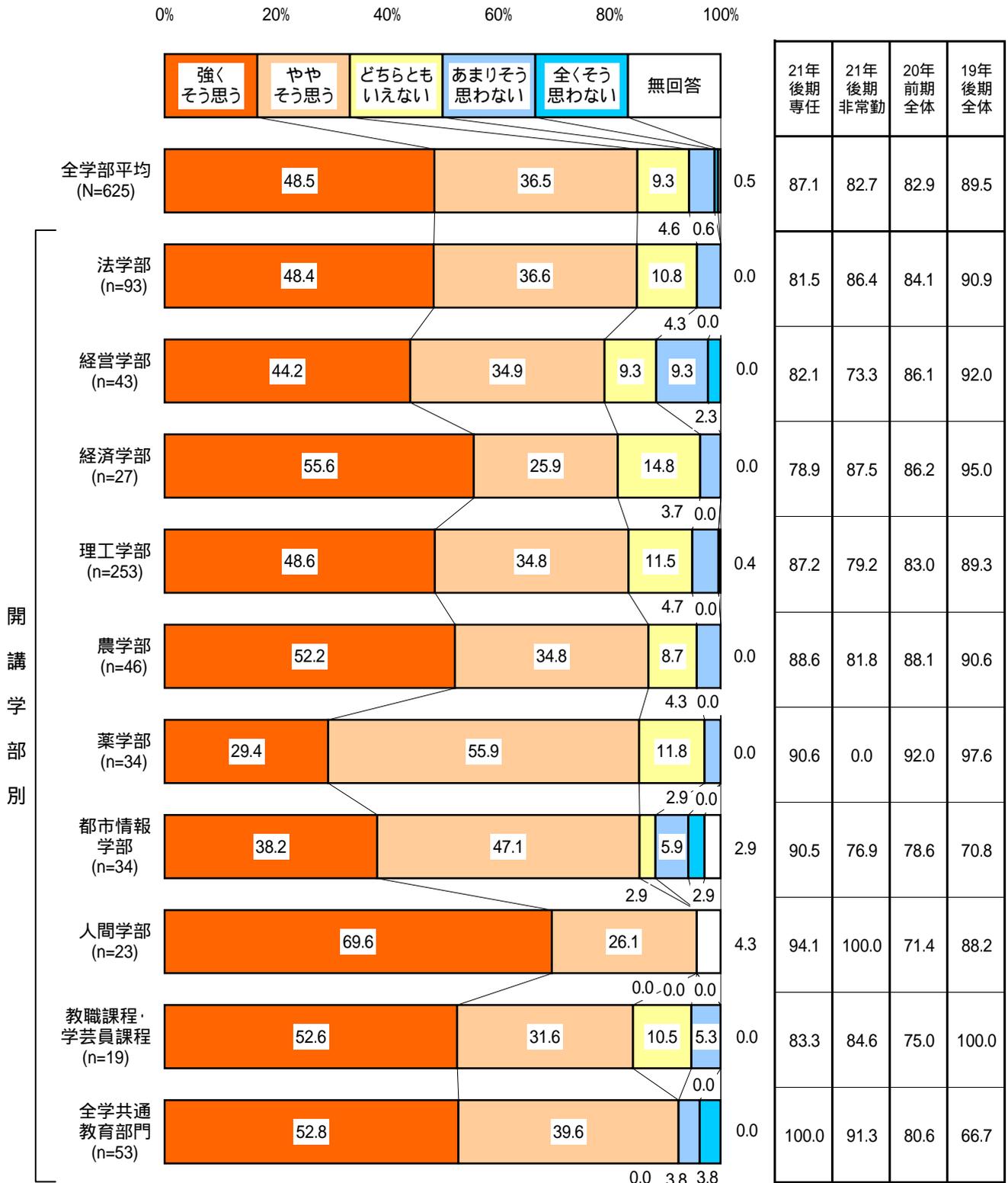
Q8. この授業の大切なポイントをきちんと示している。



数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

8割を超える教員が私語への対応を心がけており、特に人間学部や全学共通教育部門ではほぼ全ての教員が対応している。

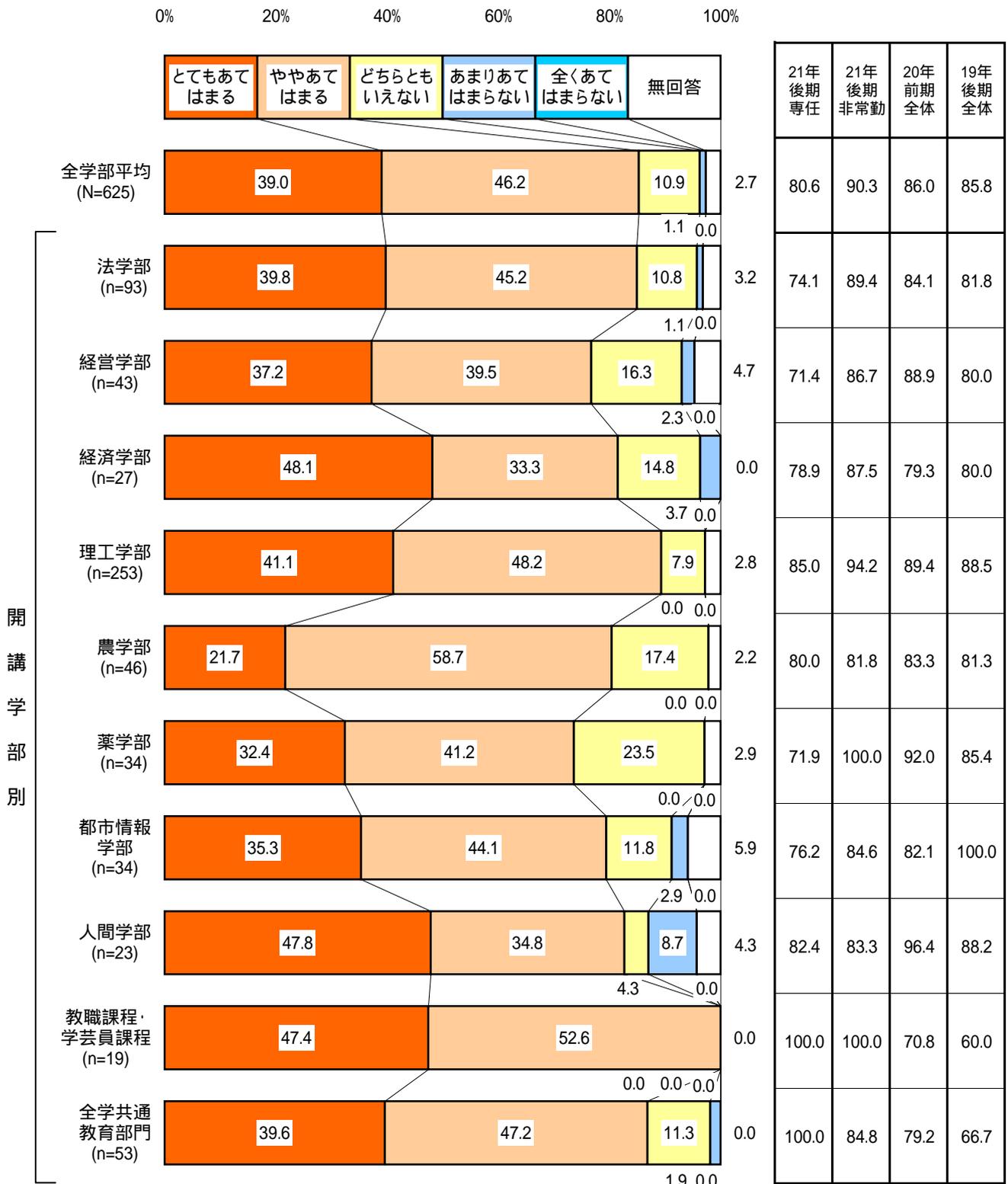
Q9. この授業では私語に対し、きちんと対応している。



数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」 (%)

7割以上の教員は成績評価基準に対して高い意識をもつ。特に教職課程・学芸員課程では全ての教員にあたる。

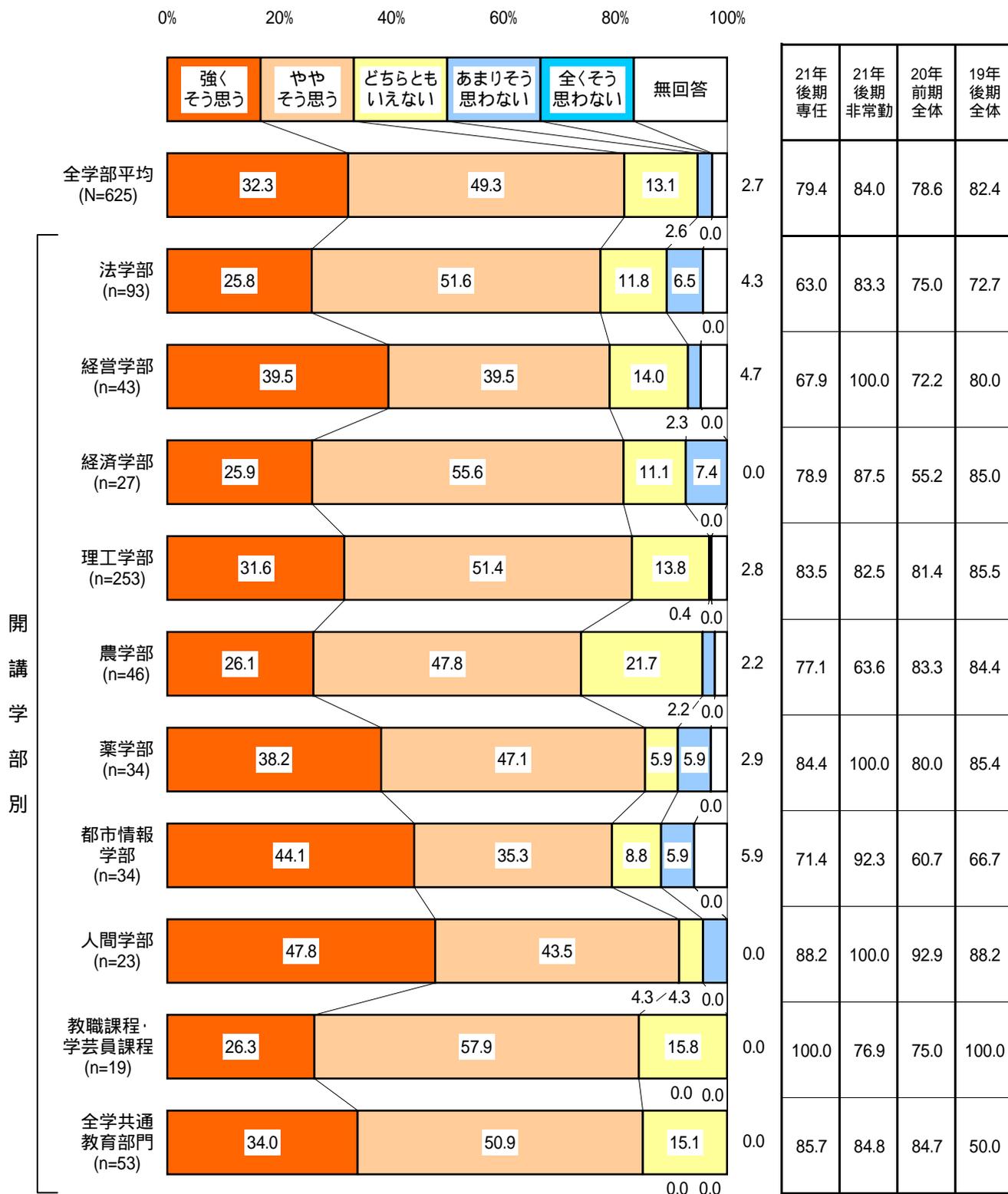
Q10. この授業では学生の学習のプロセスと成果を正しく反映した成績評価を心がけている。



数表は「とてもあてはまる」+「ややあてはまる」(%)

8割程度の教員は、板書や資料を読みやすくするための努力をしており、中でも人間学部では9割を超える。

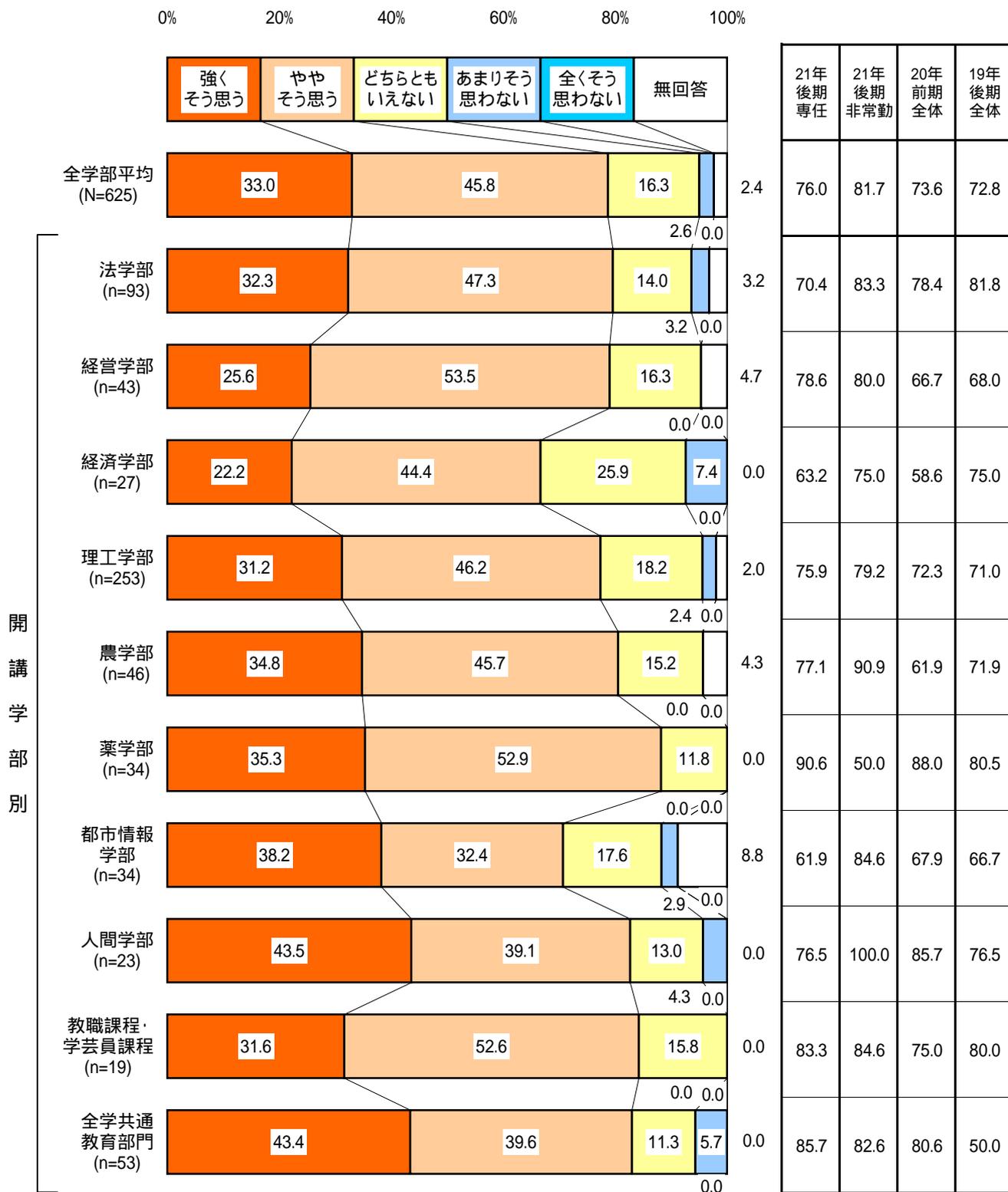
Q11. この授業では板書や資料等の文字は読みやすくするように心がけている。



数表は「強く思う」+「やや思う」 (%)

8割程度の教員は、明瞭で聞きやすい話し方を心がけているが、経済学部、都市情報学部では7割前後にとどまる。

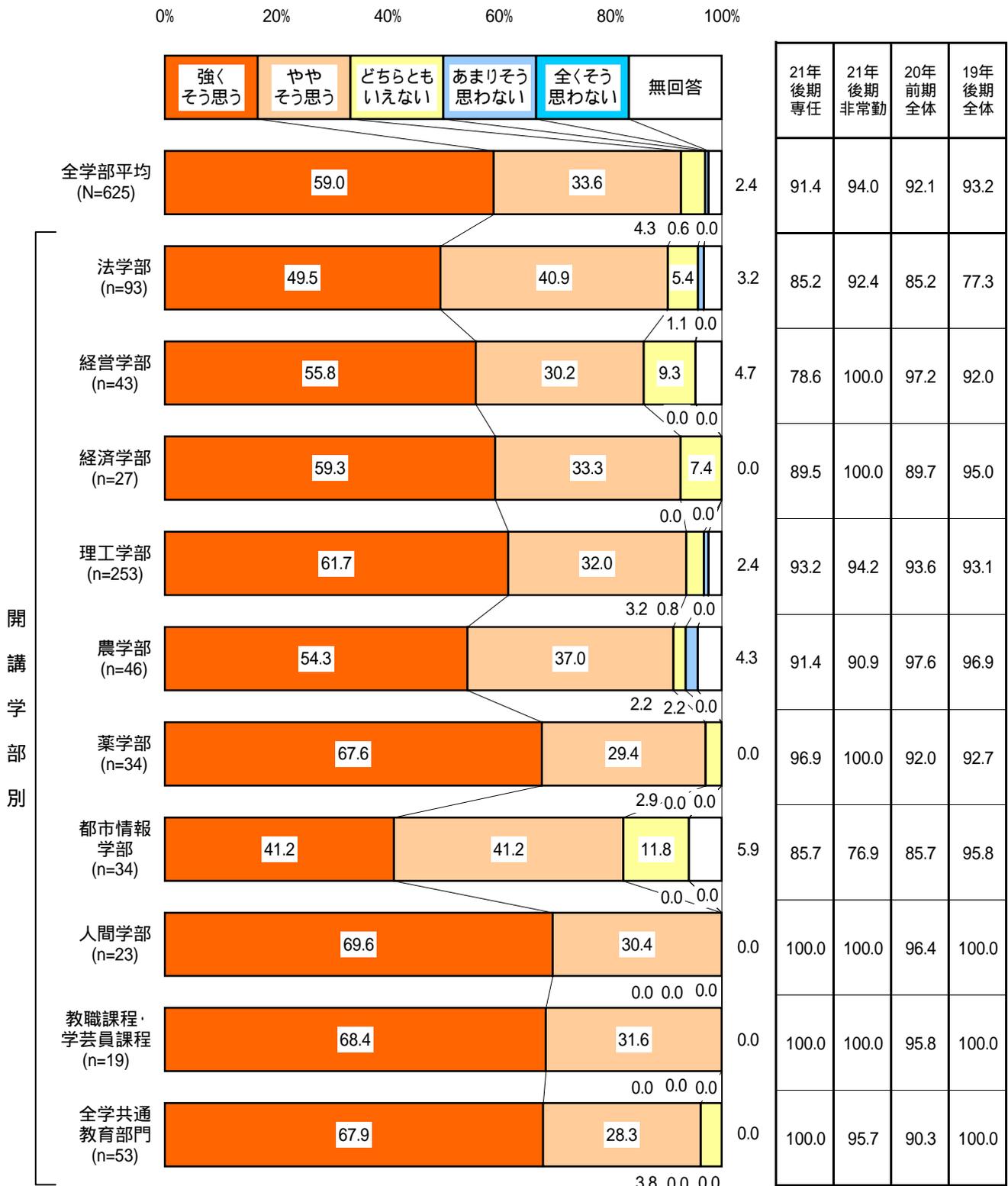
Q12. この授業では自分の話し方は明瞭で聞き取りやすいと思う。



数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

ほとんどの教員が授業に対して熱意を持って取り組んでおり、人間学部、教職課程・学芸員課程では全教員にあたる。

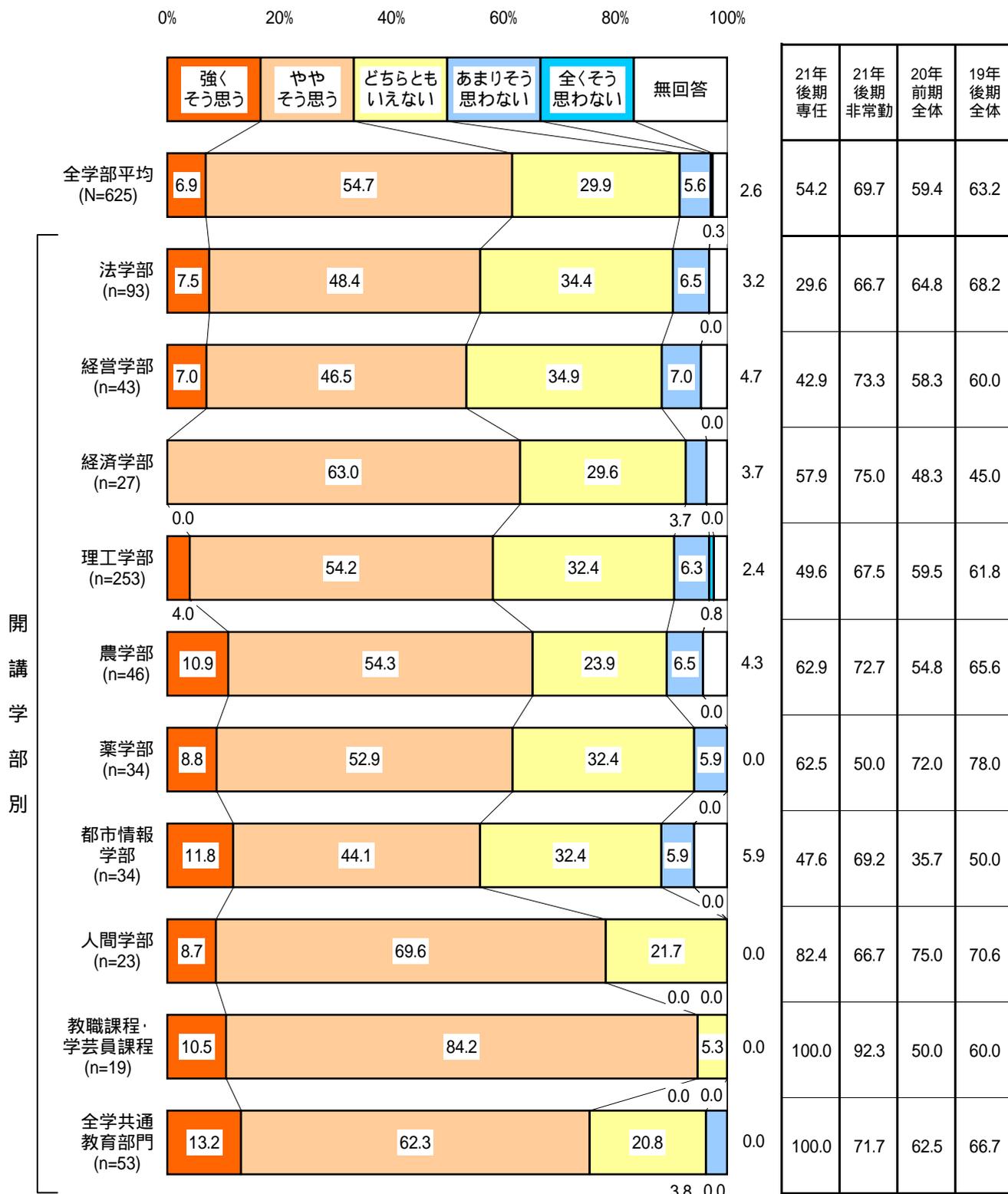
Q13. この授業に対して自分は熱意をもって取り組んでいる。



数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

学生の理解度に十分満足している教員は少数で、経済学部では「強くそう思う」教員がいない。

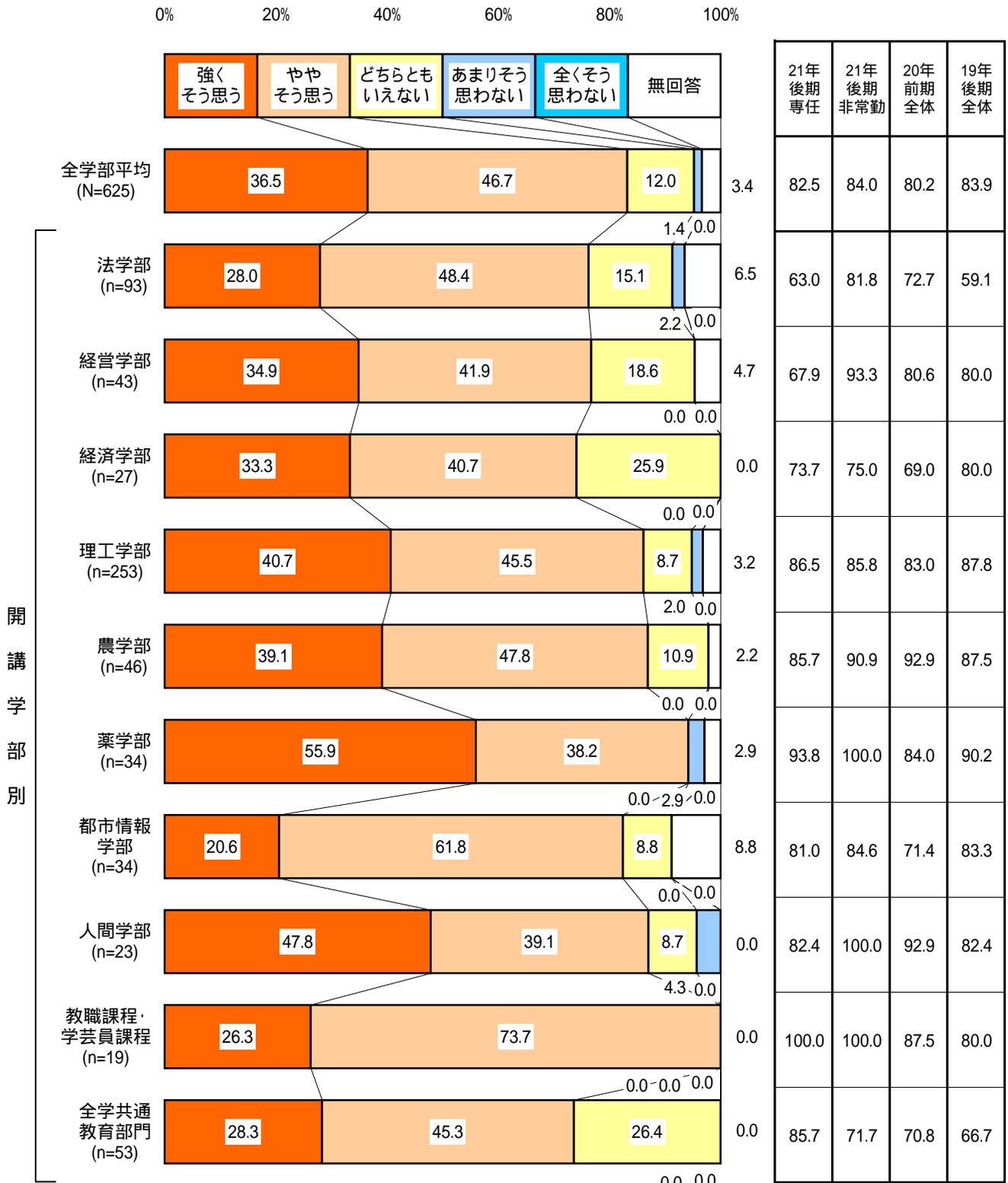
Q14. 学生はこの授業が理解できていると思う。



数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

授業が学生の将来に役立つと考えている教員は8割を超える。特に教職課程・学芸員課程では全教員、薬学部でも9割強にのぼる。

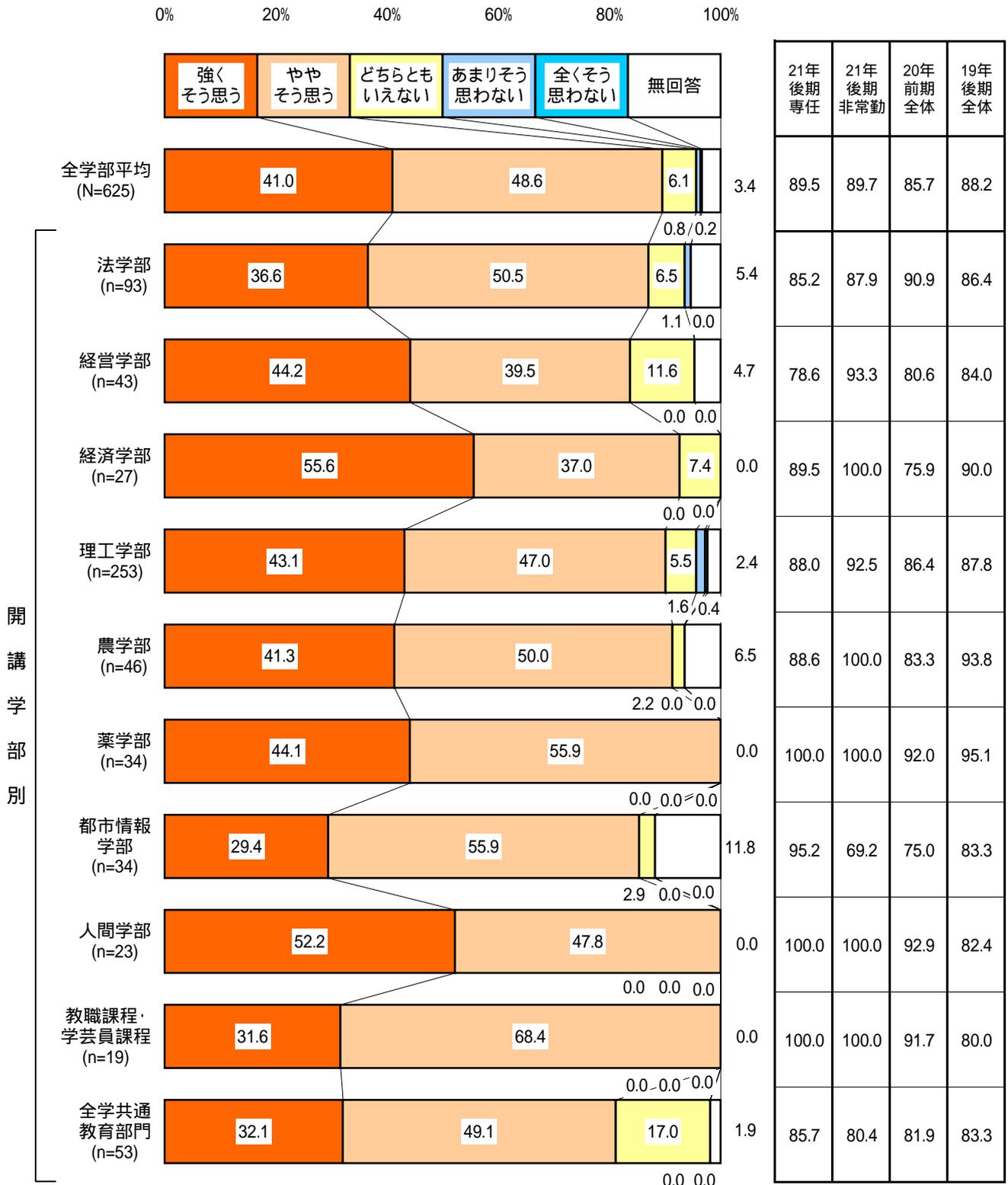
Q15. この授業は学生の将来に役立つと思う。



数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

8割以上の教員が、学生にとって新しい内容を教えることができているとする。中でも薬学部、人間学部、教職課程・学芸員課程では全教員にあたる。

Q16. この授業では学生は新しいことを学べていると思う。



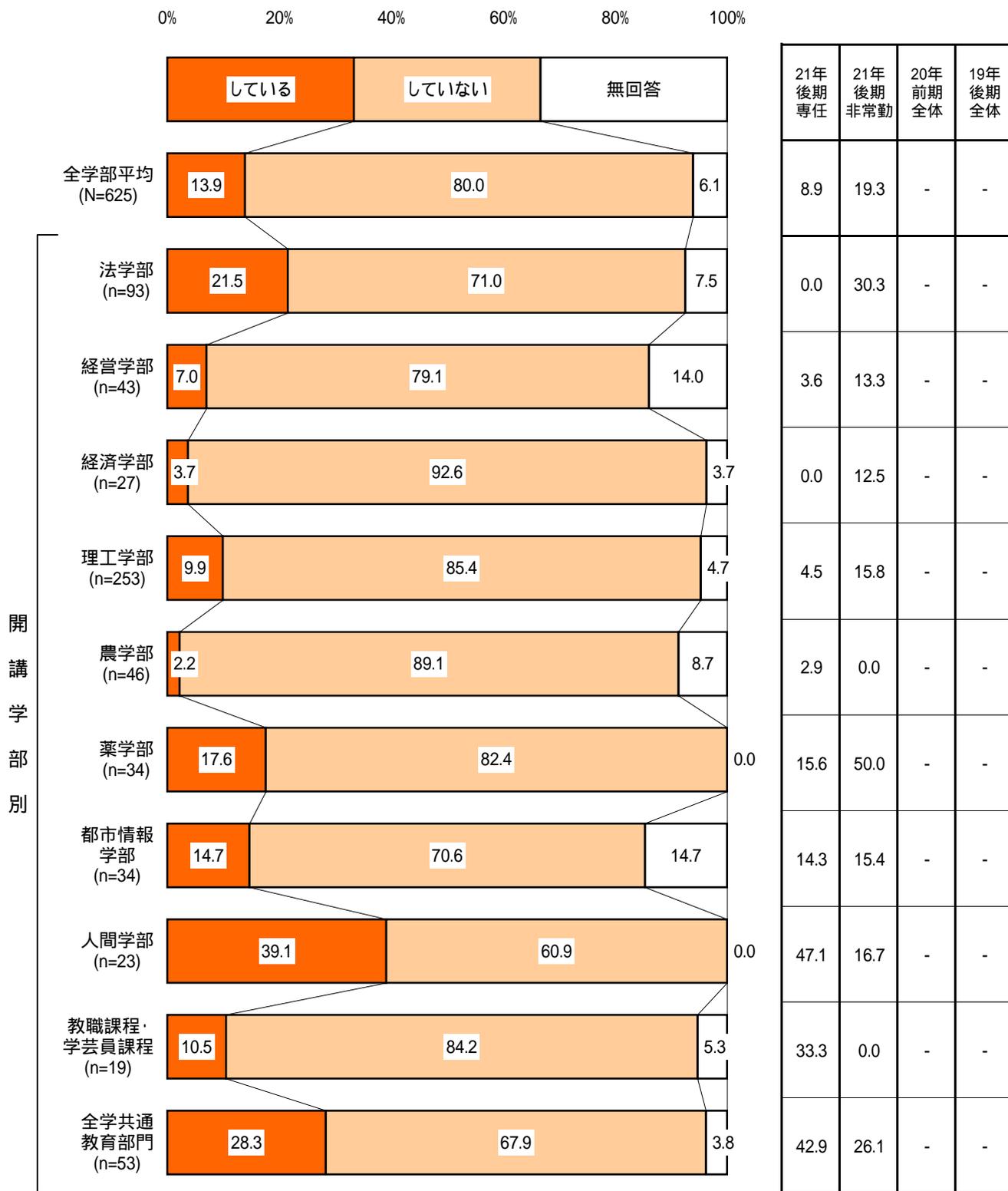
数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

19 基礎データ教員用設問 座席指定

[教員]

全体で1割程度の授業で座席が指定されている。特に人間学部や全学共通教育部門での割合が高い。また専任よりも非常勤教員の授業の方が割合が高い。

Q17. この授業では座席を指定している。



数表は「している」 (%)

基礎知識に関する学生の自己評価は低く、十分な基礎知識があると回答した学生は5%程度にとどまる。

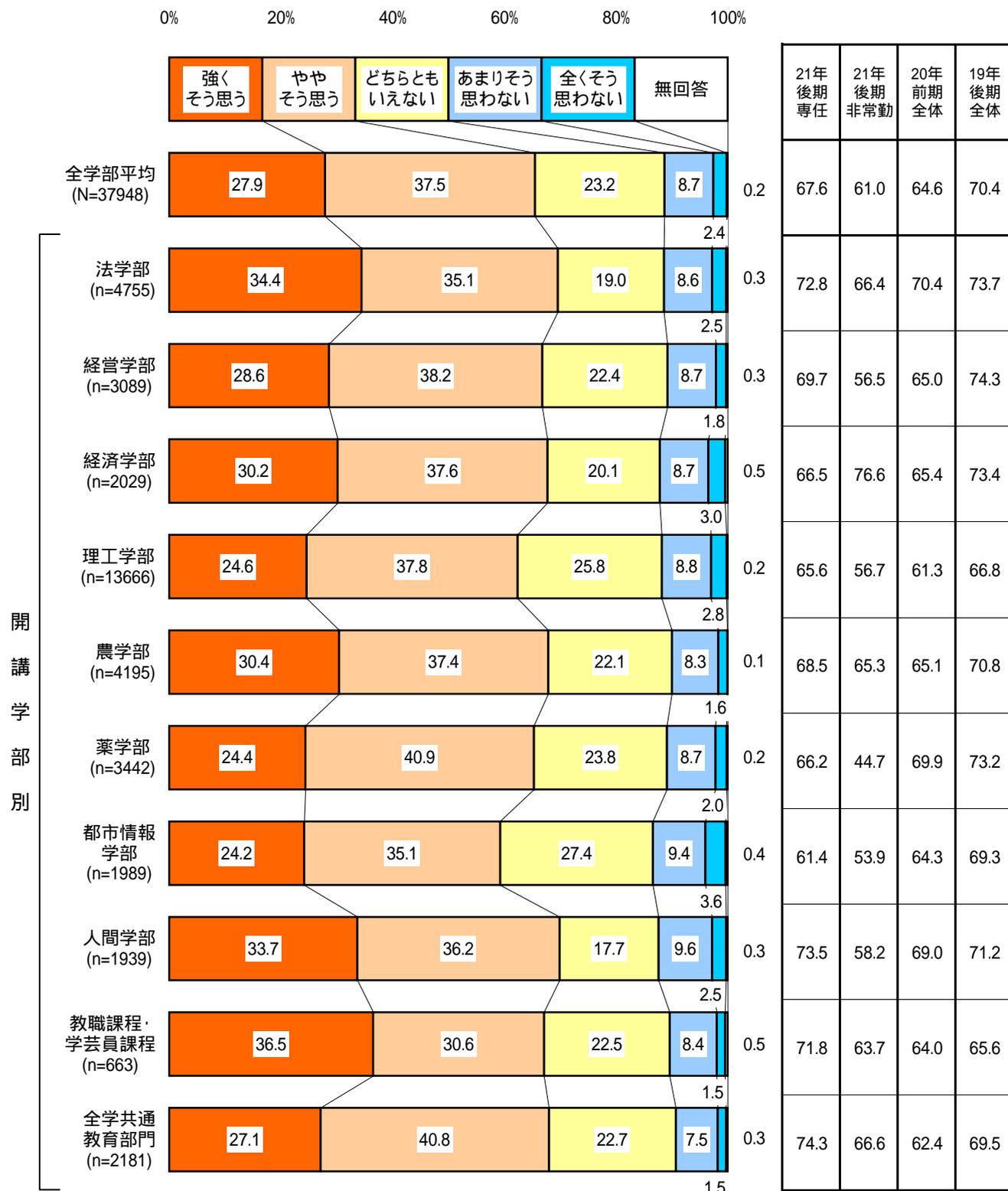
Q1. この授業を履修するにあたり、自分には基礎的な知識が十分にあると思う。



数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

6～7割の学生が私語などをせず集中して授業を受けていると回答している。

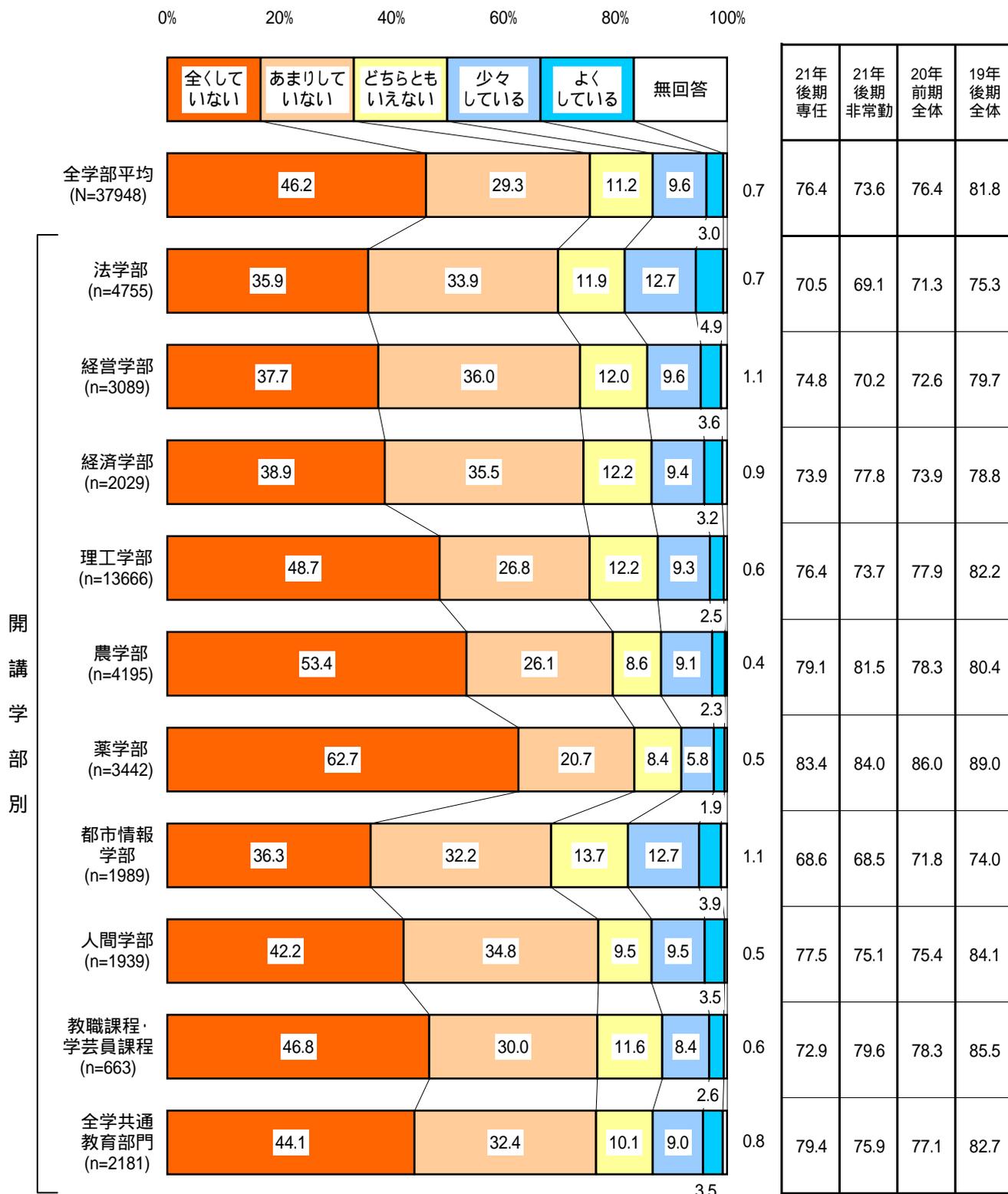
Q2. この授業は、私語などをせず集中して教員の話や説明を聞いている。



数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

授業に遅刻・欠席することは全くないと回答した学生は約半数。薬学部では6割強の学生が「全くしていない」と回答している。

Q3. この授業において自分は欠席や遅刻をしていない。



数表は「全くしていない」+「あまりしていない」 (%)

20 基礎データ学生用設問 自学自習時間

[学生]

約半数の学生が、自学自習を全くしていないと回答しているのは問題である。理工学部は他学部等に比べ勉強時間が長い。

Q4. この授業に対する1週間あたりの勉強時間(授業時間除く)。



数表は「週3時間以上」+「週1時間-3時間未満」(%)

半数程度の学生が授業内容に興味をもち、魅力を感じている。

Q5. この授業は内容が興味深く、魅力的である。



数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

半数程度の学生はシラバスの内容を満たしていると感じているが、シラバスを読んでいない学生も2割ないし3割存在する。

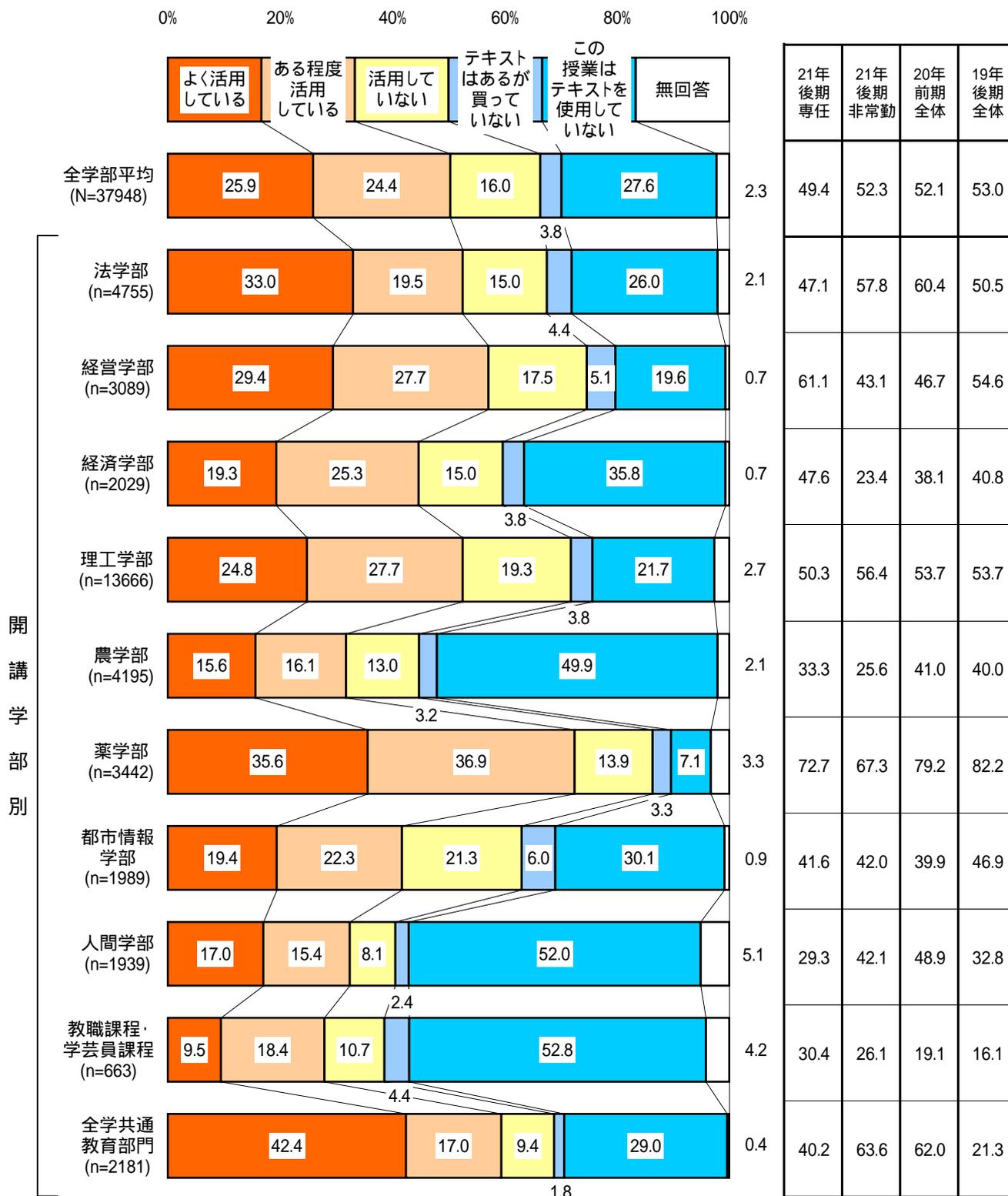
Q6. この授業はシラバスに示された内容を満たしている。



数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

テキストが十分活用されていないと感じている学生は2割近くにのぼる。テキストの活用は学部等によって差が見られ、最も活用しているのは薬学部である。

Q7. この授業では指定したテキストを活用している。



数表は「よく活用している」+「ある程度活用している」(%)

半数程度の学生は、教員が理解度に配慮した授業を行なっていると評価している。

Q8. この授業の教員は学生の理解度を確認しながらこの授業を進めている。



数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

5割弱の学生は、教員が授業に興味を持たせる努力をしていると評価している。中でも教職課程・学芸員課程、全学共通教育部門では約6割におよぶ。

Q9. この授業の教員は学生に興味がわくように工夫した進め方をしている。



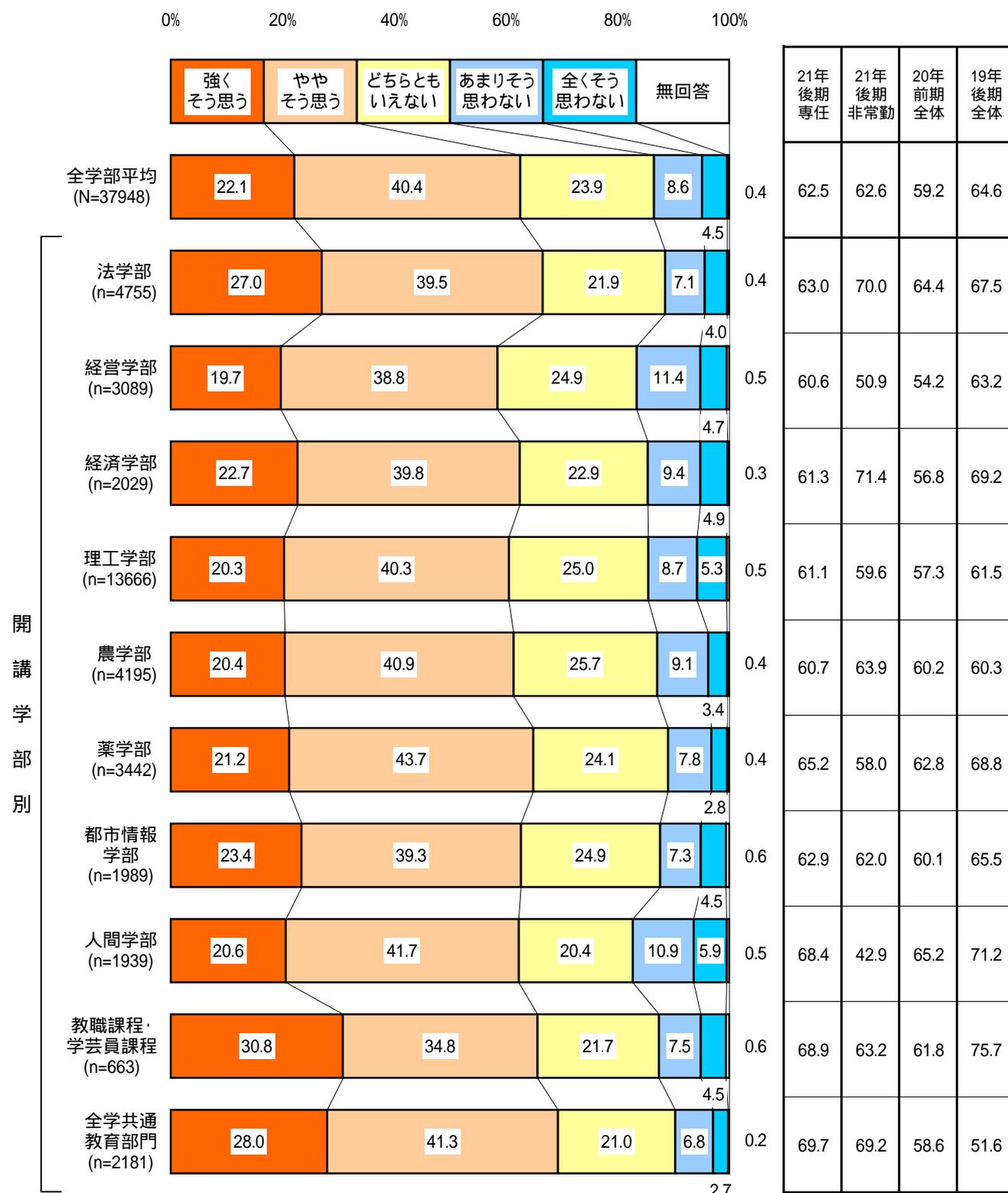
数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

20 基礎データ学生用設問 ポイント

[学生]

約6割の学生が、授業のポイントはきちんと提示されていると回答しているが、ポイントがよくわからないという学生も1割以上存在する。

Q10. この授業の教員はこの授業の大切なポイントをきちんと示している。



数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」 (%)

私語が多くて受けづらいと感じている学生が2割程度残っていることは残念である。中でも都市情報学部では約3割が授業のさまたげになっていると回答している。

Q11. この授業は私語が多くて受けづらい。



数表は「あまりそう思わない」+「全くそう思わない」(%)

5割程度の学生は成績基準が明確であると考えている。薬学部は他学部等と比較して、そう考える学生の割合が低い傾向がある。

Q12. この授業の教員は成績評価基準を明確に示しましたか。



数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

半数以上の学生が板書や資料等の文字は読み取りやすいと評価しているが、約2割の学生は板書や資料等に読み取りにくさを感じている。

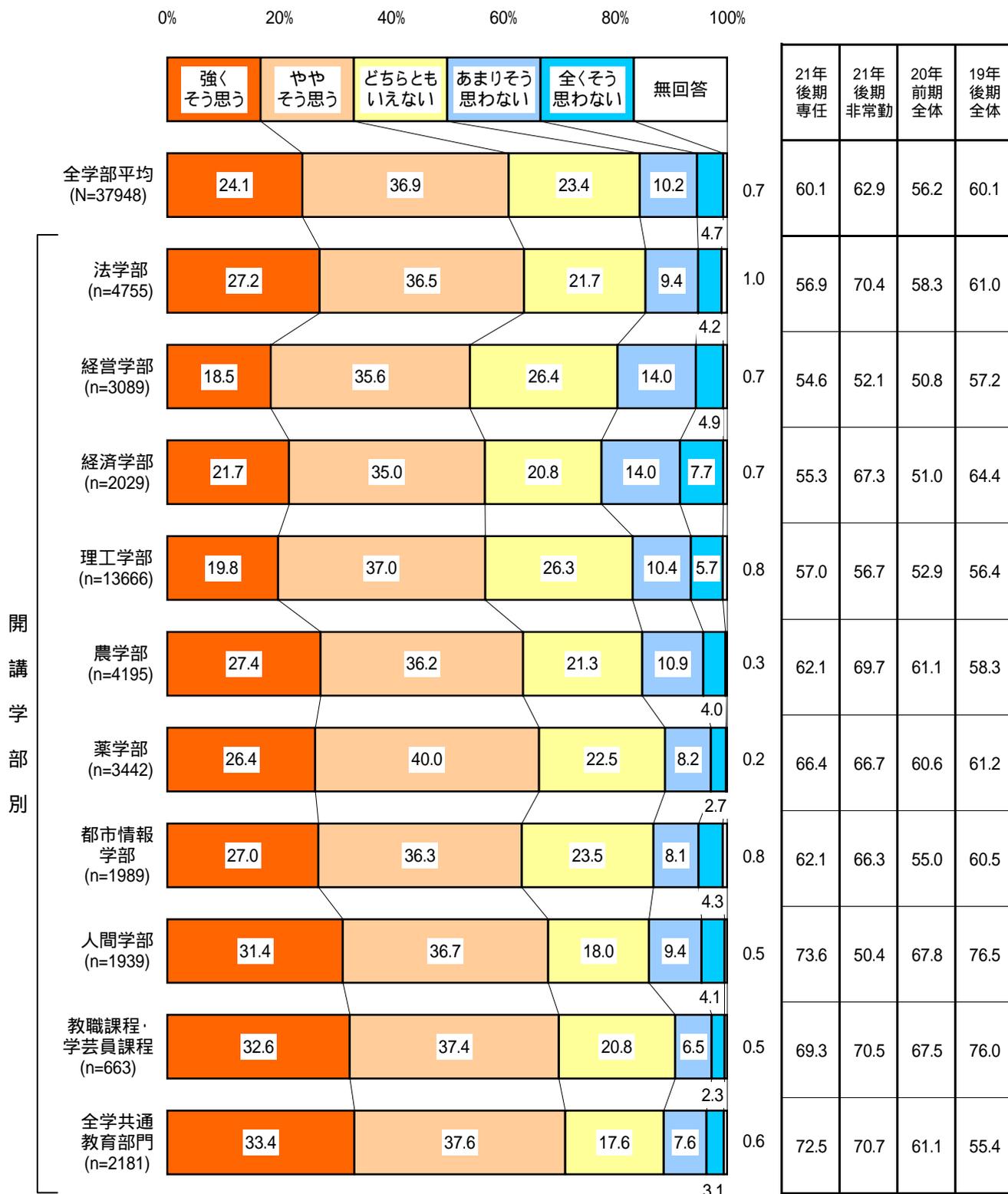
Q13. この授業の教員の板書や資料等の文字は読み取りやすい。



数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

6割以上の学生は教員の話し方は明瞭で聞きやすいと評価している。

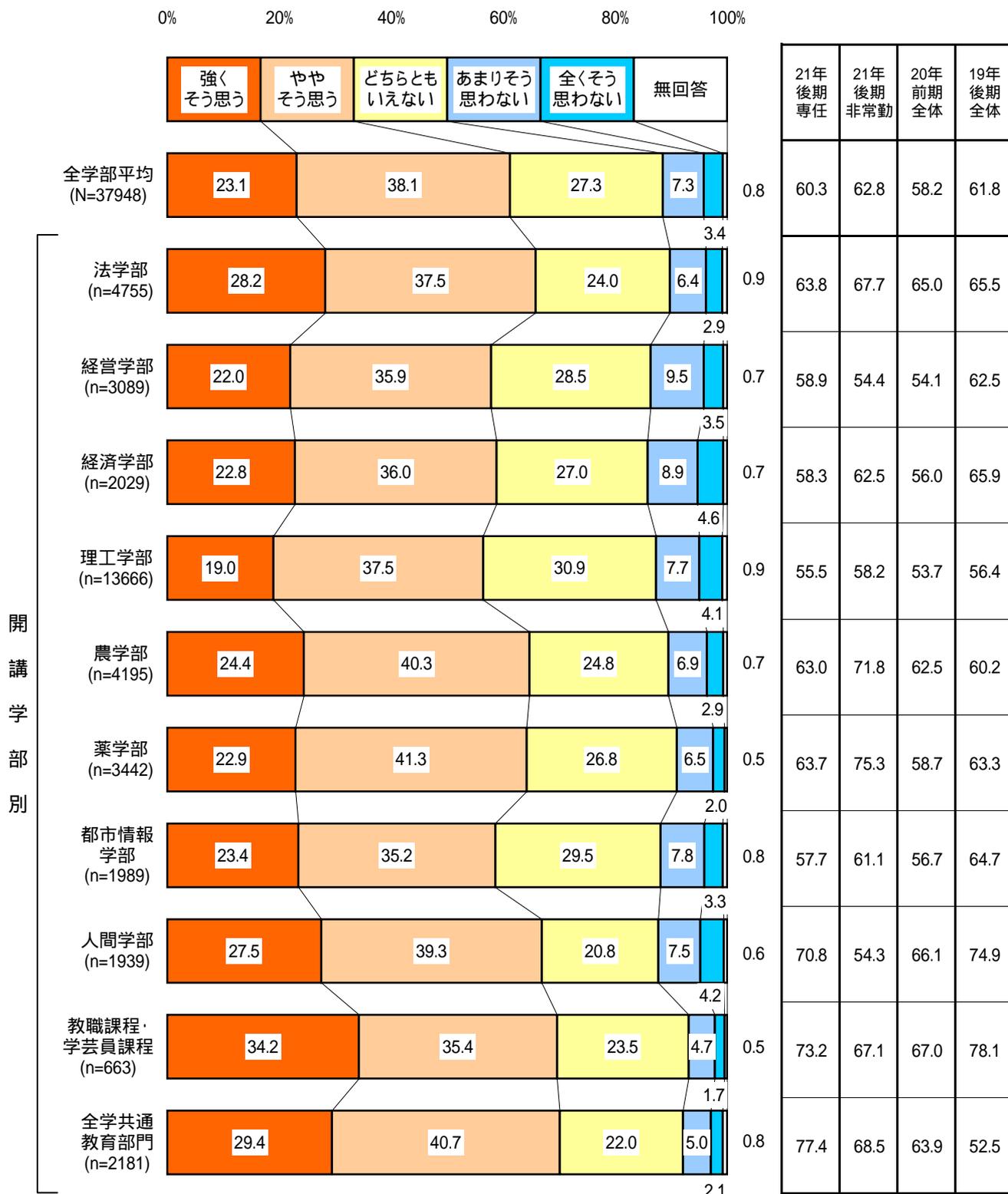
Q14. この授業の教員の話し方は明瞭で聞き取りやすい。



数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

6割程度の学生は教員の授業に対する意欲や熱意を感じている。

Q15. この授業に対する教員の意欲や熱意を感じる。



数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

自身について、授業が理解できていると考える学生は4割程度にとどまっている。

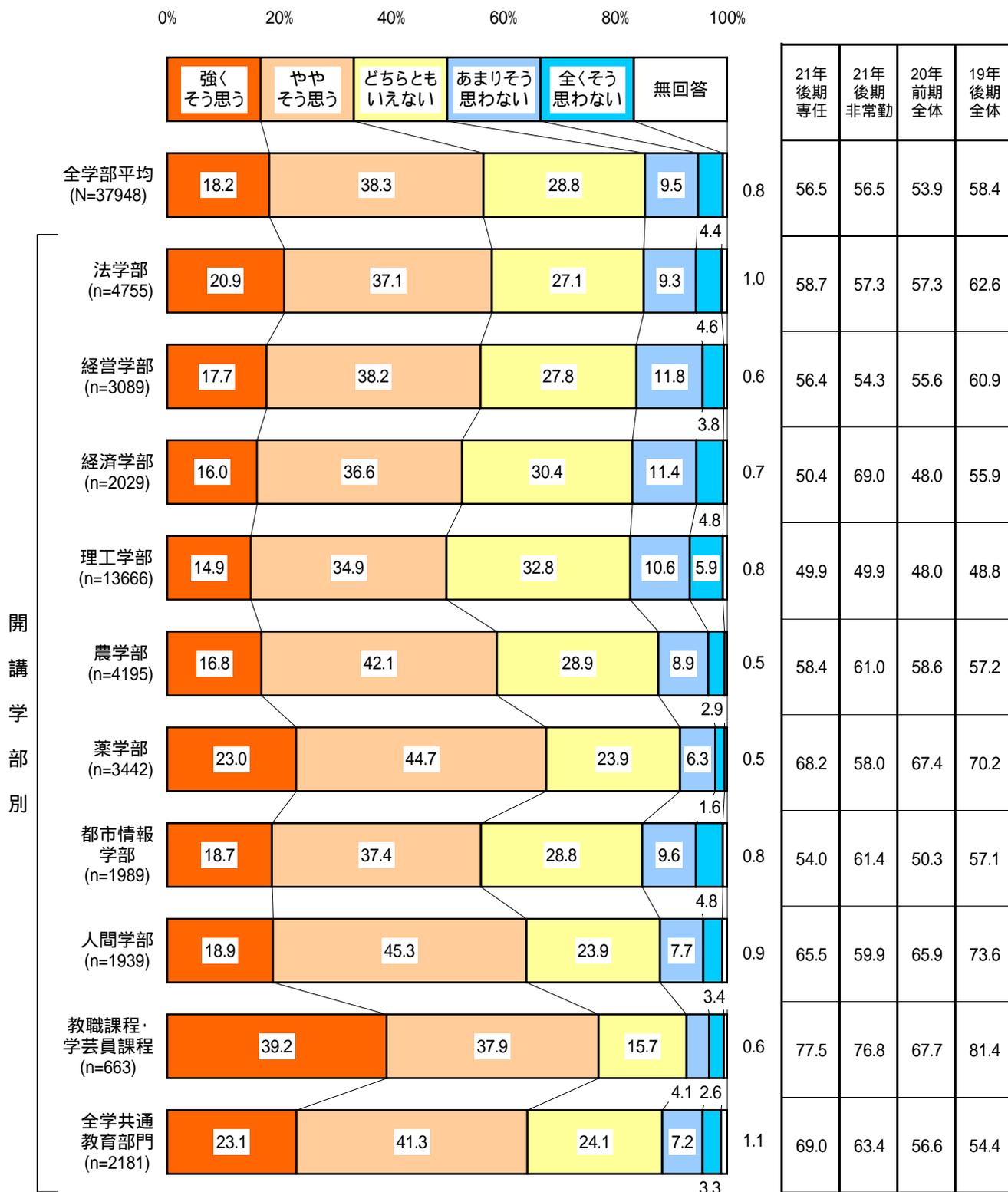
Q16. 自分はこの授業が理解できている。



数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

授業が将来に役立つと考えている学生は5割程度で、教職課程・学芸員課程では8割近い学生がそのように評価している。

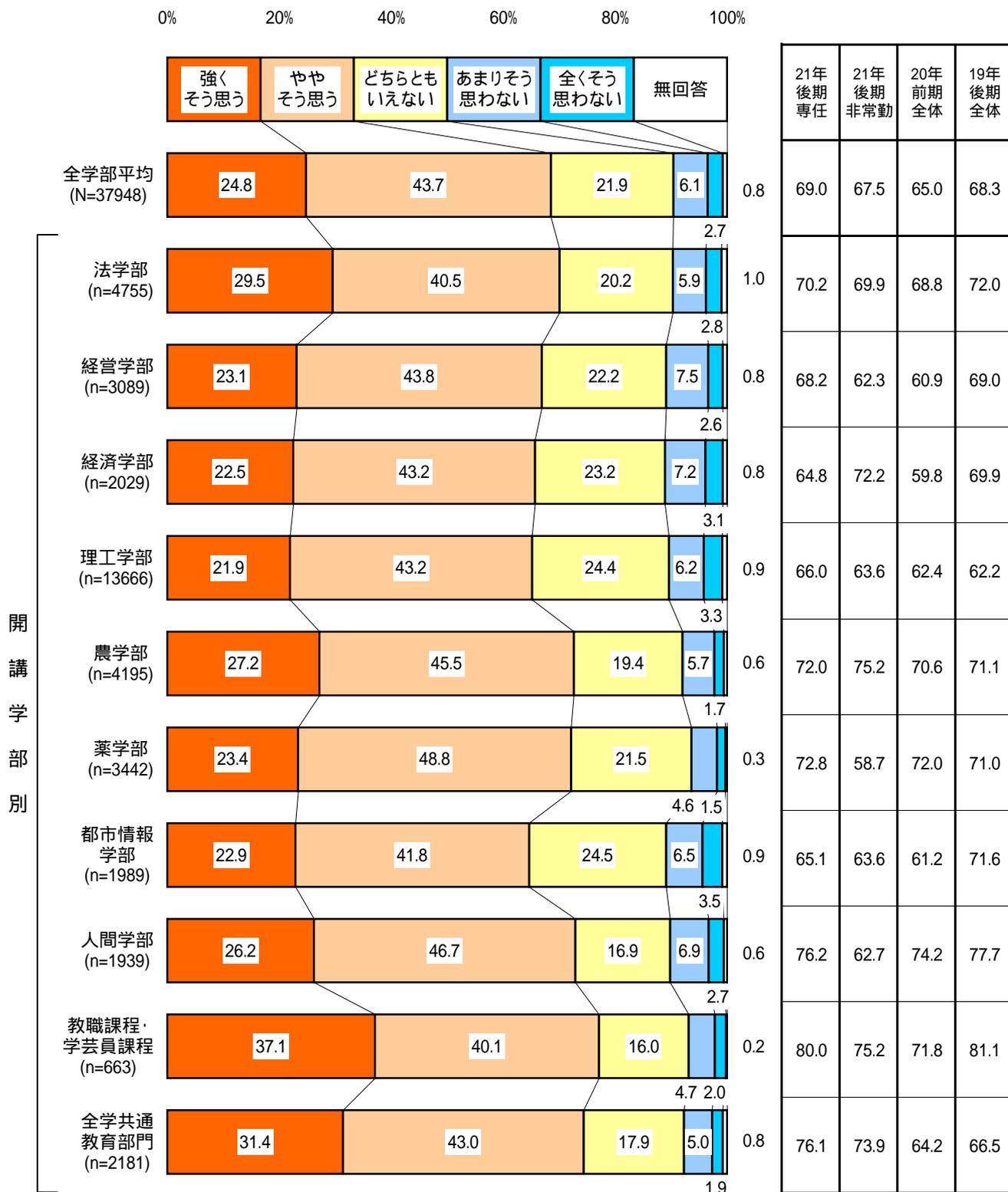
Q17. この授業は将来に役立つと思いますか。



数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

7割前後の学生が、授業で新しいことを学べていると評価している。

Q18. この授業では新しいことを学べている。



数表は「強くそう思う」+「ややそう思う」(%)

20 基礎データ学生用設問 授業満足

[学生]

5～6割の学生は授業に満足している。教職課程・学芸員課程、全学共通教育部門の満足度は6割強と高い。

Q19. この授業は総合的に見て満足のものである。



数表は「強く思う」+「やや思う」(%)

20 基礎データ学生用設問 学力程度

[学生]

自分の学力が上位レベルに感じている学生は2割弱であり、約4割の学生は下位レベルと感じている。

Q20. 自分の学力はどの程度だと思いますか。



数表は「上」+「どちらかといえば上」(%)

20 基礎データ学生用設問 着席位置

[学生]

着席位置は、前方、後方、中間がいずれも3割前後。教職課程・学芸員課程では前方着席がやや少ない。

Q21. この授業ではあなたは普段教室のどのあたりに着席して授業を受けていますか。おおよその位置で結構です。



数表は「前方」+「やや前方」(%)

平成21年度後期授業満足度アンケート
調査結果報告書

発行日：平成22年3月

編集：名城大学FD委員会学生満足度チーム
名城大学大学教育開発センター

発行：名城大学FD委員会